

資料目次

総則編

- 第1図 排出油等防除計画の対象海域及び名称
- 第2図 オイルフェンス展張形態とその展張要領
- 第3図 外洋域におけるオイルフェンス展張例

(参考)

- 参考1 油等汚染事故への準備及び対応のための国家的な緊急時計画
(平成18年12月8日閣議決定)
- 参考2 油等汚染事故に関する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議設置要領
(平成7年5月8日関係省庁申し合せ)

海域編

- 資料1 油等保管施設一覧
- 資料2 油等保管施設位置図
- 資料3 係留施設一覧
- 資料4 係留施設位置図
- 資料5 通航船舶の状況
- 資料6 特定港入港船舶状況表
- 資料7 要救助海難発生状況表
- 資料8 要救助海難発生状況図(部署別)
- 資料9 油等による海洋汚染発生状況表
- 資料10 油等による海洋汚染発生状況図(部署別)
- 資料11 過去の代表的な大規模排出油等事故の概要
- 資料12 気候表
- 資料13 海潮流図
- 資料14 漁具定置箇所位置図
- 資料15 海域周辺環境図
- 資料16 風・海潮流による排出油の移動距離表
- 資料17 海洋汚染想定図
- 資料18 有害液体物質の挙動による分類
- 資料19 有害液体物質の分類・品目別取扱量
- 資料20 流出後の物質の分散経路
- 資料21 排出油等防除資材等保有状況
- 資料22 連絡系統図及び連絡先

資料 2 3 防災相互通信無線局保有状況

資料 2 4 海上災害防止センターの契約防除措置実施者一覧

資料 2 5 排出油等の防除に関する協議会一覧

(参考)

参考 1 海上保安庁の主な排出油等防除資材保有状況

参考 2 海上保安庁以外の主な排出油等防除資材保有状況

参考 3 大型油回収船一覧

第1図 排出油等防除計画の対象海域及び名称

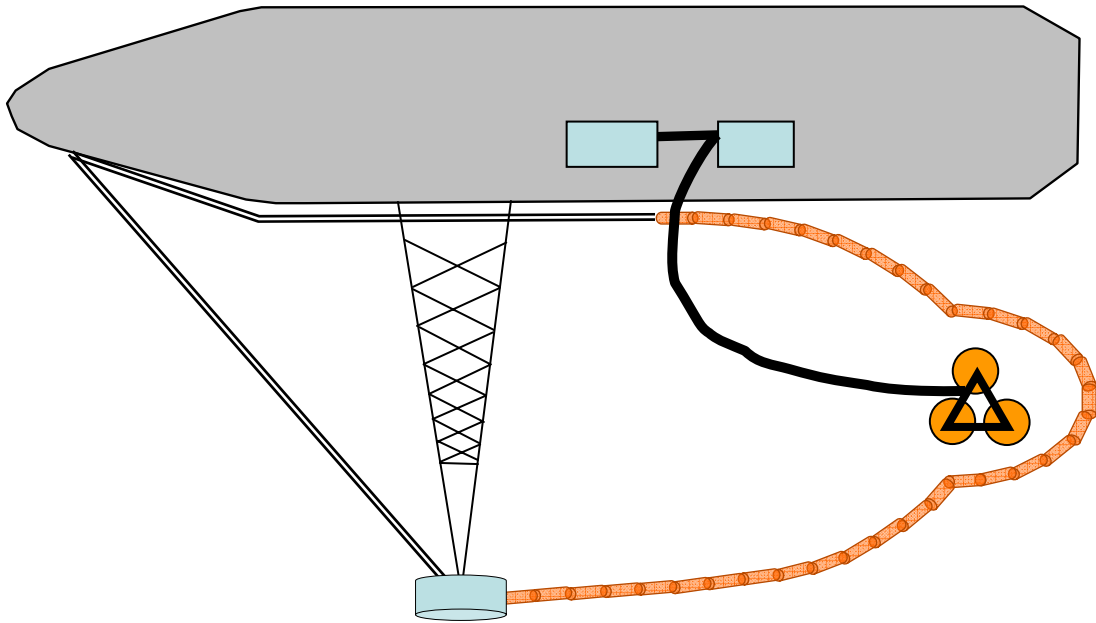


第2図 オイルフェンスの展張形態とその展張要領

区分	展張図	展張概要
A法 (包围)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 最も一般的な展張方法で、風潮流がいずれかの方向から来ても対応できるように排出源を包围する方法。 流出初期又は単時間当たりの流出量があまり多くなく、風や潮流の影響が少ない場合に用いる。 (2) 風及び潮流によりオイルフェンスから漏洩することがあるので、状況に応じ二重三重に展張する。 (3) 必要に応じ作業艇、油回収艇等の出入りのため出入口を設ける。 (4) 陸上からの流出の場合は陸岸をオイルフェンスの一部として流出油を包围する。 (5) 流出量の少ない場合は流出源の船舶をオイルフェンスの一部として流出油を包围することも考えられる。
B法 (待受け)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 風潮流等が一定で、油の流行が安定している場合や、流出量が多く包围するためのオイルフェンスが不足する場合、あるいは風潮流の影響が大きく包围が困難な場合等に用いる。 (2) 流出源からある程度離れた位置で待受け捕捉する。 (3) 状況に応じ二重三重に展張する。 (4) 潮流の強い狭水道等で転流時が近い場合は、転流後を考え状況に応じ反対側にも展張する。
C法 (閉鎖)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 港内の狭い水路、運河等での流出油事故の場合に用い、水路等をオイルフェンスで閉鎖して油の拡散を防止する。 (2) 水の流れが強くオイルフェンスで閉鎖することが困難な場合、あるいは、船舶交通上、水路を閉鎖して展張することが困難な場合は、中央を空けて展張する。 (3) 潮汐の上下により、オイルフェンスと陸岸の接続箇所隙間が出来て油が漏洩するおそれがあるので注意を要する。 (4) オイルフェンスをくり抜けて漏洩する油を捕捉するため必要に応じ二重三重に展張する。
D法 (誘導)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 流出量が多く、かつ、風、潮流の影響が大きいため、流出油を現場で包围できないとき、海岸の保全、水産資源保護のため保護水面の前面にオイルフェンスを展張し、影響の少ない海面に誘導する場合、あるいは、地勢等により現場付近で回収作業が困難なとき、作業可能な海面まで誘導する場合等に用いる。 (2) 状況に応じ二重三重に展張する。 (3) 風、潮流が強く錨によるオイルフェンスの係止が困難な場合はE法を併用する。
E法 (移動)		<ol style="list-style-type: none"> (1) 水深が深く又は風潮流が強い等の理由で錨を使用出来ない場合、風又は潮流が強くて錨で係止できない場合、あるいは海面に広がっている浮流油を集油したり回収しやすい場所まで移動させる場合等に用いる。 (2) オイルフェンスの両端を2隻の作業船艇にて油が潜り抜けられない速度で曳航し、浮流する油を大まわしに囲む。 (3) 包围後、作業艇の代わりにシーアンカーやチェーン等の抵抗物を付けることも有効である。 (4) オイルフェンスを曳航する場合、水圧により過度の張力がかかり破損するおそれがあるので慎重に作業する必要がある。

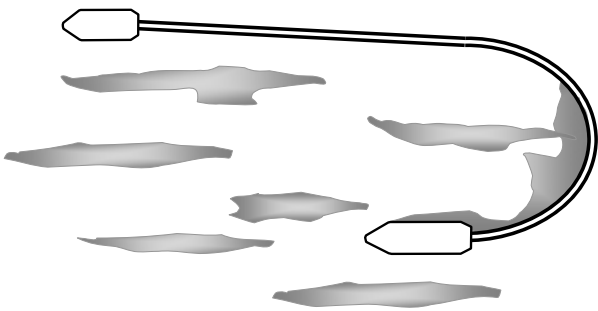
第3図 外洋におけるオイルフェンス展開例

a

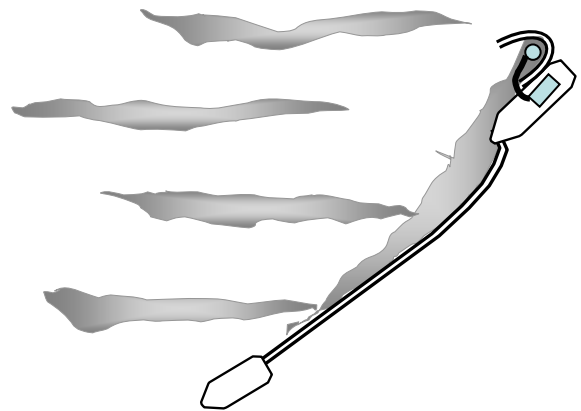


1 船による油回収システムの例

a



b



2 船による油回収システムの例

油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画について

〔 平成 1 8 年 1 2 月 8 日
閣 議 決 定 〕

1 9 9 0 年の油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約（平成 7 年条約第 2 0 号）第 6 条及び 2 0 0 0 年の危険物質及び有害物質による汚染事件に係る準備、対応及び協力に関する議定書第 4 条の規定に基づき、油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画を別紙のとおり定める。

これに伴い、油汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画（平成 9 年 1 2 月 1 9 日閣議決定）は、廃止する。

油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画

第1章 序説

第1節 計画の目的

四面を海に囲まれた我が国は、海洋を取り巻く多様な自然環境に恵まれるとともに、そこに存在する豊かな漁場等から多くの恩恵を受けるなど、海洋環境との密接な関係の中で国民生活が営まれている。このようなことから、我が国周辺海域において、万一、油、有害液体物質、危険物その他の物質（以下「油等」という。）による汚染事件（放射性物質による汚染事件については、原子力災害対策特別措置法等により国家的な体制が確立されていることから、本計画の対象としない。以下「油等汚染事件」という。）が発生した際には、その初期の段階から迅速かつ効果的な措置を講ずることが、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点から必要不可欠である。また、我が国が世界有数の海運国でありエネルギー輸入国であることを考慮すると、我が国がこのような準備及び対応の体制を整備しておくことは極めて重要である。この場合、国、地方公共団体を始め、石油業界、海運業界、鉱山業界、化学業界、漁業関係者その他の官民の関係者が一体となって取り組むことが重要である。

このような考え方を踏まえ、この計画は、「1990年の油による汚染に係る準備、対応及び協力に関する国際条約」第6条(1)(b)及び「2000年の危険物質及び有害物質による汚染事件に係る準備、対応及び協力に関する議定書」第4条(1)(b)に規定する「準備及び対応のための国家的な緊急時計画」として、油等による汚染に係る準備及び対応に関する我が国の体制を体系的に取りまとめたものであって、国際約束の的確な実施を確保するとともに、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護のため

油等汚染事件に我が国が迅速かつ効果的に対応することを目的として策定するものである。

第2節 他の計画との関係

この計画は、災害対策基本法（昭和36年法律第223号。以下「災対法」という。）に基づく防災基本計画、防災業務計画及び地域防災計画、環境基本法（平成5年法律第91号）に基づく環境基本計画、海洋汚染等及び海上災害の防止に関する法律（昭和45年法律第136号。以下「海防法」という。）に基づく排出油等防除計画、石油コンビナート等災害防止法（昭和50年法律第84号。以下「石災法」という。）に基づく石油コンビナート等防災計画並びに緊急事態に対する政府の初動対処体制について（平成15年11月21日閣議決定）と調和を保ったものであり、これらと相まって油等汚染事件に迅速かつ的確に対応できるよう策定するものである。

第2章 油等汚染事件に対する準備に関する基本的事項

第1節 油等汚染事件に関する情報の総合的な整備

油等汚染事件への対応を総合的かつ効果的に実施するため、関係行政機関は、内外の関係情報を収集・整理し、適宜最新のものとして維持するとともに、関係行政機関で構成する「油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議（以下「関係省庁連絡会議」という。）」等の場を通じて相互に交換する。

海上保安庁は、それぞれの関係行政機関が把握している国内の各種分野の専門家及び排出された油等（以下「排出油等」という。）の防除資機材に関する情報を、関係行政機関等の協力を得て一元化するとともに、油等汚染事件への準備及び対応に関する活動に活用しようとする関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて提供し得る体制の確立に努める。

また、関係行政機関は、油等汚染事件による環境への影響を迅速に把握

・評価し、また、油等汚染事件に対応する措置を的確に講じ、被害の発生を最小限とするために参考とすべき、各海域ごとの自然的・社会的・経済的諸情報（水質、底質、漁場、養殖場、工業用水等の取水口、海水浴場、さんご礁、藻場、干潟、鳥類の渡来・繁殖地、史跡等に関する情報）を収集・整理し、適宜最新のものとして維持する。さらに、収集・整理した情報は、それぞれの行政に反映できるよう共有するとともに、情報図として整備する等その内容を充実し、関係行政機関、地方公共団体等において有効に活用できる体制の確立に努める。

さらに、地方公共団体が地域の実情に応じて行う油等汚染事件への準備及び対応に関する活動の促進を図るため、関係行政機関は、地方公共団体の要請に応じて適切に関係情報を提供するよう努める。

第2節 対応体制の整備

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応について必要な対策を適切に実施するため、それぞれの機関の対応体制及び機関相互の協力体制の整備を図る。この場合、関係行政機関は、関係省庁連絡会議の場等を通じ、油等汚染事件に対する協力体制について必要な調整を行う。

海上保安庁は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、海防法に基づき排出油等防除計画を作成するとともに、海上における特殊な災害に対応する特殊救難隊及び機動防除隊の育成強化を図り、船艇・航空機による24時間の出動体制を確保する。また、独立行政法人海上災害防止センター（以下「海上災害防止センター」という。）における防除措置の実施に関する対応能力の一層の確保に努める。

また、海防法に基づき、管区海上保安本部長、タンカーの船舶所有者等は、官民合同の組織として排出油等の防除に関する訓練の実施、重要事項の協議等を行う排出油等の防除に関する協議会を、関係地方行政機関、地方公共団体等と連携し、必要に応じて組織し、対象海域の広域化、それぞれの機関の防除の実施に関する役割分担の明確化等に努める。

水産庁及び環境省等は、油等汚染事件発生時における環境影響調査、野生生物の保護、漁場等の保全等の対応措置が迅速かつ的確に行われるよう、各行政分野における体制の整備に努めるとともに、地方公共団体、関係団体等との連携協力体制の一層の確保に努める。

第3節 通報・連絡体制の整備

船舶の船長、施設（陸地にあるものを含む。）の管理者等は、当該船舶又は施設から海洋への大量の油等の排出があった場合及び排出のおそれのある場合には、海防法に基づき、電話、電信その他のなるべく早く到達するような手段により、直ちに最寄りの海上保安部署等に通報する。

また、石油コンビナートの事業を統括管理する者は、当該石油コンビナート等における石油の漏洩その他の異常な現象が発生した場合には、石災法に基づき直ちに消防署等に通報する。

さらに、鉱業権者は、自らが管理する鉱山施設等において大量の油等の海洋への排出があった場合及びそのおそれがある場合には、鉱山保安法（昭和24年法律第70号）に基づき直ちに産業保安監督部等に通報する。

海面に大量の油等が広がっていることを発見した者その他海上における異常な現象を発見した者においても同様に直ちに最寄りの海上保安部署等に通報する。

海上保安部署等、消防署、警察署等においては、24時間の情報収集体制を確保する。

関係行政機関、地方公共団体等は、内部の若しくは相互の連絡体制が確保されるよう、又は関係団体等との連携協力の下に必要な対策が適切に実施されるよう、それぞれの機関内部及び機関相互間における夜間、休日の場合等を含めた連絡体制の整備を図るとともに、防災行政無線の活用等により通信手段の確保を図るよう努める。

第4節 関係資機材等の整備

船舶所有者等は、海防法に基づき、排出油等の防除措置を実施するため必要な資機材等を備え付けるとともに、当該資機材等を適切に使用することができるよう、その備付け場所、管理、設備等に関し、必要な措置を講じておくものとする。また、海上災害防止センターは、同法に基づき、海上保安庁長官の指示若しくは船舶所有者等の委託により防除措置を実施するため、又は船舶所有者等の利用に供するために必要な資機材等を保有する。

また、鉱業権者は、鉱山保安法に基づき、排出油等の防除措置を実施するために必要な資機材を備える。

石油コンビナートの事業を統括管理する者は、当該石油コンビナート等における石油の漏洩に備え、石炭法に基づく資機材を備え付ける。

港湾管理者は、港湾法（昭和25年法律第218号）に基づき、港湾区域内に流出した油等の防除に必要な資機材を備える。

海上保安庁は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、船艇、航空機、情報通信施設、排出油等の防除資機材等の整備を推進する。

経済産業省は、関係者の利用に供するため、石油事業者団体等が行う排出油等の防除資機材の整備事業及び当該事業の普及・啓蒙を推進する。

水産庁は、油等汚染事件による漁場等の汚染の防止又は軽減を図るための資機材の整備を推進する。

環境省は、野生生物の保護を行うに当たって必要な資機材が適切に整備されるよう措置する。

関係行政機関は、各行政分野において、油等汚染事件への対応のため必要な資機材の整備に努める。

地方公共団体は、必要に応じ、油等汚染事件への対応のため必要な排出油等の防除資機材等の整備に努める。

また、必要な排出油等の防除資機材が、現場に迅速に配置され、活用できるよう日頃から官民の連携の確保に努める。

第5節 訓練等

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、事件の形態・規模、気象・海象、油等の性状等様々な条件設定の下でのシミュレーション訓練手法を導入するなど工夫した関係機関相互の有機的連携に重点を置いた総合的かつ実践的な訓練を、排出油等の防除に関する協議会等を活用して行う。訓練後には、その評価を行い、課題等を明らかにし、必要に応じ、それぞれの機関の対応体制等の改善を行う。

関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応を迅速かつ的確に実施するため、海上災害防止センターの海上防災のための措置に関する訓練事業を活用するなどして、人材の育成に努める。

環境省は、野生生物の保護等を実施する上で必要な知識及び技術の修得に関する地方公共団体、関係団体等に対する研修等を行う。

また、海上災害防止センターは、海防法に基づき、よりの確な防除技術を普及するため、海上防災のための措置に関する訓練事業を行うとともに、自らの防災措置に関する技術の向上に努める。

これらの訓練等の実施に当たっては、海洋環境の保全並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点から適切に実施されるよう配慮するものとする。

関係行政機関は、関係者に対し講習会、訪船指導等を通じ、油等汚染事件発生の防止及び当該事件発生の際の対応に関する指導を行い、これを通じて海洋環境の保全に係る思想及び技術の普及・啓蒙を図る。

民間事業者は、油等汚染事件発生の際に迅速かつ的確に対応できるよう、積極的に訓練等を行うとともに、人材の育成に努める。

第6節 近隣諸国等との協力体制

外務省は、国土交通省及び海上保安庁と協力しつつ、近隣諸国等との油等汚染事件発生時の連絡体制の強化や要請に応じた資機材の提供等、海洋汚染に関する協力体制の一層の強化に努める。

第3章 油等汚染事件に対する対応に関する基本的事項

第1節 保護対象についての基本的な考え方

油等汚染事件に対しては、海洋環境の保全の観点並びに国民の生命、身体及び財産の保護の観点の両面に配慮して適切な対応方策を講ずるものとする。この場合、第2章第1節の各海域ごとの情報等も踏まえて、被害の発生が最小限となるように措置を講ずるものとする。

第2節 対応体制の確立

油等汚染事件が発生した場合、関係行政機関、地方公共団体等は、油等汚染事件への対応について必要な対策を適切に実施するため、それぞれの機関の対応体制及び機関相互の協力体制の確立に努める。

海上保安庁長官、管区海上保安本部長又は都道府県知事は、自衛隊の派遣要請の必要性を油等汚染事件の規模及び収集した被害情報から判断し、必要な場合には、自衛隊法（昭和29年法律第165号）の災害派遣の規定に基づき、直ちに要請するものとする。また、事態の推移に応じ、要請しないと決定した場合は、直ちにその旨を連絡するものとする。

自衛隊は、当該要請を受けたときは、要請の内容及び自ら収集した情報に基づいて部隊等の派遣の必要の有無を判断し、部隊等を派遣する等適切な措置を行う。

関係行政機関は、大規模な油等汚染事件が発生した場合には、事件及び被害の第一次情報についての確認及び共有化、応急対策の調整等を行うため、必要に応じて、関係省庁連絡会議を開催する。

内閣危機管理監は、大規模な油等汚染事件が発生した場合又はそのおそれがある場合であって、情報の集約、内閣総理大臣等への報告、関係省庁との連絡調整を集中的に行う必要がある場合は、事態に応じ、緊急参集チームを官邸危機管理センターに緊急参集させ、政府としての初動措置に関

する情報の集約等を行うとともに、官邸危機管理センターに官邸対策室を設置する。

国は、油等汚染事件が発生した場合において、収集された情報により、事件の規模、被害の広域性等から、応急対策の調整等を強力に推進するために特に必要があるときは、内閣総理大臣に報告の上、海上保安庁長官を本部長とする警戒本部を設置する。この場合、警戒本部及びその事務局の設置場所は、原則海上保安庁内とする。また、警戒本部が設置された場合は、現地の状況を把握し、応急対策の迅速かつ的確な実施に資するため、現地に管区海上保安本部長を本部長とする連絡調整本部を設置する。この場合、連絡調整本部及びその事務局の設置場所は、原則管区海上保安本部内とする。

国は、収集された情報により大規模な被害が発生していると認められたときは、直ちに原則国土交通大臣（石災法に基づく石油コンビナート等特別防災区域（以下「石油コンビナート等特別防災区域」という。）からの油等汚染事件については総務大臣）を本部長とする災対法に基づく非常災害対策本部を設置する。非常災害対策本部の設置方針が決定されたときは、内閣府は、速やかに所要の手続きを行い、非常災害対策本部の設置等を行う。この場合、非常災害対策本部及びその事務局の設置場所は、原則国土交通省内（石油コンビナート等特別防災区域からの油等汚染事件については消防庁内）とする。また、非常災害対策本部は、関係地方行政機関、関係地方公共団体等のそれぞれの機関が実施する応急対策の総合調整に関する事務のうち、現地において機動的かつ迅速に処理する必要があるときは、原則国土交通副大臣（石油コンビナート等特別防災区域からの油等汚染事件については総務副大臣）を本部長とする非常災害現地対策本部を設置する。

なお、警戒本部又は非常災害対策本部（以下「非常災害対策本部等」という。）は、官邸対策室と緊密に連携を図るものとする。

関係行政機関又は非常災害対策本部は、現地の状況を把握し、迅速かつ

的確な対策の実施等に資するよう、必要に応じ、調査団を現地に派遣する。

地方公共団体は、必要に応じ、災対法に基づく災害対策本部等を、又は石災法に基づく石油コンビナート等防災本部の現地防災本部を設置する。

関係行政機関、地方公共団体等は、これら本部が設置された場合には、職員を派遣するなどして、これら本部との間における情報の交換を促進し、油等汚染事件への的確な対応体制を確保する。

国と地方公共団体等との情報の交換には、連絡調整本部又は非常災害現地対策本部を活用する。

第3節 油等汚染事件に関する情報の連絡

油等汚染事件の発生又は発生するおそれについて連絡を受けた海上保安庁その他の関係行政機関、地方公共団体等は、必要に応じ、あらかじめ定められた連絡網に従い、官邸、他の関係行政機関、地方公共団体等に、入手した情報、対応に必要な情報を提供する。

関係行政機関、地方公共団体等は、被害情報、対策実施情報等を、官邸対策室又は非常災害対策本部等（設置された場合に限る。以下同じ。）に連絡（地方公共団体等は、関係行政機関又は連絡調整本部若しくは非常災害現地対策本部を介して連絡）し、当該連絡を受けた官邸対策室又は非常災害対策本部等は、必要に応じ、内閣総理大臣に報告するとともに、関係機関に連絡する。

関係行政機関、地方公共団体等は、当該油等汚染事件に対し迅速かつ適切に対応する観点から、事件の収束に至るまで、必要に応じ、相互に緊密な情報の交換を行う。

第4節 油等汚染事件の評価

海上保安庁は、油等汚染事件発生 of 情報を入手したときは、更に詳細な情報を得るよう努め、船艇、航空機を油等汚染事件発生場所に急行させるほか、必要に応じ、派遣された自衛隊機等の協力を得て、当該事件の調

査を行う。事件の調査結果に基づき、その規模及び態様を分析し、第2章第1節の情報を踏まえ、気象・海象の状況、船舶交通の状況等を考慮して、当該事件の影響を評価し、対策の実施に資するよう、これを官邸、関係行政機関、地方公共団体等に提供する。

また、水産庁及び環境省は、海上保安庁その他の関係行政機関、地方公共団体等からの情報に基づき、当該油等汚染事件が野生生物及び漁業資源に及ぼす影響の評価を行い、これを、野生生物の保護、漁場等の保全等の対策の決定に反映させるとともに、その他の対策の実施に資するよう、速やかに官邸、関係行政機関、地方公共団体等に提供する。

第5節 油等防除対策の実施

- 1 油等汚染事件が発生した場合、海防法に基づき応急措置を講ずべき船長等及び防除措置を講ずべき船舶所有者等の関係者による措置が実施されることになるが、海上保安庁はこれらの措置義務者の措置の実施状況等を総合的に把握し、措置義務者に対する指導、援助・協力者に対する指導を行う。防除措置義務者が措置を講じていないと認められる場合は、海上保安庁はこれらの者に対し、防除措置を命ずる。

緊急に防除措置を講ずる必要がある場合、海上保安庁は、自ら防除措置を実施し、又は海上災害防止センターに対して防除措置を講ずべきことを指示する。

- 2 油等汚染事件が発生した場合の排出油等の防除には、例えば、次のような措置があるが、排出油等の種類及び性状、排出油等の拡散状況、気象・海象の状況その他の種々の条件によってその手法が異なるので、防除作業を行うに当たっては、まず、排出油等の拡散、性状の変化及び化学変化の状況について確実な把握に努め、第4節の評価の結果を踏まえて、状況に応じた適切な防除方針を速やかに決定するとともに、関係行政機関、地方公共団体等が協力して、初動段階において有効な防除勢力の先制集中を図り、もって迅速かつ効果的に排出油等の拡散の防止、回

収、処理等を実施する。この場合において、海上保安庁その他の関係行政機関等は、他の関係行政機関、地方公共団体等に対し、防除措置の実施に必要な資機材の確保・運搬及び防除措置の実施について協力要請できるものとし、当該要請を受けた関係行政機関、地方公共団体等は、当該協力の必要の有無等を判断し、必要な協力を行う。

自衛隊は、防除措置の実施に必要な資機材の輸送について、関係行政機関又は地方公共団体から依頼があった場合、輸送の必要の有無等を判断し、航空機、艦船等の輸送手段を使用して必要な支援を行う。

(1) 排出防止措置

引き続き油等の排出を防止するためにガス抜きパイプの閉鎖、船体の傾斜調整等による措置を行うほか、破損タンク内の油等を他船又は他の施設へ移送するいわゆる瀬取りを行う。

(2) 拡散防止措置

排出油等は、風や潮流の影響を受けて、通常急速に拡散し、海洋汚染の範囲が拡大するものもあるため、油等汚染事件が発生した場合には、必要に応じ、直ちに排出源付近の海域にオイルフェンスを展開して排出油等を包囲し、拡散を局限する。

また、揮発性を有する油等の防除に当たっては、排出油等の性状等に応じ、周囲の状況等を勘案して薬剤等の使用により蒸発ガスの発生を抑制する措置を講ずるものとする。

(3) 回収措置

排出油等の回収方法としては、回収船、回収装置等を使用して回収する機械的回収、吸着材、ゲル化剤等の資機材を使用して回収する物理的回収、その他ひしゃく、バケツ等を使用して回収する応急的・補助的な回収があり、状況に応じてこれらの回収方法のうち最も効果的な方法を用いるものとする。

(4) 分散処理等

放水装置による放水若しくは船舶の航走により油等を攪拌し、又

は処理剤等を使用して油等の分散を促し、大気若しくは海中へ分散させ、生物・自然分解を促進させる処理がある。これは、回収措置の実施、気象・海象、周囲の自然環境、漁場又は養殖場の分布等の状況を勘案して、(3)に掲げる回収方法のみによることが困難な場合において実施するものとする。

3 防除措置を実施するに当たっては、第2章第1節の情報図などを参考にし、それぞれの手法の特質と海洋環境への影響を総合的に考慮して実施すること、できる限り海上での回収に努めること、また、海岸等に漂着させざるを得ない場合においてもその後の回収作業や、影響を受けた環境の修復が比較的容易と想定される場所に誘導すること等に注意を払う必要がある。

4 排出油等が海岸等に漂着した場合、船舶所有者等の関係者により漂着した排出油等の除去のための措置が実施されることになるが、関係行政機関、地方公共団体等は、当該除去のための措置の実施状況等を把握するとともに、迅速かつ効果的な防除作業が実施されるよう、関係機関の出動可能勢力、当該防除作業への支援体制等の情報を収集・整理し、船舶所有者等の関係者に対し提供等を行うよう努める。

関係行政機関、地方公共団体並びに港湾、漁港、河川及び海岸の管理者等は、必要に応じ、協力して、漂着した排出油等の除去のための措置を実施する。この場合において、必要な措置を、地元住民、ボランティア等の協力を得て実施する機関等は、第7節の健康安全管理のための体制整備のほか、円滑な防除作業が実施されるよう必要な支援体制の整備に努める。

5 回収した油等(油等によって汚染されたものを含む。以下同じ。)は、船舶所有者等の関係者による処理が実施されることになるが、関係行政機関、地方公共団体等は、当該回収した油等の量、処理作業の状況等を把握するとともに、適正かつ円滑な処理が実施されるよう、関係業界団体等の協力を得て、回収した油等の貯留・搬送に従事可能な貨物船・タ

ンカー等、回収した油等の処理施設・当該受入可能量等の情報を収集・整理し、船舶所有者等の関係者に対し提供等を行うなど、必要な支援体制の整備に努める。

関係行政機関、地方公共団体等は、必要に応じ、回収した油等の処理を実施する。

6 油等のうち、引火性や毒性を有するものが排出された場合には、特に以下の点に留意し、防除措置等を実施するものとする。

(1) 火災・爆発、ガス中毒等の二次災害を防止するため、検知器具を用いて危険範囲の確認、火気の使用制限等の危険防止措置を講ずるものとする。

(2) 排出された物質の特性に応じた保護具を装着させる等防除作業に従事する者の安全確保に努めるものとする。

(3) 海上保安庁は、排出された物質の種類及び性状、影響を及ぼす範囲等に関する情報の把握に努め、入手した情報を関係行政機関、関係地方公共団体等に速やかに提供するものとする。

(4) 沿岸域において大規模な汚染事件が発生した場合には、関係行政機関、地方公共団体等は、付近住民の生命及び身体を保護するため、必要に応じ、災対法に定めるところに従い、住民の避難等所要の措置を講ずるものとする。

第6節 資機材等に関する情報の提供等

海上保安庁は、第2章第1節の分野別専門家及び排出油等の防除資機材に関する情報を、関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて提供し得る体制を確保する。

経済産業省は、第2章第4節の石油事業者団体等が行う整備事業において、船舶所有者等の関係者等からの要請に応じて排出油等の防除資機材に関する情報の提供及び排出油等の防除資機材等の貸出しを行い得る体制を確保する。

総務省は、通信機器を、関係業界団体の協力を得る等により、必要に応じて又は関係行政機関、地方公共団体等の要請に応じて供給し得る体制を確保する。

第7節 防除作業実施者の健康安全管理

厚生労働省及び環境省は、防除作業が実施される場合には、油等の成分、漂着状況等を踏まえ、防除作業における健康又は安全上の配慮事項について検討し、防除作業を実施する関係行政機関、地方公共団体等に対し適切に情報を提供する。

防除作業を実施する関係行政機関、地方公共団体等は、防除作業を実施する者の健康及び安全上の配慮事項について関係者等及び作業現場への周知を図るなど、健康安全管理のための体制整備に努める。

第8節 野生生物の救護の実施

環境省は、油等汚染事件により野生生物に被害が発生した場合には、排出油等が付着した野生生物の洗浄、排出油等付着に伴う疾病の予防、回復までの飼育等野生生物の救護が、獣医師、関係団体等の協力を得て円滑かつ適切に実施されるよう措置する。

第9節 漁場保全対策等の実施

水産庁は、油等汚染事件により漁場等に汚染が生ずるおそれがある場合、又は生じた場合には、必要に応じて排出油等の回収等の保全、修復対策が円滑かつ適切に実施されるよう措置する。

第10節 海上交通安全の確保及び危険防止措置

油等汚染事件の発生により航路筋が閉そくされる等により現場周辺の海域において船舶交通が混雑し、新たな海難が発生する危険が生じ、あるいは、防除作業の円滑な実施の妨げとなる場合には、海上保安庁は、必要に

応じ、海防法等に基づき、船舶の退去、航行制限等の措置を講ずる。

第11節 広報等

船舶交通の安全の確保、付近住民の安全確保、防除作業の円滑な実施等を図るため、関係行政機関、地方公共団体等は、それぞれ必要に応じ、他の関係行政機関、地方公共団体等と連絡調整を図り、迅速かつ的確な広報を行うものとする。

油等汚染事件が発生した場合には、同様の事件の発生の防止及び一般的な油等汚染事件発生時の対応に関する知識の充実に資するため、関係行政機関、地方公共団体等は、当該事件の原因、汚染の状況、講じた対策等についての状況を記録する。

第12節 事後の監視等の実施

関係行政機関、地方公共団体等は、前節までに定める措置が終了した後においても、必要に応じ、相互の連携の下、環境影響調査、財産の被害の調査等を実施する。特に、油等汚染事件による沿岸域の生態系等環境への影響は、回復に長期間を要することがあることから、水質、底質、野生生物等への影響の調査を段階的・継続的に実施し、講じた措置の効果を検証する。また、関係行政機関、地方公共団体等は、この結果を踏まえ、必要に応じて補完的な対策を実施する。

第4章 関係行政機関等の相互の連携等

第1節 国家的な連携

関係行政機関は、所掌事務及び関係法令に基づき、油等汚染事件への準備及び対応のため必要な施策の総合的な企画及び推進、関係法令の整備、調査研究の推進等を積極的に実施する。この場合において、関係行政機関は、関係省庁連絡会議等を活用し、相互に密接な連携を確保するよう努め

る。

また、石油業界、海運業界、鉱山業界、化学業界その他の関係業界団体は、その能力を活用し、油等汚染事件への準備及び対応に関し、積極的に取り組むことが期待され、国は、これら関係者を積極的に支援するとともに、これら関係者との連携の確保に努める。さらに、必要に応じ、専門的な知見に基づく助言等を活用するため、排出油等の防除の実施、海洋環境の保全等に関する専門家との連携を図る。

第2節 地域的な連携

関係地方行政機関等は、所掌事務及び関係法令に基づき、第1節の国家的な連携の下に推進される施策と密接な連携の下に、地域の実情に応じた具体的な準備及び対応の施策を推進する。

また、地方公共団体等、民間事業者その他の関係者は、関係法令に基づく責務に応じ、又は自発的に、その能力を活用し、地域の実情に応じた具体的な準備及び対応の施策を積極的に推進することが期待される。

この場合において、関係者は、排出油等の防除に関する協議会等を活用し、相互に密接な連携を確保するよう努める。また、必要に応じ、専門的な知見に基づく助言等を活用するため、排出油等の防除の実施、海洋環境の保全等に関する専門家との連携を図る。

第5章 その他の事項

第1節 調査研究、技術開発の推進

関係行政機関は、油等汚染事件の防止並びに当該事件による排出油等の防除及び海洋環境への影響の防止に関する調査研究、技術開発を、必要に応じ、民間との連携を図りながら推進する。

第2節 計画の見直し

国は、この計画の見直しについて随時検討し、必要があると認めるときは、見直しを行うものとする。

油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議設置要綱

平成 7 年 5 月 8 日

関係省庁申合せ

(最終改正 平成19年 4 月 1 日)

1. 「油等汚染事件への準備及び対応のための国家的な緊急時計画」（平成18年12月 8 日閣議決定。以下「国家的緊急時計画」という。）及び災害対策基本法（昭和36年法律第233号）に基づく防災基本計画を踏まえ、関係省庁相互の密接な連携と協力の下に、油等汚染事件への準備及び対応を迅速かつ効果的に実施するため、「油等汚染事件に対する準備及び対応に関する関係省庁連絡会議」（以下「連絡会議」という。）を設置する。
2. 連絡会議は、別記の職にある者をもって構成する。ただし、必要に応じて構成員以外の者を連絡会議に参加させることができる。
3. 連絡会議の事務局は、関係省庁の協力の下、海上保安庁が担当するものとする。ただし、石油コンビナート等特別防災区域から油等汚染事件が発生した場合は、消防庁が担当するものとする。
4. 連絡会議開催の発議については、構成員は事務局と緊密な連絡をとって行うものとする。
5. 前各号に定めるもののほか、連絡会議の運営に関し必要な事項は、連絡会議において定める。
6. 連絡会議においては、油等汚染事件への準備及び対応に関し必要な連絡、調整等を行うものとする。特に、大規模な油等汚染事件発生時には、事件及び被害の第 1 次情報に対しての確認及び共有化、応急対策の調整等を行うものとする。
また、国家的緊急時計画の見直し作業についても行うものとする。

別 記

内閣官房 内閣参事官

内閣府 政策統括官付参事官（災害応急対策担当）

警察庁 生活安全局地域課長

総務省 大臣官房総務課長

消防庁 予防課特殊災害室長

法務省 入国管理局入国在留課長

外務省 国際協力局専門機関課長

文部科学省 大臣官房文教施設企画部施設企画課長

研究開発局海洋地球課長

厚生労働省 労働基準局安全衛生部計画課長

水産庁 増殖推進部漁場資源課長

経済産業省 産業技術環境局環境指導室長

製造産業局化学課長

資源エネルギー庁資源・燃料部石油精製備蓄課長

原子力安全・保安院鉱山保安課長

国土交通省 総合政策局環境・海洋課海洋室長

総合政策局技術安全課長

河川局砂防部保全課海岸室長

海事局総務課海事保安・事故保障対策室長

港湾局総務課危機管理室長

港湾局国際・環境課長

気象庁 総務部企画課長

海上保安庁 警備救難部環境防災課長

海洋情報部環境調査課長

海洋情報部海洋情報課長

環境省 地球環境局環境保全対策課長

防衛省 大臣官房文書課環境対策室長

運用企画局事態対処課長

資料1-1 油等保管施設一覧(500kl以上の油保管施設を有する事業所)

平成19年10月1日現在

区	分地区名	番号	事業所名	所在	容量500kl以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(kl)	油保管施設 総容量(kl)	取扱油種	備考
石油コンビナート等特別防災区域	青森	1	東西オイルターミナル(株)青森油槽所	青森市柳川	10	9,921	33,971	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	青森	2	出光興産(株)青森油槽所	青森市柳川	9	5,000	16,447	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	青森	3	新日本石油(株)青森油槽所	青森市柳川	19	13,718	68,375	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	青森	4	ジャパノイルネットワーク(株)青森油槽所	青森市浦島	12	4,980	30,033	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
その他	青森	5	大畑町海上石油協同組合	下北郡大畑町	4	2,000	3,500	A重油	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	6	ジャパノイルネットワーク(株)八戸油槽所	八戸市豊洲	12	4,550	28,849	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	7	カメイ(株)八戸油槽所	八戸市豊洲	4	9,400	33,080	A、C重油、灯油	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	8	全国漁業協同組合連合会八戸油槽所	八戸市大字河原木	3	3,000	6,780	A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	9	東西オイルターミナル(株)八戸油槽所	八戸市大字河原木	27	6,024	100,646	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン、 ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	10	(株)ジャパノエナジー八戸油槽所	八戸市大字河原木	10	5,000	37,450	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン、 ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	11	出光興産(株)八戸油槽所	八戸市大字河原木	14	3,200	28,417	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	12	東北電力(株)八戸火力発電所	八戸市大字河原木	3	25,000	75,200	A、C重油、軽油	
石油コンビナート等特別防災区域	八戸	13	大平洋金属(株)	八戸市大字河原木	4	3,008	9,048	A、C重油	
その他	八戸	14	川重商事(株)	八戸市大字河原木	2	950	1,900	A、C重油	
その他	八戸	15	三菱製紙(株)八戸工場	八戸市大字河原木	3	5,000	10,950	A、C重油	
その他	八戸	16	三菱商事(株)青森支店	八戸市江陽	1	5,000	5,000	A、C重油	
その他	八戸	17	久慈市漁業協同組合	久慈市長内町	1	980	1,580	A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域	むつ小川原	18	むつ小川原国家石油備蓄基地事業所	上北郡六ヶ所村	60	111,212	5,845,909	原油	
石油コンビナート等特別防災区域	久慈	19	久慈国家石油備蓄基地事業所	久慈市夏井町	3	700,000	1,750,000	原油	
その他	釜石	20	太平洋セメント(株)大船渡工場	大船渡市赤崎町	4	3,000	7,000	A、C重油	
その他	釜石	21	全国漁業協同組合連合会大船渡油槽所	大船渡市赤崎町	1	7,000	7,000	A重油	
その他	釜石	22	カメイ(株)大船渡油槽所	大船渡市赤崎町	3	7,200	19,200	A、B重油	
その他	釜石	23	岩手県オイルターミナル(株)	釜石市大平町	10	5,717	26,637	重油、軽油、灯油、ガソリン	
その他	釜石	24	新日本製鉄(株)釜石製鉄所	釜石市只越町	1	3,897	3,897	A重油	
その他	釜石	25	(株)アベキ釜石営業所	釜石市新浜町	1	950	950	A重油	
その他	釜石	26	カメイ(株)釜石油槽所	釜石市新浜町	2	900	1,800	A重油	

区	分地区名	番号	事業所名	所在	容量500k1以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(k1)	油保管施設 総容量 (k1)	取扱油種	備考
その他	宮古	27	コープケミカル(株)宮古工場	宮古市藤原町	1	1,243	1,243	C重油	
その他	宮古	28	カメイ(株)宮古支店	宮古市港町	0	371	605	A重油	
その他	宮古	29	(株)アベキ日立浜油槽所	宮古市日立浜町	0	350	550	A重油	
石油コンビナート等特別防災区域	仙台	30	東北スチール(株)	仙台市宮城野区	1	1,500	1,700	A重油、灯油	
石油コンビナート等特別防災区域	仙台	31	JFE条鋼(株)仙台製造所	仙台市宮城野区	4	2,000	5,200	A重油、灯油	
石油コンビナート等特別防災区域	仙台	32	新日本石油精製(株)仙台製油所	仙台市宮城野区	73	102,000	2,095,416	原油、A、C重油、ナフサ、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	仙台	33	全農エネルギー(株)仙台石油基地	仙台市宮城野区	9	17,000	77,737	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	塩釜	34	カメイ物流サービス(株)	塩釜市貞山通	22	6,400	47,255	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域	塩釜	35	エクソンモービル(有)塩釜油槽所	塩釜市貞山通	14	3,000	21,857	A重油、軽油、灯油、ガソリン、 ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域	塩釜	36	出光興産(株)塩釜油槽所	塩釜市貞山通	14	3,890	26,090	A重油、軽油、灯油、ガソリン、 ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域	塩釜	37	昭和シェル石油(株)塩釜油槽所	塩釜市貞山通	12	5,489	21,748	A重油、軽油、灯油、ガソリン、 ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域	塩釜	38	丸紅エネルギー(株)塩釜油槽所	塩釜市貞山通	2	4,720	6,320	A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域	塩釜	39	東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所	塩釜市貞山通	23	9,884	36,649	A重油、軽油、灯油、ガソリン、 ジェット燃料	
その他	石巻	40	東北電力(株)女川原子力発電所	牡鹿郡女川町	1	960	960	A、C重油	
その他	石巻	41	カメイ(株)女川油槽所	牡鹿郡女川町	3	2,000	4,050	A、C重油	
その他	石巻	42	(株)アベキ	牡鹿郡女川町	2	980	1,960	A、C重油	
その他	石巻	43	(株)岩城屋商店石油配送センター	石巻市門脇町	0	450	888	A重油、軽油、灯油	
その他	石巻	44	全国漁業協同組合連合会石巻油槽所	石巻市魚町	2	6,000	7,990	A重油	
その他	石巻	45	石巻漁港石油配送協同組合	石巻市魚町	8	980	7,840	A重油	
その他	石巻	46	日本製紙(株)石巻工場	石巻市重吉町	2	4,515	8,077	C重油	
その他	石巻	47	東海カーボン(株)石巻工場	石巻市重吉町	10	1,500	11,300	重油	
その他	石巻	48	東北東ソー化学(株)石巻工場	石巻市重吉町	1	1,600	1,600	C重油	
その他	気仙沼	49	新日本石油(株)気仙沼油槽所	気仙沼市朝日町	9	2,805	11,376	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
その他	気仙沼	50	全国漁業協同組合連合会気仙沼油槽所	気仙沼市朝日町	4	3,000	7,300	A、C重油	
その他	気仙沼	51	(株)気仙沼商会朝日町油槽所	気仙沼市朝日町	4	995	4,085	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
その他	気仙沼	52	(株)アベキ気仙沼油槽所	気仙沼市潮見町	1	950	1,550	A、C重油	
その他	気仙沼	53	カメイ(株)気仙沼支店大浦油槽所	気仙沼市大浦	1	900	900	A、C重油	

区	分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500k1以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(k1)	油保管施設 総容量 (k1)	取扱油種	備考
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	54	東北電力(株)秋田火力発電所	秋田市飯島	13	35,000	321,500	A、C重油、軽油	
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	55	新日本石油加工(株)秋田事業所	秋田市土崎港	13	23,240	75,300	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	56	(株)昭友秋田共同油槽所	秋田市寺内	9	4,370	21,650	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	57	出光興産(株)秋田油槽所	秋田市寺内	8	2,930	18,794	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	58	コスモ石油(株)秋田油槽所	秋田市寺内	5	1,980	8,832	A、C重油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	59	岩谷産業(株)	秋田市寺内	3	990	4,365	灯油	
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	60	マルハ産業(株)	秋田市寺内	3	770	2,460	A、C重油、軽油、灯油	
石油コンビナート等特別防災区域		秋田	61	東北製紙(株)	秋田市向浜	3	2,500	6,040	A、C重油	
その他		秋田	62	東北電力(株)能代火力発電所	能代市大森山	4	9,700	19,400	A、C重油、軽油	
石油コンビナート等特別防災区域		男鹿	63	秋田石油備蓄(株)男鹿事業所	男鹿市船川港	16	358,981	4,520,426	原油	
石油コンビナート等特別防災区域		男鹿	64	(株)男鹿テクノ	男鹿市船川港	43	11,000	61,641	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		酒田	65	全国漁業協同組合連合会酒田油槽所	酒田市下瀬	2	5,893	8,008	A重油	
石油コンビナート等特別防災区域		酒田	66	東北東ソー化学(株)酒田工場	酒田市大浜	3	990	2,910	A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		酒田	67	(株)ジャパソエナジー酒田油槽所	酒田市大浜	7	10,000	24,500	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		酒田	68	東西オイルターミナル(株)酒田油槽所	酒田市大浜	5	7,000	15,810	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		酒田	69	酒田共同火力発電(株)	酒田市大字宮海	3	1,900	4,300	A重油、軽油	
石油コンビナート等特別防災区域		いわき	70	常磐共同火力(株)勿来発電所	いわき市佐糠町	4	20,000	80,000	C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		いわき	71	小名浜石油(株)	いわき市泉町	42	95,690	1,521,521	原油、A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		いわき	72	(株)ジャパソエナジー小名浜油槽所	いわき市泉町	12	3,930	24,600	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
石油コンビナート等特別防災区域		いわき	73	東西オイルターミナル(株)小名浜事業所	いわき市泉町	27	6,000	56,679	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
石油コンビナート等特別防災区域		広野	74	東京電力(株)広野火力発電所	双葉郡広野町	15	50,000	408,800	原油、C重油、軽油	
石油コンビナート等特別防災区域		福島	75	(株)クレハ生産本部いわき事業所	いわき市錦町	2	2,000	2,240	A、C重油	
石油コンビナート等特別防災区域		福島	76	日本化成(株)小名浜工場	いわき市小名浜	4	1,500	5,105	A重油、潤滑油、軽油、灯油	
その他		福島	77	福島県漁業協同組合連合会いわき支所	いわき市小名浜	1	500	1,000	A重油、軽油	
その他		福島	78	福島県漁業協同組合連合会中之作事業所	いわき市中之作	1	500	700	A重油	
その他		福島	79	福島県漁業協同組合連合会久之浜事業所	いわき市久之浜町	1	500	500	A重油	
その他		福島	80	福島県漁業協同組合連合会相馬原釜支所	相馬市尾浜	1	500	1,000	A重油、軽油	

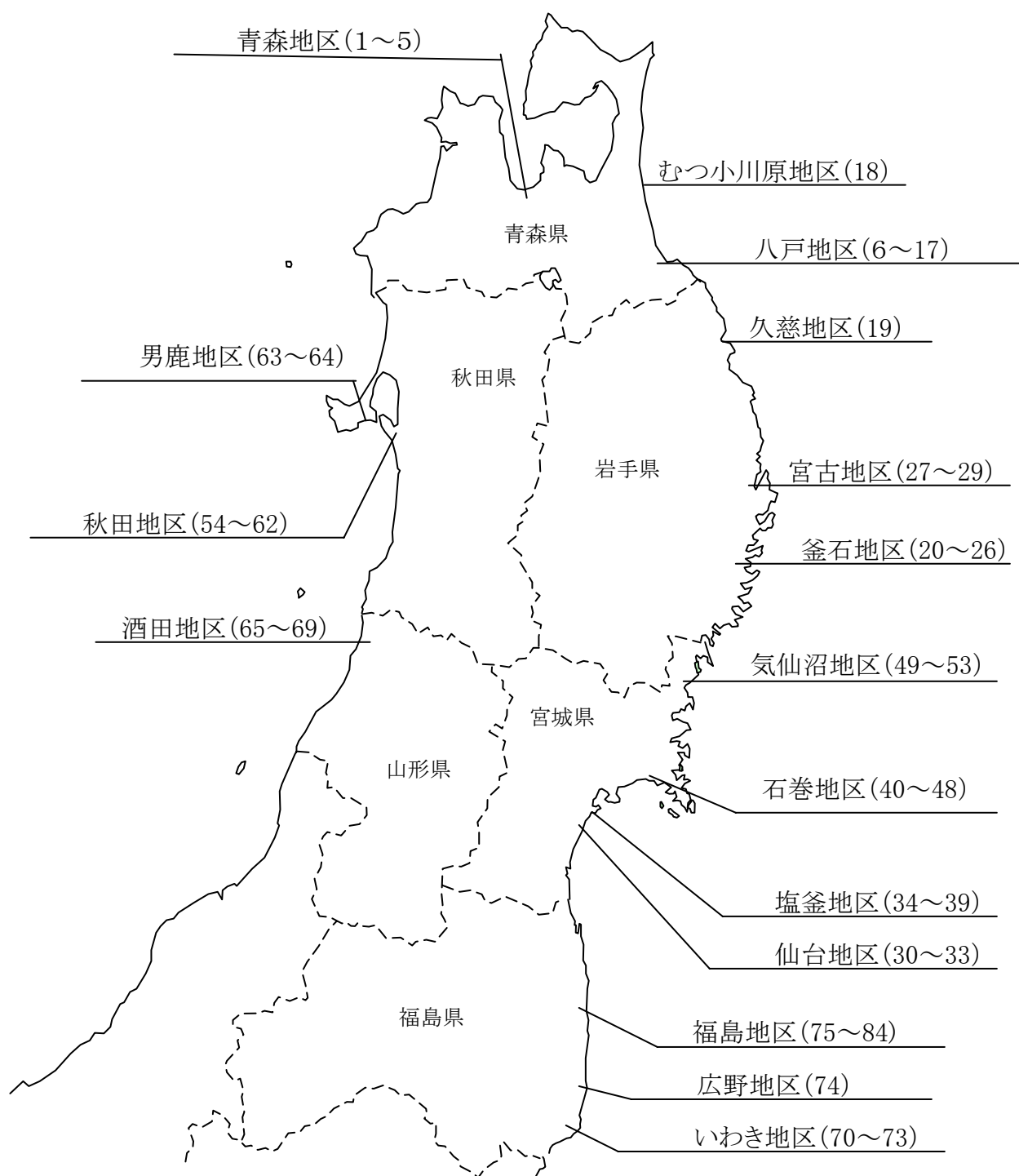
区	分	地区名	番号	事業所名	所在	容量500k1以上の 油保管施設基数	最大油保管 施設容量(k1)	油保管施設 総容量 (k1)	取扱油種	備考
その他		福島	81	東京電力(株)福島第一原子力発電所	双葉郡大熊町	5	960	5,774	A重油、軽油	
その他		福島	82	東京電力(株)福島第二原子力発電所	双葉郡楢葉町	3	960	5,760	A重油、軽油	
その他		福島	83	相馬共同火力発電(株)新地発電所	相馬郡新地町	2	20,000	40,000	C重油、軽油	
その他		福島	84	東北電力(株)原町火力発電所	原町市金沢	4	9,800	21,460	A、C重油、軽油	

資料1-2 油等保管施設一覧(500kl以上の有害液体物質保管施設を有する事業所)

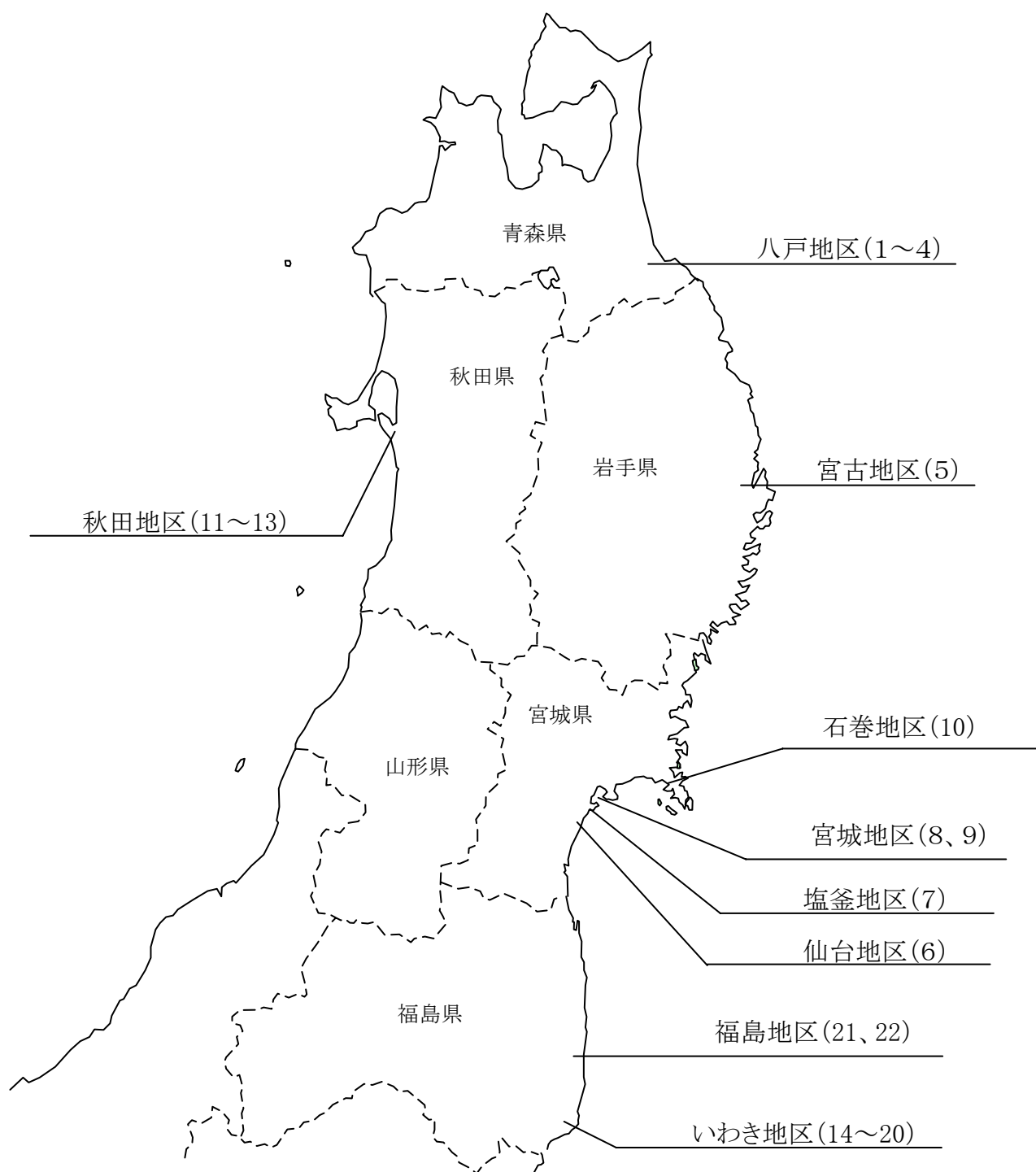
平成19年10月1日現在

区	分地区名	番号	事業所名	所在	容量500kl以上の有害液体物質保管施設基数	最大有害液体物質保管施設容量(kl)	有害液体物質保管施設総容量(kl)	取扱物質	備考
その他	八戸	1	デルマール株式会社 八戸工場	八戸市築港街	9	1,000	7,200	魚油(Y)	
その他	八戸	2	MRCユニテック株式会社	八戸市江陽	5	800	3,150	塩酸(Z)、硫化水素ナトリウム(Z)、苛性ソーダ(Y)	
その他	八戸	3	三菱製紙株式会社八戸工場	八戸市河原木	2	1,000	2,000	苛性ソーダ(Y)	施設は三菱製紙販売で保有
その他	八戸	4	八戸製錬株式会社八戸製錬所	八戸市河原木	4	2,700	6,800	硫酸(Y)	
その他	宮古	5	コープケミカル株式会社 宮古工場	宮古市藤原町	3	1,000	2,240	液体アンモニア(Y)、濃硫酸(Y)、燐酸液(Z)	
石油コンビナート等特別防災区域	仙台	6	新日本石油精製(株)仙台製油所	仙台市宮城野区	9	22,886	90,221	ベンゼン(Y)、トルエン(Y)、キシレン(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	塩釜	7	カメイ(株)塩釜貞山油槽所	塩釜市貞山通	0	490	980	メチルアルコール(Y)、イソプロピルアルコール(Z)	
その他	宮城	8	日本アルコール販売(株)仙台支店	宮城県七ヶ浜町東宮浜	2	750	2,198	エチルアルコール(Z)、メチルアルコール(Y)	
その他	宮城	9	ソーダニッカ(株)仙台七ヶ浜ケミカルセンター	宮城県七ヶ浜町東宮浜	1	500	500	水酸化ナトリウム(Y)	
その他	石巻	10	日清オイリオ株式会社石巻工場	宮城県石巻市	0	300	1200	大豆油(Y)、菜種油(Y)、コーン油(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	秋田	11	秋田精錬株式会社飯島製錬所	秋田市飯島字古道下川端217-9	6	2,777	13,333	硫酸(Y)	
その他	秋田	12	三菱マテリアル株式会社秋田硫酸中継所	秋田市飯島字古道下川端219-5	1	815	815	硫酸(Y)	
その他	秋田	13	株式会社辰巳商会秋田出張所	秋田市飯島字古道下川端219-5	1	1,401.9	1,401.9	フェノール(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	いわき	14	(株)クレハ生産本部いわき事業所小名浜移送所	いわき市泉町	3	2,820	4,770	ベンゼン(Y)、水酸化ナトリウム溶液(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	いわき	15	株式会社辰巳商会小名浜営業所	いわき市小名浜	5	5,000	11,000	濃硫酸(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	いわき	16	日本化成(株)小名浜工場	いわき市小名浜	3	8,650	12,500	混酸(Y)、メタノール(Y)、硝酸(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	いわき	17	小名浜製錬(株)小名浜製錬所	いわき市小名浜	10	6,000	41,088	水酸化ナトリウム(Y)、硫酸(Y)、塩酸(Z)	
石油コンビナート等特別防災区域	いわき	18	堺化学工業(株)小名浜事業所	いわき市泉町	2	800	2,957	廃硫酸(Y)、硫酸(Y)、他	
石油コンビナート等特別防災区域	いわき	19	(株)クレハ生産本部いわき事業所	いわき市錦町	4	4,000	10,070	水酸化ナトリウム(Y)、ベンゼン(Y)	
石油コンビナート等特別防災区域	いわき	20	(株)日本海水小名浜工場	いわき市小名浜	9	1,000	8,231	水酸化マグネシウム(Y)、他	
その他	福島	21	小名浜蒸留(株)	いわき市小名浜	1	890	2,686	エチレングリコール(Y)、他	
その他	福島	22	日本パーオキサイド(株)	郡山市	2	1,100	2,200	過酸化水素(Y)	タンク所在地は、小名浜港4号埠頭

資料 2 - 1 油等保管施設位置図 (油)



資料 2 - 2 油等保管施設位置図 (有害液体物質)



資料3-1 係留施設一覧（150総トン以上のタンカー（油）を係留する施設）

平成19年10月1日現在

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着棧船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
青森港周辺	1	大畑町海上石油協同組合棧橋	下北郡大畑町	499	A重油	
青森港	2	東西オイルターミナル(株)青森油槽所専用棧橋	青森市柳川	4,286	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
青森港	3	出光興産(株)青森油槽所専用棧橋	青森市柳川	5,000	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
青森港	4	新日本石油(株)青森油槽所専用棧橋	青森市柳川	5,000	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
青森港	5	沖館ふ頭	青森市沖館	3,555	A重油	
青森港	6	シヤパノイルネットワーク(株)青森油槽所棧橋	青森市大字野内	1,599	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
八戸港	7	八戸港河原木3・4・5号棧橋	八戸市豊洲	4,286	軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
八戸港	8	東西オイルターミナル(株)八戸油槽所B地区専用棧橋	八戸市大字河原木	1,473	灯油	
八戸港	9	東西オイルターミナル(株)八戸油槽所C地区専用棧橋	八戸市大字河原木	1,425	灯油、ガソリン、ジェット燃料	
八戸港	10	河原木公共2号棧橋	八戸市大字河原木	3,000	A、C重油	
八戸港	11	(株)シヤパノエナジー八戸油槽所専用岸壁	八戸市豊洲	999	灯油、ガソリン	
八戸港	12	河原木新港第2・第3棧橋	八戸市豊洲	3,000	灯油、ガソリン	
八戸港	13	出光興産(株)八戸油槽所専用棧橋	八戸市大字河原木	1,000	軽油・灯油・ガソリン	
八戸港	14	八戸港フェリー埠頭	八戸市大字河原木	999	A重油	
八戸港	15	東北電力(株)八戸火力発電所専用岸壁	八戸市大字河原木	998	原油、ナフサ	
八戸港	16	東北ポートサービス(株)専用棧橋	八戸市豊洲	5,000	原油、A、C重油、ナフサ	
むつ小川原港	17	むつ小川原石油備蓄(株)むつ小川原一点係留ターミナル	上北郡六ヶ所村沖	135,864	原油	
久慈港	18	日本地下石油備蓄(株)久慈事業所石油備蓄ターミナル	久慈市夏井町沖	100,000	原油	
久慈港	19	諏訪下岸壁	久慈市長内町	15,000	A重油	
大船渡港	20	太平洋セメント(株)大船渡工場岸壁	大船渡市赤崎町	2,000	A、C重油	
大船渡港	21	カメイ(株)大船渡油槽所岸壁	大船渡市大船渡町	22,000	A、B重油	

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着積船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
釜石港	22	岩手県オイルターミナル(株)棧橋	釜石市大平町	3,807	重油、軽油、灯油、ガソリン	
釜石港	23	新日本製鉄(株)釜石製鉄所専用埠頭	釜石市只越町	699	A重油	
宮古港	24	宮古港藤原埠頭	宮古市藤原	3,000	A重油	
仙台塩釜港	25	カメイ(株)一番荷役棧橋	塩釜市貞山通	1,500	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
仙台塩釜港	26	カメイ(株)二番荷役棧橋	塩釜市貞山通	1,500	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
仙台塩釜港	27	エクソンモービル(有)塩釜製油所・出光興産(株)塩釜油槽所共同専用棧橋	塩釜市貞山通	3,790	A重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
仙台塩釜港	28	昭和シェル石油(株)塩釜油槽所棧橋	塩釜市貞山通	999	A重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
仙台塩釜港	29	丸紅エネルギー(株)塩釜油槽所荷役専用棧橋	塩釜市貞山通	1,000	A、C重油	
仙台塩釜港	30	コスモ石油(株)第一棧橋	塩釜市貞山通	1,500	A重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
仙台塩釜港	31	コスモ石油(株)第二棧橋	塩釜市貞山通	1,000	A重油、灯油	
仙台塩釜港	32	コスモ石油(株)塩釜油槽所第三棧橋	塩釜市貞山通	1,000	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
仙台塩釜港	33	新日本石油精製(株)仙台製油所第一棧橋	仙台市宮城野区	160,300	原油、A、C重油、ガソリン、ナフサ	
仙台塩釜港	34	新日本石油精製(株)仙台製油所第二棧橋	仙台市宮城野区	4,286	原油、A、C重油、ガソリン、灯油、軽油	
仙台塩釜港	35	新日本石油精製(株)仙台製油所第三棧橋	仙台市宮城野区	2,761	A重油、ガソリン、灯油、軽油、ナフサ	
仙台塩釜港	36	新日本石油精製(株)仙台製油所第四棧橋	仙台市宮城野区	2,761	A重油、ガソリン、灯油、軽油、ナフサ、JET燃料	
仙台塩釜港	37	JFE条鋼(株)仙台製造所専用岸壁	仙台市宮城野区	2,400	A重油	
仙台塩釜港	38	全農エネルギー(株)仙台石油基地棧橋	仙台市宮城野区	3,286	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
仙台塩釜港	39	JFEスチール岸壁	仙台市宮城野区	2,000	A重油、灯油	
石巻港周辺	40	東北電力(株)女川原子力発電所専用岸壁	牡鹿郡女川町	4,600	A、C重油	
石巻港周辺	41	カメイ(株)女川油槽所棧橋	牡鹿郡女川町	500	A、C重油	
気仙沼港	42	新日本石油(株)気仙沼油槽所専用棧橋	気仙沼市朝日町	3,000	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
気仙沼港	43	全漁連気仙沼油槽所棧橋	気仙沼市朝日町	1,500	A重油	

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着岸船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
気仙沼港	44	(株)気仙沼商会朝日町油槽所棧橋	気仙沼市朝日町	2,000	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
気仙沼港	45	北日本石油(株)気仙沼油槽所棧橋	気仙沼市大浦	200	A重油	
気仙沼港	46	気仙沼漁港港町岸壁	気仙沼市港町	500	A重油	
能代港	47	東北電力(株)能代火力発電所岸壁	能代市字大森山	2,999	A、C重油、軽油	
秋田船川港	48	秋田国家石油備蓄基地固定係留施設	男鹿市船川港	103,168	原油	
秋田船川港	49	船川港 5,000トン岸壁	男鹿市船川港	4,286	A、C重油、原油、潤滑油、灯油	
秋田船川港	50	東北電力3号棧橋	秋田市飯島	43,000	A、C重油、原油	
秋田船川港	51	東北電力(株)秋田火力発電所2号棧橋	秋田市飯島	3,700	A、C重油、原油	
秋田船川港	52	東北電力(株)秋田火力発電所1号棧橋	秋田市飯島	3,700	A、C重油、原油	
秋田船川港	53	新日本石油棧橋	秋田市土崎港	4,286	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
秋田船川港	54	出光興産(株)秋田油槽所棧橋	秋田市寺内	4,500	A重油、軽油、灯油、ガソリン、ジェット燃料	
秋田船川港	55	東西オイルターミナル(株)秋田油槽所棧橋	秋田市寺内	1,700	A重油、灯油、ガソリン	
秋田船川港	56	日本大昭和板紙東北(株)専用ドルフィン	秋田市向浜	3,334	A、C重油	
秋田船川港	57	(株)昭友秋田共同油槽所棧橋	秋田市土崎港	4,286	軽油、灯油、ガソリン	
秋田船川港	58	(株)ホームエナジー-東北 秋田オイルターミナル棧橋	秋田市土崎港	1,000	灯油	
秋田船川港	59	大浜-10m1号岸壁	秋田市飯島	3,551	A、C重油	
酒田港	60	袖岡埠頭	酒田市下瀬	3,800	A重油、灯油	
酒田港	61	酒田石油基地共同棧橋	酒田市大浜	2,100	A重油、軽油、灯油、ガソリン	
小名浜港	62	小名浜石油(株)1号棧橋	いわき市泉町	4,191	原油、A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
小名浜港	63	小名浜石油(株)2号棧橋	いわき市泉町	1,834	原油、A、C重油、軽油、灯油、ガソリン	
小名浜港	64	小名浜石油(株)3号棧橋	いわき市泉町	2,998	原油、C重油	
小名浜港	65	小名浜石油(株)シーバース	いわき市泉町	62,929	原油、C重油	

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着棧船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
小名浜港	66	大剣埠頭	いわき市泉町	5,500	A、C重油、軽油、灯油、ガソリン、原油、タービンエンジン用航空燃料	
小名浜港	67	小名浜港4号埠頭	いわき市小名浜	20,500	重油、タール油	
小名浜港	68	栄町物揚場	いわき市小名浜	499	A重油	
小名浜港周辺	69	東京電力㈱福島第一原子力発電所専用岸壁	双葉郡大熊町	499	A重油、軽油	
小名浜港周辺	70	東京電力㈱福島第二原子力発電所専用岸壁	双葉郡富岡町	699	A重油、軽油	
小名浜港周辺	71	東京電力㈱広野火力発電所第1棧橋	双葉郡広野町	3,555	C重油、原油、軽油	
小名浜港周辺	72	東京電力㈱広野火力発電所第2棧橋	双葉郡広野町	3,555	原油、C重油	
小名浜港周辺	73	東京電力㈱広野火力発電所第3棧橋	双葉郡広野町	3,555	原油、C重油	
小名浜港周辺	74	東北電力㈱原町火力発電所専用岸壁	南相馬市金沢	3,080	A、C重油	
相馬港	75	相馬共同火力発電㈱新地発電所5号埠頭	相馬郡新地町	2,992	C重油、軽油	
相馬港	76	松川浦漁港原釜地区－4m岸壁	相馬市尾浜	173	A重油、軽油	

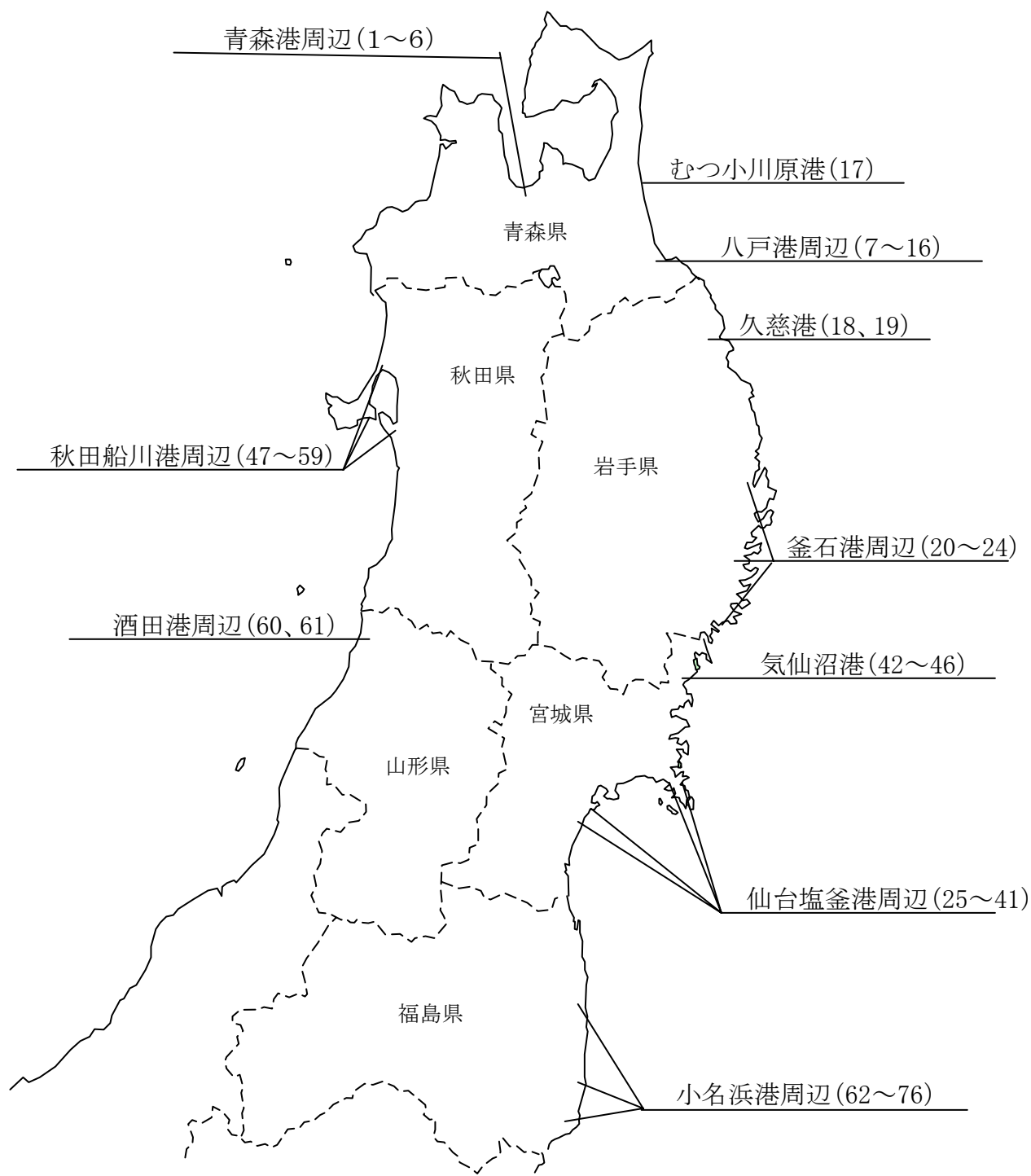
資料3-2 係留施設一覧（150総トン以上のタンカー（有害液体物質）を係留する施設）

平成19年10月1日現在

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着棧船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
八戸港	1	白銀B岸壁	八戸市築港街	10,000	魚油(Y)	
八戸港	2	白銀C岸壁	〃	1,000	魚油(Y)	
八戸港	3	コープケミカル(株)八戸工場HA-211岸壁	八戸市江陽	699	苛性ソーダ(Y)、塩酸(Z)	
八戸港	4	コープケミカル(株)八戸工場HA-212岸壁	〃	342	硫化水素ナトリウム(Z)	
八戸港	5	三菱製紙(株)専用岸壁	八戸市河原木	1,599	苛性ソーダ(Y)	
八戸港	6	八戸製錬(株)専用岸壁	八戸市河原木	1000	硫酸(Y)	
宮古港	7	宮古港-7.5m岸壁	宮古市藤原	499	液体アンモニア(Y)、濃硫酸(Y)、磷酸液(Z)	
仙台塩釜港	8	新日本石油精製(株)仙台製油所第二棧橋	仙台市宮城野区	4,286	ベンゼン(Y)、トルエン(Y)、キシレン(Y)	
仙台塩釜港	9	新日本石油精製(株)仙台製油所第三棧橋	仙台市宮城野区	2,761	ベンゼン(Y)、トルエン(Y)、キシレン(Y)	
仙台塩釜港	10	新日本石油精製(株)仙台製油所第四棧橋	仙台市宮城野区	2,761	キシレン(Y)	
仙台塩釜港	11	新日本石油精製(株)仙台製油所第六棧橋	仙台市宮城野区	3,385	硫黄(Z)	
仙台塩釜港	12	カメイ(株)塩釜貞山油槽所	塩釜市貞山通	1,500	メチルアルコール(Y)、イソプロピルアルコール(Z)	
仙台塩釜港	13	ソーダニッカ(株)仙台七ヶ浜ケミカルセンター	宮城郡七ヶ浜町	499	水酸化ナトリウム(Y)	
仙台塩釜港	14	日本アルコール販売(株)仙台支店	宮城郡七ヶ浜町	499	エチルアルコール(Z)、メチルアルコール(Y)	
石巻港	15	ジェイオーケミカル(株)	石巻市三河町	800	濃硫酸(Y)、苛性ソーダ(Y)、過酸化水素(Y)	
石巻港	16	日清オイリオ(株)石巻センター	石巻市三河町	500	大豆油(Y)、菜種油(Y)、コーン油(Y)	
秋田船川港	17	秋田精錬ドルフィン	秋田市飯島字古道下川端2 17-9	1,400	硫酸(Y)	
秋田船川港	18	三菱マテリアル専用2,000DWT棧橋	秋田市土崎港相染町字大 浜10番地先	747	硫酸(Y)、フェノール(Y)	
秋田船川港	19	大浜-10m 1号岸壁	秋田市飯島字古道下川端2 17-3	9,600	硫酸(Y)	
小名浜港	20	4号埠頭 3バース	いわき市小名浜	20,500	メタノール(Y)、硫酸(Y)	

海 域	番号	係 留 施 設 名	所 在	最大着棧船舶 (総トン数)	取 扱 油 種	備 考
小名浜港	21	4号埠頭 4バース	いわき市小名浜	3,000	エチレングリコール(Y)、ベンゼン(Y)、硫酸(Y)、二塩 化エチレン(Y)、ジメチルホルムアミド(Y)、酢酸ビニールモ ノマー(Y)	
小名浜港	22	4号埠頭 5バース	いわき市小名浜	3,000	苛性ソーダ(Y)、水酸化マグネシウム(Y)	
小名浜港	23	4号埠頭 6バース	いわき市小名浜	3,000	混酸(Y)、過酸化水素溶液(Y)、硝酸(Y)、水 酸化マグネシウム(Z)	
小名浜港	24	大剣埠頭 6バース	いわき市泉町	5,000	ベンゼン(Y)	

資料4-1 係留施設位置図(油)



資料4-2 係留施設位置図（有害液体物質）



資料5 通航船舶の状況

(1) 金華山沖

(1) 船種・トン数別通行船実態調査結果

船種	貨物船								タンカー							旅客船 (カーフェリー、水中翼船、エアクッション船を除く。)							水中翼船	漁船								
	100トン未満	100	500	1千	3千	1万	2万	2万トン以上	小計	100トン未満	100	500	1千	3千	1万	2万	2万トン以上	小計	100トン未満	100	500	1千		3千	1万	2万	2万トン以上	小計	100トン未満	100	500	500トン以上
東航船								0									0														0	
西航船								0									0														0	
南航船			30	7	3	7		47		3	6	2	1			12														0		
北航船			30	3	1	8	1	43		1	6	3				10									3			3		4	1	5
小計	0	60	10	4	15	1	0	90	0	4	12	5	1	0	0	22	0	0	0	0	0	0	3	0	3	0	3	0	4	1	0	5

船種	カーフェリー								えい航船				押航船				その他 (巡視船、自衛艦、独航えい・押航船をいう。)								合計						
	100トン未満	100	500	1千	3千	1万	2万	2万トン以上	小計	100m未満	100	200	300m以上	小計	50m未満	50	100	150m以上	小計	100トン未満	100	500	1千	3千		1万	2万	2万トン以上	小計		
東航船								0					0					0												0	
西航船								0					0					0												0	
南航船						4	4	8					0					0												0	67
北航船						3		3					0					0				1								1	65
小計	0	0	0	0	7	4	0	11	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	132	

(2) 時間帯別通行船実態調査結果

時刻	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
東航船																									
西航船																									
南航船	3	1	1	7	3		1		3	1	3	3	3	3	3	4	3	2	5	4	2	3	4	5	67
北航船	1	1	6	4	3	8	3	3	2	5	5	1	2	1	3		2	5		4	1	3	2		65
総計	4	2	7	11	6	8	4	3	5	6	8	4	5	4	6	4	5	7	5	8	3	6	6	5	132

(2) 入道沖

(1) 船種・トン数別通行船舶実態調査結果

船種 大きさ ルート	貨物船								タンカー							旅客船（カーフェリー、水中翼船、 エアクション船を除く。）							水中翼船	漁船							
	100トン未満	100～500	500～1千	1千～3千	3千～1万	1万～2万	2万トン以上	小計	100トン未満	100～500	500～1千	1千～3千	3千～1万	1万～2万	2万トン以上	小計	100トン未満	100～500	500～1千	1千～3千	3千～1万	1万～2万		2万トン以上	小計	100トン未満	100～500	500トン以上	小計		
東航船								0								0											0				0
西航船								0								0											0				0
南航船			3					3			2	1	4			7											0	2			12
北航船		2	1	2	1			6		1	2	3	1			7											0				13
小計	0	5	1	2	1	0	0	9	0	1	4	4	5	0	0	14	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	25

船種 大きさ ルート	カーフェリー								えい航船				押航船				その他（巡視船、自衛艦、 独航えい・押航船をいう。）								合計			
	100トン未満	100～500	500～1千	1千～3千	3千～1万	1万～2万	2万トン以上	小計	100m未満	100～200	200～300	300m以上	小計	50m未満	50～100	100～150	150m以上	小計	100トン未満	100～500	500～1千	1千～3千	3千～1万	1万～2万		2万トン以上	小計	
東航船								0					0					0										0
西航船								0					0					0										0
南航船						1	1	2					0	1				1	2			1						3
北航船						1	1	2					0					0										0
小計	0	0	0	0	0	2	2	4	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	2	0	1	0	0	0	0	0	0	3

(2) 時間帯別通行船実態調査結果

時刻 ルート	00	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	計
	01	02	03	04	05	06	07	08	09	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	
東航船																									
西航船																									
南航船				1				1	2	2	2	1		3			2	1		1			2		18
北航船				1					1	1	1		1			2	3	1	2		2				15
総計	0	0	2	0	0	0	1	3	3	3	1	1	3	0	0	2	5	2	2	1	2	2	0	0	33

資料6 特定港入港船舶状況表

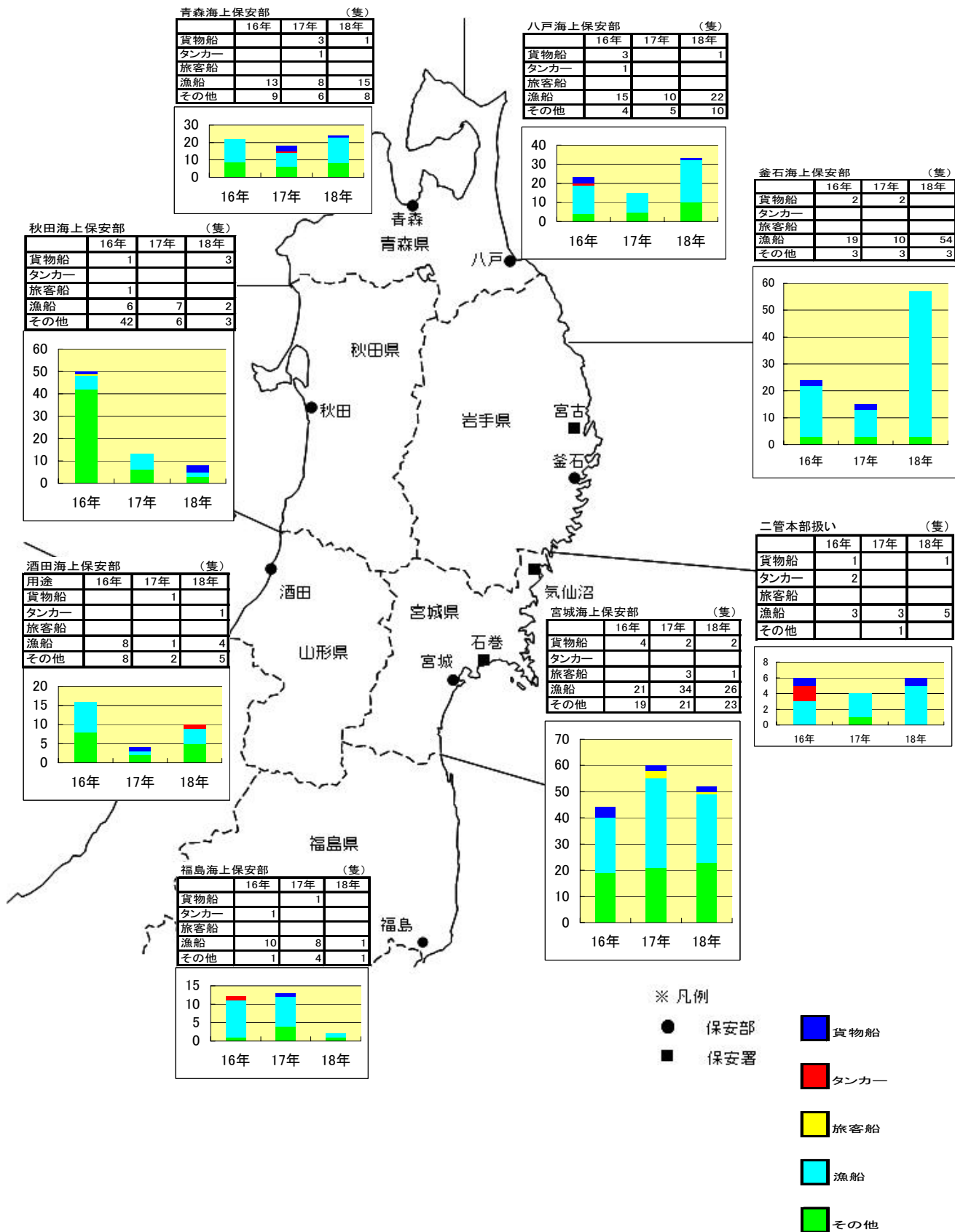
(単位:隻数)

事項別 特定港別	年	トン数階層								合計
		20トン以上 ～ 100トン未満	100トン ～ 500トン	500トン ～ 1,000トン	1,000トン ～ 3,000トン	3,000トン ～ 10,000トン	10,000トン ～ 20,000トン	20,000トン ～ 100,000トン	100,000トン 以上	
仙台塩釜	16	101	3,210	1,830	856	1,239	1,080	138	32	8,486
	17	147	3,235	1,821	817	1,321	960	143	36	8,480
	18	119	3,386	1,942	937	1,295	1,524	158	39	9,400
石巻	16	1,248	3,125	262	252	240	45	56	-	5,228
	17	1,162	2,967	240	198	214	45	58	-	4,884
	18	1,313	2,889	185	211	238	29	77	-	4,942
青森	16	808	89	582	5,083	3,109	22	33	-	9,726
	17	780	151	577	5,032	3,105	15	40	-	9,700
	18	678	101	484	4,643	2,631	24	31	-	8,592
八戸	16	944	4,389	1,218	849	2,307	230	155	-	10,092
	17	1,050	4,657	1,253	823	2,424	234	171	-	10,612
	18	1,050	4,657	1,253	823	2,424	234	171	-	10,612
むつ小川原	16	73	81	32	2	33	-	1	-	222
	17	46	121	14	2	29	-	1	-	213
	18	68	230	55	1	43	1	2	-	400
釜石	16	614	1,183	177	83	103	13	13	-	2,186
	17	719	1,170	177	73	93	12	16	-	2,260
	18	481	898	229	70	102	13	21	-	1,814
秋田船川	16	468	1,004	558	447	792	46	516	-	3,831
	17	387	946	593	510	781	53	524	-	3,794
	18	395	904	760	562	745	95	530	-	3,991
酒田	16	393	1,200	138	247	198	7	27	-	2,210
	17	394	1,071	176	244	238	12	32	-	2,167
	18	409	930	138	218	221	14	23	-	1,953
小名浜	16	776	2,252	841	728	629	164	149	-	5,539
	17	682	2,218	854	699	775	195	161	-	5,584
	18	769	2,096	947	607	746	178	149	-	5,492

資料7 要救助海難発生状況表

用途	年	海難の種類													計
		衝突	乗揚	転覆	浸水	推進器障害	舵故障	機関故障	火災	爆発	行方不明	運航阻害	安全阻害	その他	
貨物船	16	2	4	0	0	2	0	3	0	0	0	0	0	0	11
	17	0	6	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	9
	18	4	1	0	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	8
タンカー	16	2	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	4
	17	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
	18	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
旅客船	16	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
	17	0	0	0	1	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3
	18	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
漁船	16	20	5	23	3	11	1	6	8	0	1	12	1	4	95
	17	14	3	19	4	7	0	8	10	1	0	13	0	2	81
	18	19	6	63	14	5	0	9	9	0	5	6	2	1	139
その他	16	14	5	28	7	2	1	5	0	0	0	20	2	2	86
	17	7	2	2	4	7	0	12	4	0	0	6	0	4	48
	18	9	2	11	2	6	0	8	1	0	0	7	1	6	53
計	16	38	14	51	10	15	2	16	8	0	1	33	3	6	197
	17	21	11	21	9	14	0	24	14	1	0	19	2	6	142
	18	33	9	74	16	11	1	20	10	0	5	13	3	7	202

資料 8 要救助海難発生状況図



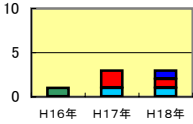
資料9 油等による海洋汚染発生状況表

排出源	原因	故意排出又は容疑のあるもの	器機取扱い不注意によるもの	タンク等の破損によるもの	海難によるもの	原因不明なもの	その他	計
	年							
船舶	16	1	8	2	7	1	0	19
	17	11	9	3	3	0	0	26
	18	12	15	2	6	0	0	35
陸上	16	3	0	0	0	0	0	3
	17	6	0	3	0	0	0	9
	18	5	1	0	0	0	0	6
不明	16	0	0	0	0	2	9	11
	17	0	0	0	0	6	0	6
	18	0	0	0	0	2	1	3
計	16	4	8	2	7	3	9	33
	17	17	9	6	3	6	0	41
	18	17	16	2	6	2	1	44

資料10 油等による海洋汚染発生状況図

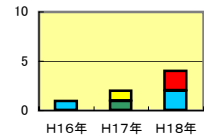
青森海上保安部 (隻)

	H16年	H17年	H18年
故意排出			1
器具取扱い不注意		2	1
タンク等破損			
海難		1	1
原因不明	1		
その他			



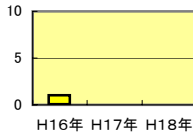
八戸海上保安部 (隻)

	H16年	H17年	H18年
故意排出			
器具取扱い不注意			2
タンク等破損		1	
海難	1		2
原因不明		1	
その他			



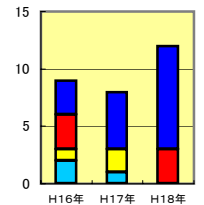
秋田海上保安部 (隻)

	H16年	H17年	H18年
故意排出			
器具取扱い不注意			
タンク等破損	1		
海難			
原因不明			
その他			



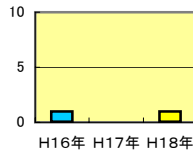
釜石海上保安部 (隻)

	H16年	H17年	H18年
故意排出	3	5	9
器具取扱い不注意	3		3
タンク等破損	1	2	
海難	2	1	
原因不明			
その他			



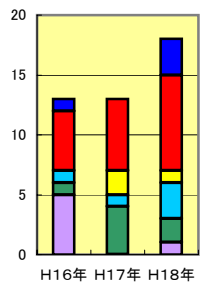
酒田海上保安部 (隻)

	H16年	H17年	H18年
故意排出			
器具取扱い不注意			
タンク等破損			1
海難	1		
原因不明			
その他			



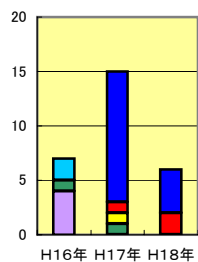
宮城海上保安部 (隻)

	H16年	H17年	H18年
故意排出	1	1	3
器具取扱い不注意	5	6	8
タンク等破損	2	2	1
海難	1	1	3
原因不明	1	4	2
その他	5		1



福島海上保安部 (隻)

	H16年	H17年	H18年
故意排出		12	4
器具取扱い不注意		1	2
タンク等破損		1	
海難	2		
原因不明	1	1	
その他	4		



※ 凡例

- 保安部
- 保安署
- 故意排出又は容疑注
- 器具取扱い不注意
- タンク等破損
- 海難によるもの
- 原因不明なもの
- その他

資料 11 過去の代表的な大規模排出油事故の概要

当海域における過去の大規模排出油事故は、次の 2 例がある。

- 1 昭和 53 年 6 月 12 日午後 5 時 14 分頃、宮城県沖を震源地とするマグニチュード 7.4 の地震が発生し、宮城県地方は震度 5 の強震に遭遇した。

この地震により、仙台市の東北石油(株)仙台製油所（現：新日本石油精製(株)仙台製油所）内の重油貯蔵タンク 2 基及び軽油貯蔵タンク 1 基に亀裂が生じ、重油・軽油合わせて約 68,200kl が流出し、そのうち推定で約 2,900kl が排出口から海上に流出したが、展張されたオイルフェンス内に流入、その後、オイルフェンスを 10 重まで展張し、拡散を防止した。

事故発生から 6 月 20 日までに、船艇延べ 460 隻・航空機延べ 8 機・人員延べ 3,254 人（船艇・航空機の乗組員を含む。）が動員され、オイルフェンス延べ 10,620m・バキュームカー延べ 226 台・水中ポンプ延べ 174 台・油吸着材 14,963 kgのほか、柄杓等を使用して流出油の防除措置を実施した。

本事故において、展張したオイルフェンス内に大量の油が長時間にわたって流出し続けたが、岸壁側に設けられたオイルフェンス係止装置により、オイルフェンスと岸壁の間から漏れることなく拡散を防止することができた。

- 2 平成 5 年 5 月 31 日午前 6 時 53 分頃、福島県いわき市塩屋埼沖合海域で、油タンカー「泰光丸」（総トン数 699 トン）と貨物船「第 3 健翔丸」（総トン数 499）が衝突した。

この事故により、「泰光丸」は右舷タンクに破口を生じ、積荷の C 重油 2,000kl のうち、推定で約 524kl が海上に流出した。

流出した油は工業用燃料として利用されるもので、粘度〔密度 0.092(15℃)〕が極めて高く、事故発生直後は水中に没していたと推定されるが、事故から 2 日後の早朝には、福島県いわき市から茨城県北部に至るまで拡散、折からの低気圧の通過に伴う東よりの強風により、相当量が海岸一帯に漂着した。

このため、防除作業は複雑な海岸線と流出油の性状変化等のため、人海戦術に頼らざるを得ない事態となった。

事故発生から 7 月 8 日までに、船艇延べ 482 隻・航空機延べ 320 機・人員延べ 10,300 人（船艇・航空機の乗組員を含む。）が動員され、オイルフェンス延べ 3,710m・重機等 140 台・油処理剤 349kl・油吸着材 18,700 kgのほか、柄杓等を使用して流出油の防除措置を実施した。

この事故を教訓として、東北地域では各県毎に官民一体となった排出油防除体制の整備が進められ、平成 8 年 1 月 22 日までに東北六県全てに沿岸流出油災害対策協議会が設立された。

資料 1 2 気候表

(1) 小名浜

北緯36度56.6分 東経140度54.4分 標高3.3m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1015.8	3.6	8.2	-0.9	59	46.2	4.2	NNW 25	3.0	1.8	4.1	5.7	0.2	0.2
2月	1015.2	3.7	8.2	-0.6	59	61.9	4.9	NNW 23	3.2	1.8	5.2	6.5	0.1	0.3
3月	1016.1	6.2	10.5	1.9	63	106.1	6.0	N 19	3.2	3.1	8.5	3.6	0.6	0.2
4月	1015.2	11.1	15.4	6.8	70	128.3	6.4	N 14	3.1	1.6	9.6	0.3	2.2	1.3
5月	1012.6	15.1	18.9	11.4	77	147.0	6.9	S 15	2.6	0.5	10.4	0.0	4.2	2.1
6月	1010.1	18.3	21.5	15.6	84	149.8	8.2	NNE 16	2.3	0.3	11.6	0.0	7.5	1.9
7月	1009.7	21.7	24.8	19.3	86	120.5	8.0	S 19	2.2	0.2	10.1	0.0	10.7	2.8
8月	1010.5	23.9	27.3	21.3	84	141.7	6.9	S 17	2.4	0.6	8.0	0.0	6.0	3.0
9月	1013.4	21.3	24.7	18.3	81	205.8	7.6	N 20	2.6	0.8	12.2	0.0	1.3	2.0
10月	1016.9	16.1	20.3	12.0	74	153.1	6.3	N 25	2.6	1.2	9.7	0.0	0.5	0.9
11月	1018.5	10.8	15.5	6.0	69	87.7	5.2	NNW 26	2.7	1.5	6.8	0.2	0.1	0.4
12月	1017.3	6.1	10.9	1.3	62	35.0	4.0	NNW 27	2.9	1.9	4.1	2.3	0.1	0.3
年	1014.3	13.1	17.2	9.4	72	1383.0	6.2	N 17	2.7	15.4	100.4	18.6	33.5	15.3
統計年数	30	29	29	29	29	30	30	22	22	22	30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1979-2000	1979-2000	1979-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971~2001年)」による

(2) 仙台

北緯38度15.5分 東経140度54分 標高38.9m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1015.6	1.5	5.2	-2.0	65	33.1	5.8	NNW 17	3.7	7.3	5.5	19.5	0.2	0.0
2月	1015.2	1.7	5.5	-1.8	64	48.4	6.0	WNW 18	4.0	8.1	5.4	17.4	0.4	0.0
3月	1016.2	4.5	8.8	0.5	62	73.0	6.1	NNW 15	4.0	9.2	7.0	11.6	0.9	0.1
4月	1015.0	10.1	14.8	5.7	64	98.1	6.3	SE 12	3.8	8.4	8.1	1.7	2.6	0.3
5月	1012.3	14.9	19.5	10.8	70	107.9	6.8	SE 16	3.3	5.4	8.5	0.1	3.3	1.2
6月	1010.0	18.3	22.0	15.3	80	137.9	8.3	SE 20	2.9	1.7	11.1	0.0	5.5	1.2
7月	1009.5	22.1	25.7	19.3	83	159.7	8.3	SE 22	2.6	1.3	12.5	0.0	7.5	2.1
8月	1010.4	24.1	27.9	21.2	81	174.2	7.6	SE 20	2.8	2.1	11.0	0.0	3.9	2.4
9月	1013.5	20.4	24.1	17.2	78	218.4	7.7	NNW 16	3.0	2.2	12.0	0.0	1.7	1.3
10月	1017.1	14.8	19.1	10.8	71	99.2	6.4	NNW 18	3.2	3.7	7.7	0.0	0.5	0.3
11月	1018.5	9.1	13.4	4.9	67	66.8	5.8	NNW 17	3.5	5.2	6.3	2.5	0.4	0.2
12月	1017.0	4.3	8.3	0.6	65	26.4	5.6	NNW 15	3.6	7.7	4.3	11.9	0.4	0.0
年	1014.2	12.1	16.2	8.5	71	1241.8	6.7	NNW 13	3.4	62.2	99.5	64.7	27.2	9.2
統計年数	30							19			30			
統計期間	1971-2000							1982-2000			1971-2000			

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

(3) 宮古

北緯39度38.7分 東経141度58.1分 標高42.5m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1014.3	0.2	4.8	-4.0	59	52.6	4.6	WSW 27	2.4	0.4	4.6	16.1	0.2	0.1
2月	1014.1	0.3	4.8	-3.9	62	79.6	5.3	WSW 23	2.5	0.6	5.8	15.9	0.2	0.2
3月	1015.3	3.0	7.8	-1.4	64	85.9	5.8	WSW 20	2.7	0.5	7.1	12.8	0.5	0.2
4月	1014.1	8.7	14.2	3.7	65	96.3	6.1	WSW 18	2.7	0.7	7.9	3.0	2.5	0.2
5月	1011.7	13.1	18.5	8.4	73	98.4	6.7	SW 14	2.5	0.2	8.3	0.1	4.4	1.3
6月	1010.0	16.0	20.2	12.7	85	117.3	8.0	NNE 17	2.2	0.1	9.8	0.0	9.7	1.3
7月	1009.4	20.0	24.1	17.0	87	139.2	7.7	NNE 17	1.9	0.1	10.3	0.0	10.3	1.5
8月	1010.4	22.2	26.4	19.1	85	180.8	7.2	NE 15	2.1	0.0	10.4	0.0	5.6	1.9
9月	1013.6	18.6	23.0	15.0	83	229.4	7.5	WSW 21	2.3	1.0	12.0	0.0	1.6	1.0
10月	1016.5	13.1	18.4	8.4	76	105.7	5.9	WSW 25	2.5	0.5	7.1	0.0	0.2	0.6
11月	1017.5	7.7	13.1	2.7	66	85.6	5.2	WSW 26	2.4	0.4	6.2	3.4	0.2	0.4
12月	1015.7	3.0	7.9	-1.4	60	39.9	4.8	WSW 30	2.4	0.4	4.1	10.3	0.1	0.3
年	1013.6	10.5	15.3	6.4	72	1306.4	6.3	WSW 20	2.4	4.6	93.7	61.6	35.5	9.1
統計年数	30							11			30			
統計期間	1971-2000							1990-2000			1971-2000			

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

(4) 八戸

北緯40度31.5分 東経141度31.5分 標高27.1m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1014.4	-1.2	2.5	-4.5	71	48.2	6.3				6.9	24.0	0.1	0.1
2月	1014.1	-0.9	2.8	-4.4	71	52.7	6.6				7.5	22.4	0.3	0.0
3月	1015.2	2.3	6.6	-1.7	68	51.6	6.4				7.8	17.2	0.4	0.1
4月	1013.8	8.3	13.6	3.5	65	58.9	6.3				7.7	3.3	2.0	0.2
5月	1011.4	13.1	18.5	8.4	70	84.7	6.7				9.4	0.0	4.0	1.1
6月	1009.8	16.1	20.6	12.6	81	99.2	7.7				9.4	0.0	9.1	1.4
7月	1009.1	20.2	24.5	17.0	82	117.1	7.7				9.9	0.0	8.7	2.0
8月	1010.1	22.3	26.5	19.1	81	139.8	7.3				9.4	0.0	6.0	1.9
9月	1013.4	18.6	22.9	14.8	79	167.7	7.3				11.5	0.0	2.2	1.4
10月	1016.3	12.7	17.7	8.0	73	77.0	6.0				8.5	0.1	0.7	0.5
11月	1017.4	6.6	11.3	2.2	70	61.2	6.0				8.5	6.1	0.1	0.3
12月	1015.8	1.6	5.4	-1.8	71	41.7	6.2				7.0	17.8	0.2	0.1
年	1013.4	10.0	14.4	6.1	73	999.7	6.7				103.4	91.0	33.8	9.1
統計年数	30	30	30	30	30	30	30				30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000				1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

(5) 青森

北緯40度49.1分 東経140度46.3分 標高2.8m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1015.0	-1.4	1.5	-4.3	78	144.9	8.9	SW 26	4.0	5.5	22.1	27.7	0.1	0.3
2月	1014.6	-1.1	2.0	-4.3	76	116.0	8.8	SW 25	4.1	5.0	18.9	24.5	0.2	0.4
3月	1015.5	2.0	5.9	-1.8	70	69.5	7.6	SW 22	4.2	7.5	13.9	19.5	0.4	0.4
4月	1013.9	7.9	13.1	3.2	67	60.7	6.7	SW 18	4.2	9.0	9.3	3.5	0.9	0.7
5月	1011.4	13.1	18.5	8.3	70	78.8	6.7	SW 15	3.6	6.3	9.6	0.1	1.4	1.0
6月	1009.6	17.0	21.5	13.2	79	82.2	7.7	NNW 11	3.3	2.7	8.8	0.0	1.9	1.2
7月	1008.8	21.1	25.5	17.6	81	102.6	7.6	SW 12	3.1	2.2	8.4	0.0	2.8	1.7
8月	1009.9	23.0	27.6	19.3	79	129.3	7.0	E 12	3.0	1.2	9.2	0.0	2.0	1.9
9月	1013.2	18.9	23.7	14.6	77	119.8	7.1	SW 15	3.1	2.5	11.1	0.0	0.5	1.7
10月	1016.4	12.6	17.7	7.8	74	106.0	6.5	SW 20	3.4	4.7	13.2	0.3	0.2	2.5
11月	1017.7	6.4	10.7	2.4	73	131.7	7.7	SW 24	3.9	5.9	16.8	8.8	0.0	1.5
12月	1016.2	1.3	4.5	-1.6	77	148.6	8.7	SW 25	4.1	5.8	21.2	22.4	0.0	0.8
年	1013.5	10.1	14.3	6.2	75	1289.9	7.6	SW 18	3.7	58.5	162.5	106.8	10.5	13.9
統計年数	30	30	30	30	30	30	30	12	12	12	30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1989-2000	1989-2000	1989-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

(6) 秋田

北緯39度42.9分 東経140度6.2分 標高6.3m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1016.2	-0.1	2.7	-2.7	73	114.4	9.2	SE 16	5.1	13.2	20.6	27.1	0.4	1.8
2月	1015.7	0.2	3.1	-2.7	72	92.0	9.0	WNW 16	5.0	12.3	16.9	23.7	0.5	1.2
3月	1016.5	3.2	6.9	-0.5	68	93.0	8.0	SE 17	4.8	11.1	14.2	16.9	0.6	1.0
4月	1014.8	9.2	13.6	4.8	68	117.6	7.2	SE 21	4.7	8.8	11.5	2.2	1.3	1.1
5月	1012.1	14.2	18.5	9.9	72	122.8	7.2	SE 23	4.1	5.9	11.0	0.0	1.2	1.7
6月	1009.4	18.8	22.8	15.1	76	127.5	7.7	SE 24	3.7	3.1	10.4	0.0	1.7	1.4
7月	1008.8	22.8	26.4	19.4	79	178.1	7.6	SE 25	3.7	2.6	11.0	0.0	1.6	1.6
8月	1009.7	24.5	28.6	20.9	77	181.9	6.9	SE 29	3.7	2.4	9.5	0.0	0.7	2.4
9月	1013.1	19.9	24.2	16.0	76	177.9	7.3	SE 29	3.7	3.8	13.3	0.0	0.5	2.9
10月	1017.0	13.6	18.2	9.3	73	160.7	6.9	SE 27	3.8	6.2	13.9	0.1	1.0	5.0
11月	1018.6	7.6	11.6	3.7	72	183.5	7.9	SE 24	4.6	8.9	17.8	6.6	0.5	4.8
12月	1017.5	2.8	5.8	-0.2	73	163.8	8.9	SE 19	5.1	12.3	21.5	20.7	0.6	4.4
年	1014.1	11.4	15.2	7.8	73	1713.2	7.8	SE 22	4.4	91.1	171.6	97.3	10.6	29.4
統計年数	30	30	30	30	30	30	30	12	12	12	30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1989-2000	1989-2000	1989-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

(7) 酒田

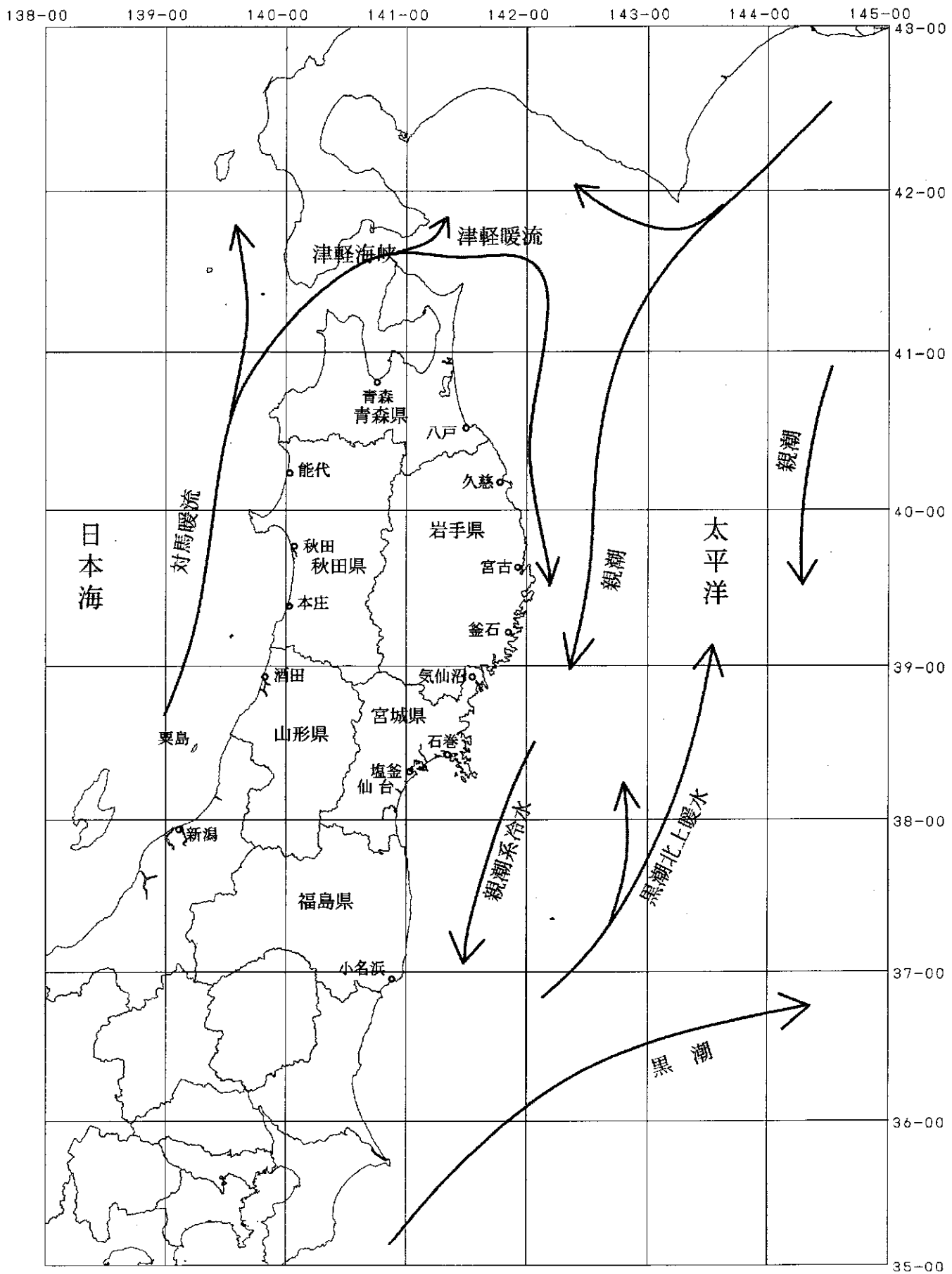
北緯38度54.3分 東経139度50.8分 標高3.1m

月	海面 平均 気圧 (hPa)	気 温(℃)			平均湿度 (%)	月間 降水量 (mm)	平均雲量 (10分比)	風			天 気 日 数 (日)			
		平 均	最 高	最 低				最多風向 <small>16方位 頻度(%)</small>	平均風速 (m/s)	強風日数 (10m/s以上)	降水	雪	霧	雷
1月	1016.6	1.5	4.1	-1.3	71	152.6	9.2	WNW 26	5.8	15.1	22.7	25.5	0.3	2.5
2月	1016.1	1.4	4.3	-1.6	71	115.3	8.9	WNW 26	5.6	13.7	18.5	22.7	0.5	2.0
3月	1016.8	4.2	7.9	0.5	68	103.5	8.1	WNW 20	4.9	10.0	16.2	15.5	0.2	1.4
4月	1015.1	9.8	14.4	5.1	69	105.5	7.0	SE 16	4.3	7.2	12.4	1.6	0.9	1.1
5月	1012.2	14.9	19.3	10.6	72	116.8	7.0	ESE 17	3.7	4.1	11.3	0.0	0.8	1.8
6月	1009.3	19.3	23.2	15.8	77	128.1	7.6	ESE 21	3.5	2.8	11.0	0.0	0.7	1.8
7月	1008.7	23.2	27.0	19.7	80	186.1	7.4	ESE 18	3.4	1.9	11.5	0.0	0.7	2.3
8月	1009.6	24.9	29.1	21.0	77	175.8	6.4	ESE 22	3.4	1.8	10.2	0.0	0.3	3.1
9月	1013.0	20.5	24.7	16.5	77	185.4	7.3	ESE 23	3.6	3.5	13.6	0.0	0.1	3.2
10月	1017.1	14.7	19.1	10.3	72	173.7	6.9	SE 22	4.1	5.2	15.3	0.0	0.3	4.8
11月	1018.8	9.0	12.9	5.0	72	223.9	7.9	SE 20	4.7	9.5	18.8	5.2	0.3	6.2
12月	1017.8	4.3	7.5	1.3	71	201.9	8.9	WNW 22	5.5	14.9	22.5	17.8	0.1	5.7
年	1014.3	12.3	16.1	8.6	73	1861.2	7.7	SE 16	4.4	89.1	183.8	88.3	5.0	36.0
統計年数	30	30	30	30	30	30	30	17	17	17	30	30	30	30
統計期間	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1984-2000	1984-2000	1984-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000	1971-2000

気象庁発行「平年値(統計期間1971～2001年)」による

2) 海流図

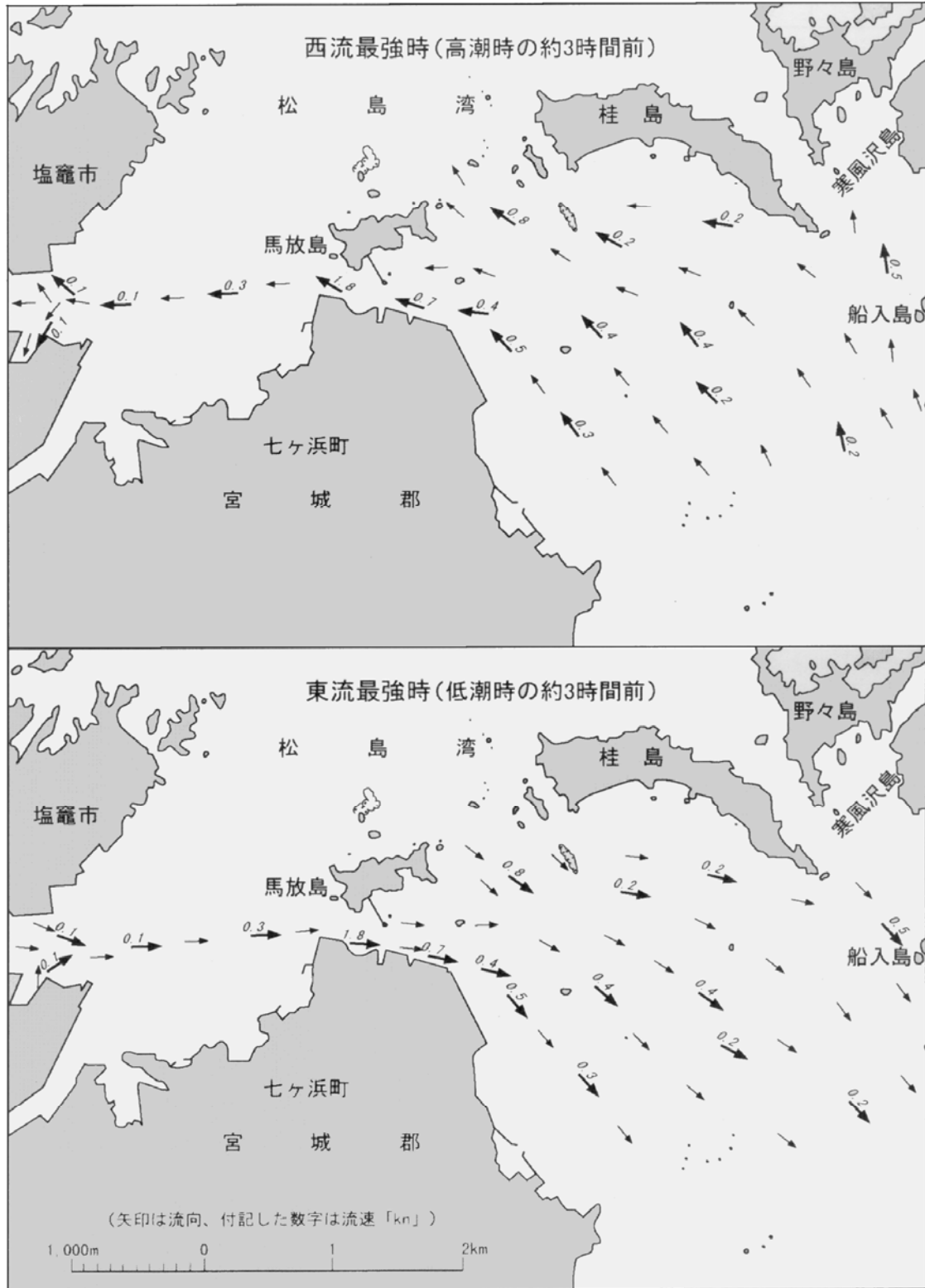
(1) 東北沿岸域海流概況図



資料 1 3 - 1 - 2 海流図 (津軽海峡海流)

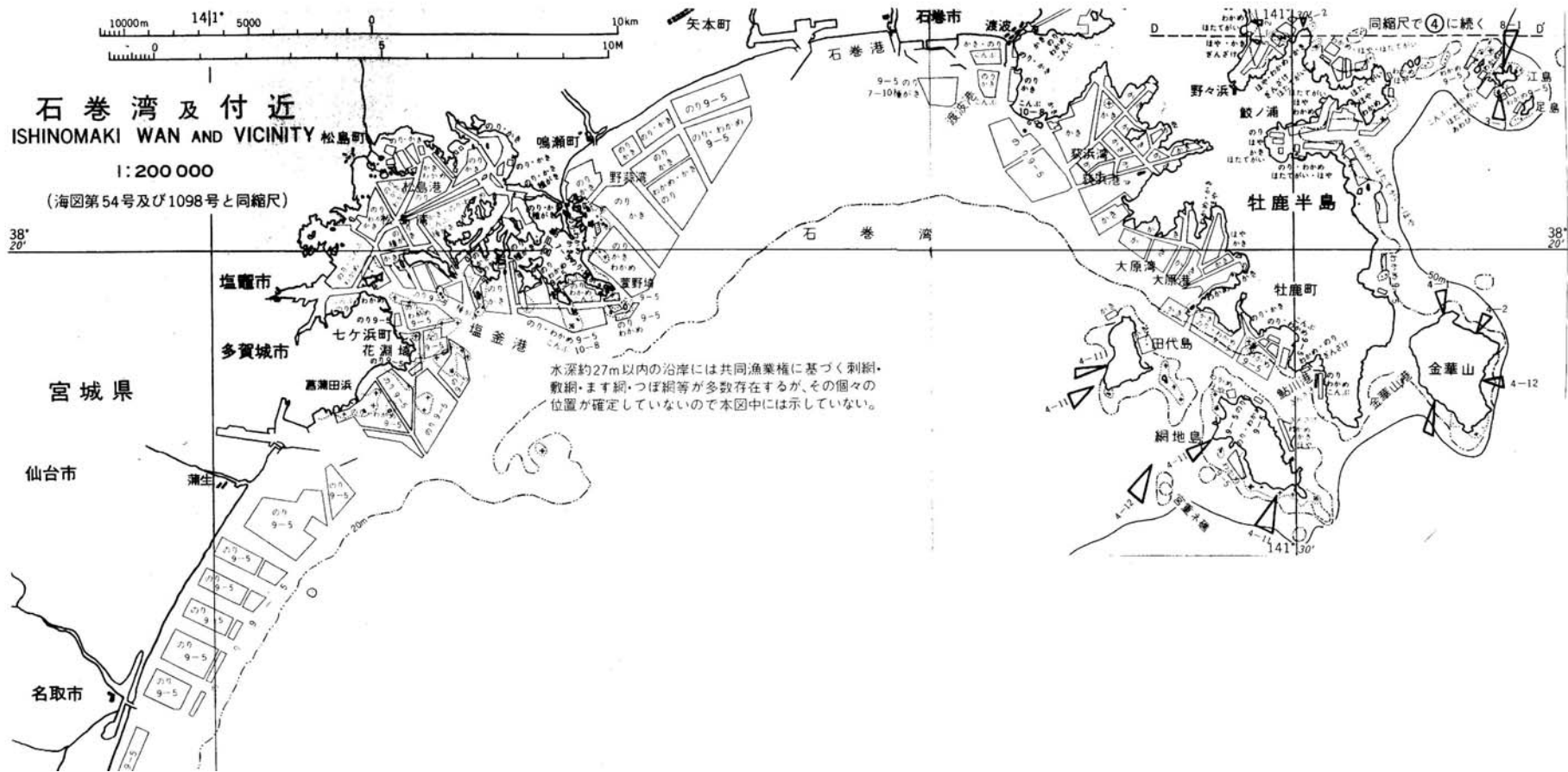


資料 1 3 - 2 潮流図 (塩釜港潮流図)

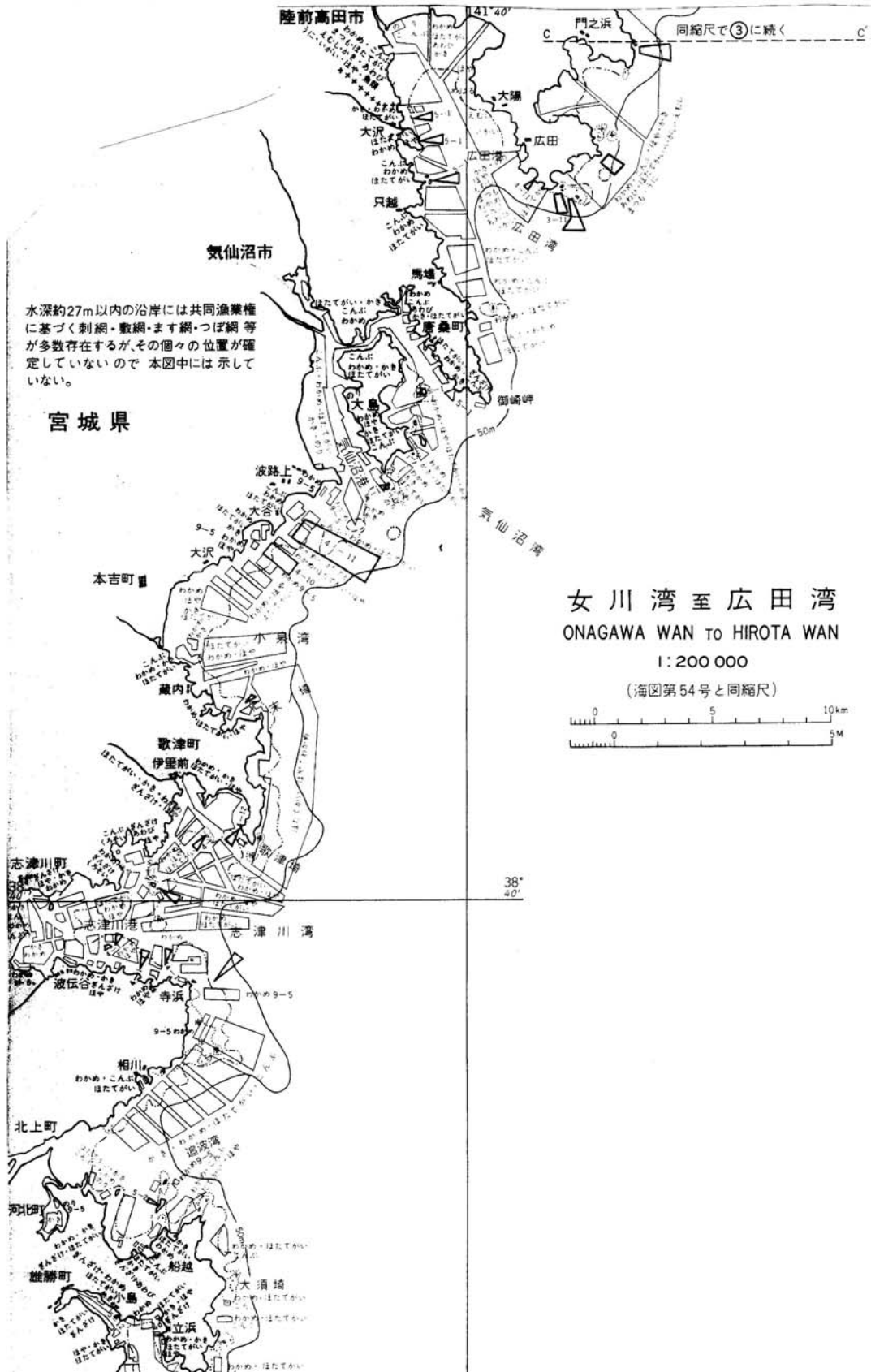


資料 1 4 漁具定置箇所位置図

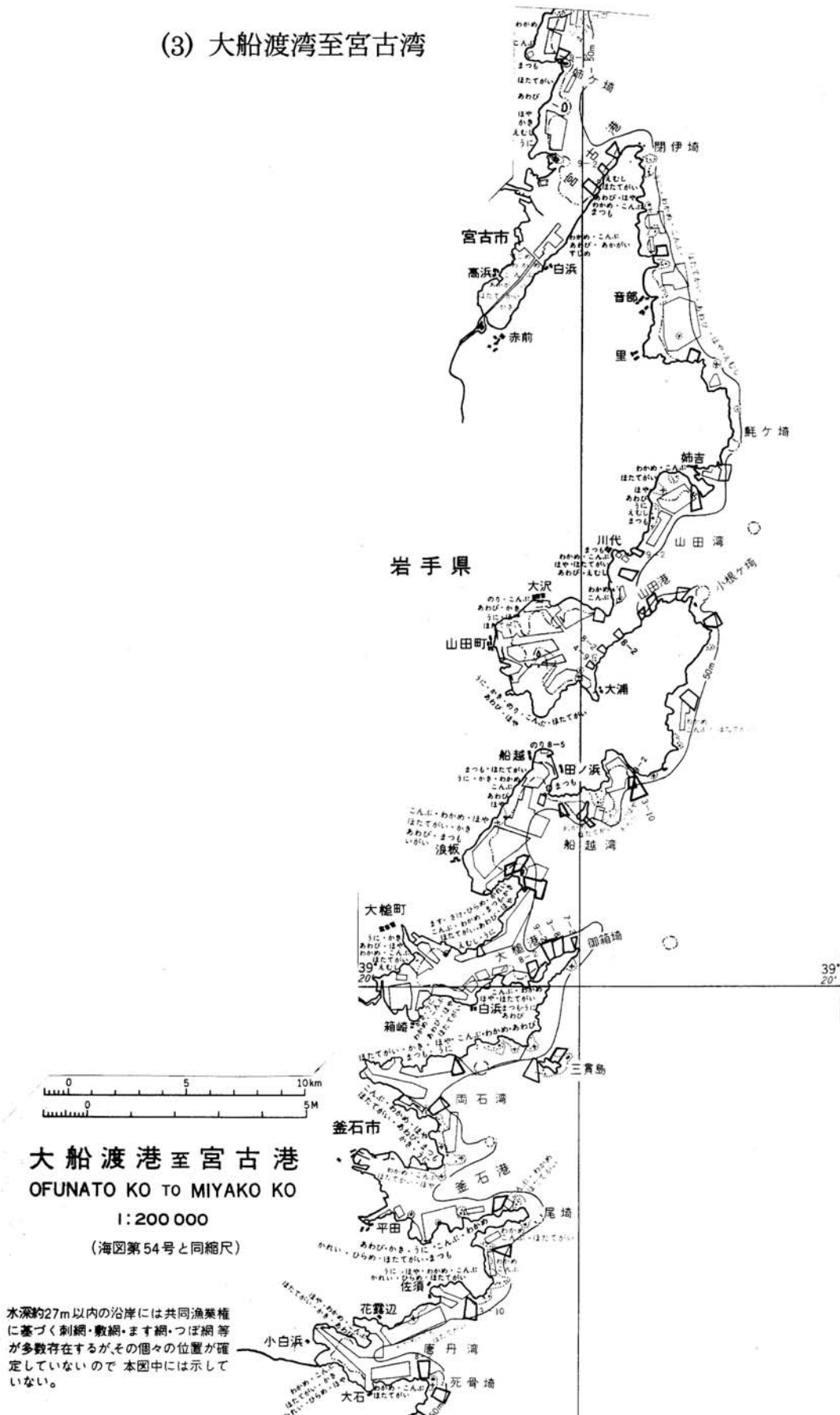
(1) 石巻湾及付近



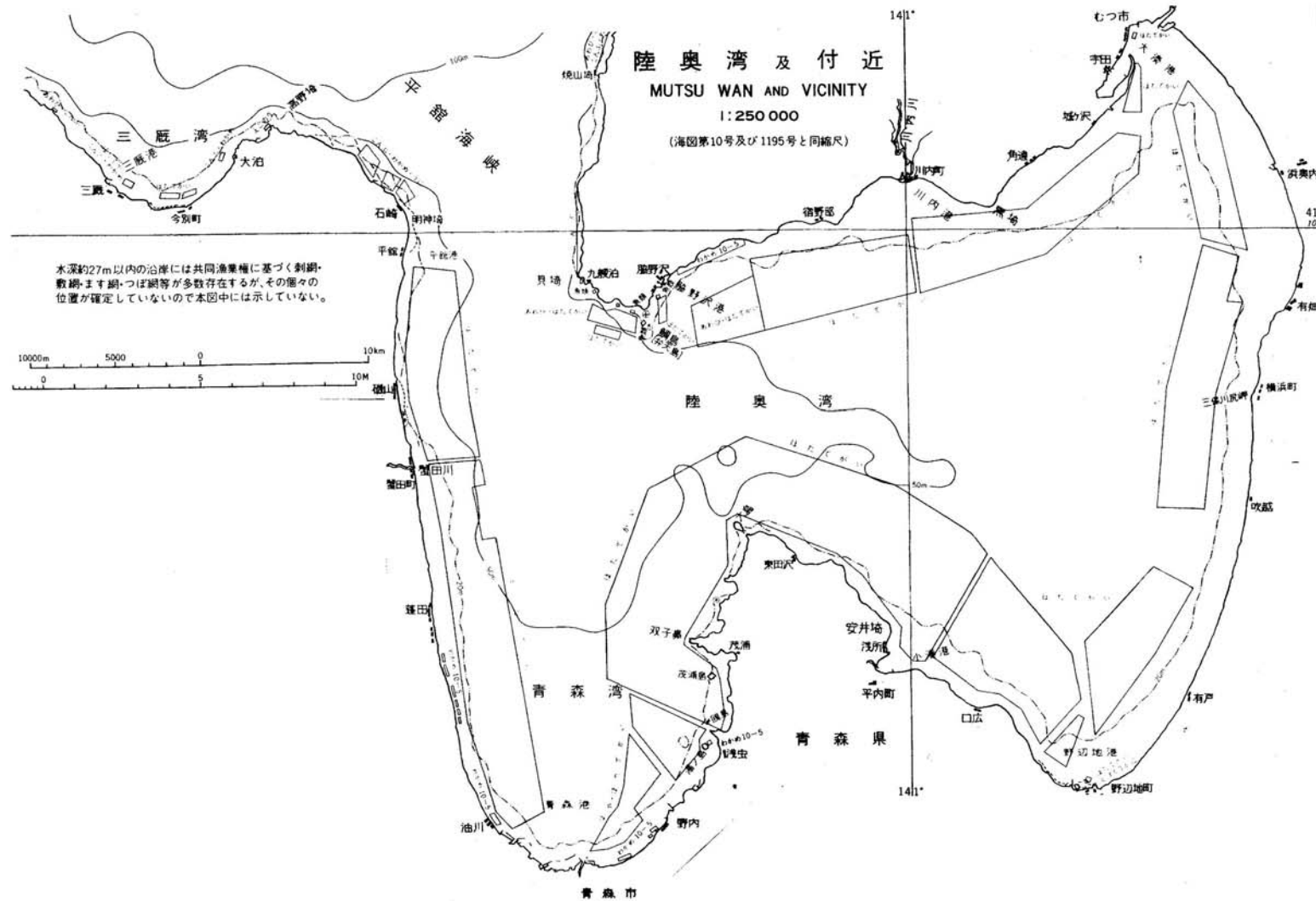
(2) 女川湾至広田湾



(3) 大船渡湾至宮古湾

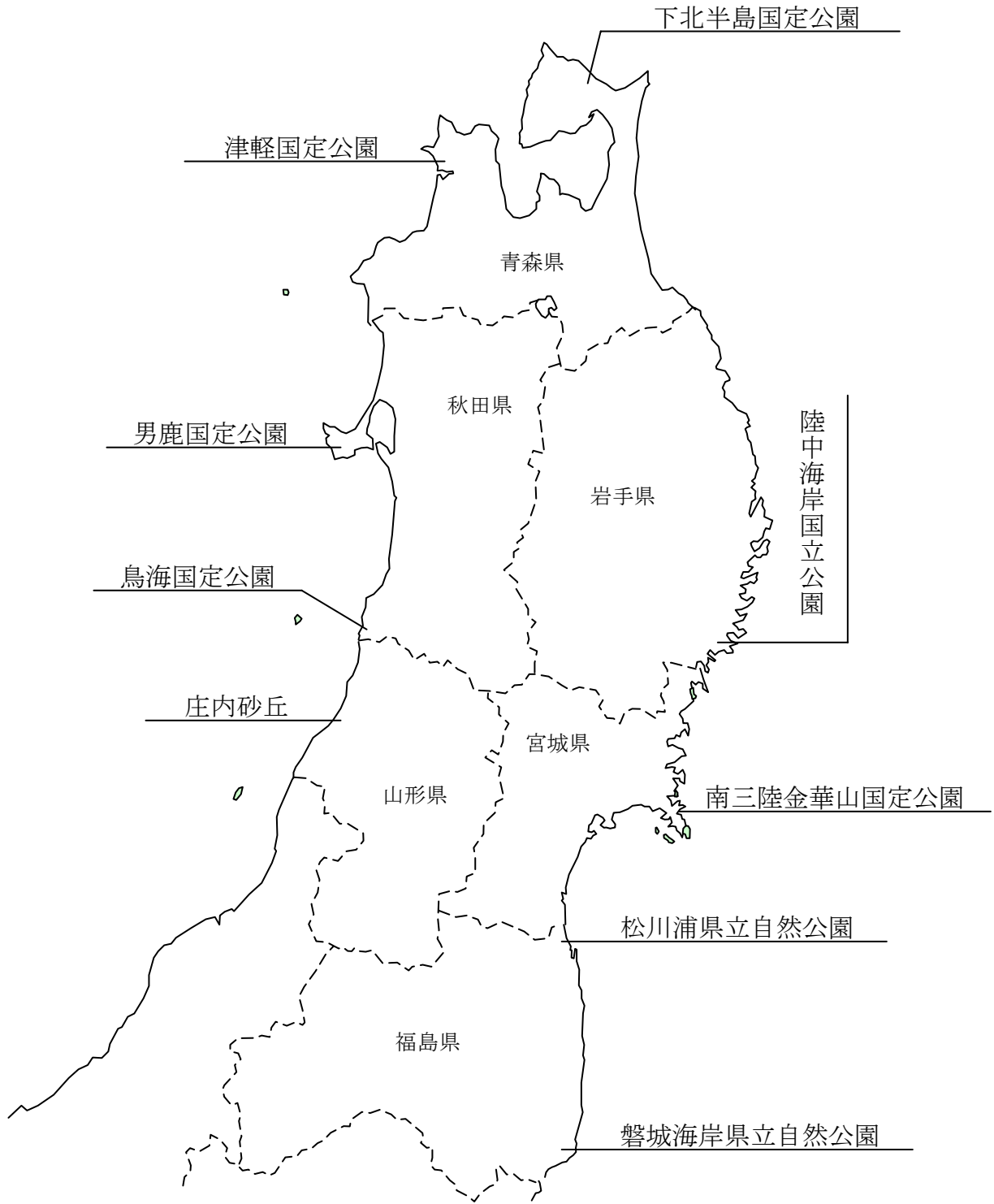


(4) むつ湾及び付近



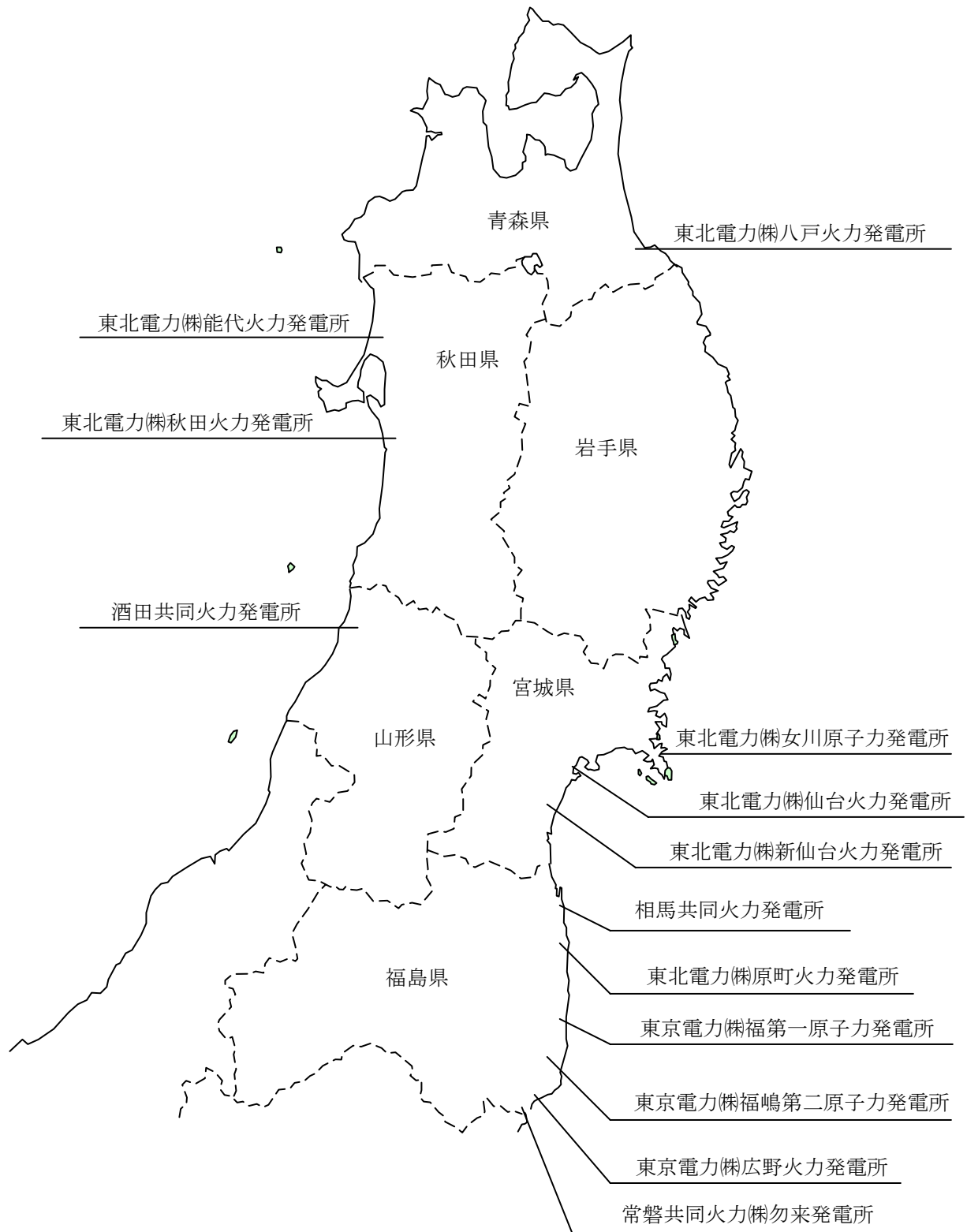
資料 1 5 - 1 東北沿岸海域周辺環境図

(1) 国立公園等



資料 15 - 2

(2) 工場施設等



資料16-1 風・海潮流による排出油の移動距離表（想定1 塩釜港）

パターン	経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離 (m)
		6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	
A 風 5m/s 西北西 潮流0.5ノット 下げ潮初期	6	東南東 4,320	東南東 4,320	東南東 3,889	東南東 3,889	東南東 8,209
	12	東南東 4,320	東南東 8,640	西北西 3,890	0	東南東 8,640
	18	東南東 4,320	東南東 12,960	東南東 3,890	東南東 3,890	東南東 16,850
	24	東南東 4,320	東南東 17,280	西北西 3,890	0	東南東 17,280
	30	東南東 4,320	東南東 21,600	東南東 3,890	東南東 3,890	東南東 25,490
	36	東南東 4,320	東南東 25,920	西北西 3,890	0	東南東 25,920
	42	東南東 4,320	東南東 30,240	東南東 3,890	東南東 3,890	東南東 34,130
	48	東南東 4,320	東南東 34,560	西北西 3,890	0	東南東 34,560
B 風 5m/s 東南東 潮流0.5ノット 上げ潮初期	6	西南西 4,320	西北西 4,320	東南東 3,889	西北西 3,889	西北西 8,209
	12	西南西 4,320	西北西 8,640	西北西 3,889	0	西北西 8,640
	18	西南西 4,320	西北西 12,960	東南東 3,889	西北西 3,889	西北西 16,849
	24	西南西 4,320	西北西 17,280	西北西 3,889	0	西北西 17,280
	30	西南西 4,320	西北西 21,600	東南東 3,889	西北西 3,889	西北西 25,489
	36	西南西 4,320	西北西 25,920	西北西 3,889	0	西北西 25,920
	42	西南西 4,320	西北西 30,240	東南東 3,889	西北西 3,889	西北西 34,129
	48	西南西 4,320	西北西 34,560	西北西 3,889	0	西北西 34,560
C 風 5m/s 東南東 潮流0.5ノット 下げ潮初期	6	西南西 4,320	西北西 4,320	東南東 3,889	東南東 3,889	西北西 431
	12	西南西 4,320	西北西 8,640	西北西 3,889	0	西北西 8,640
	18	西南西 4,320	西北西 12,960	東南東 3,889	東南東 3,889	西北西 9,071
	24	西南西 4,320	西北西 17,280	西北西 3,889	0	西北西 17,280
	30	西南西 4,320	西北西 21,600	東南東 3,889	東南東 3,889	西北西 17,711
	36	西南西 4,320	西北西 25,920	西北西 3,889	0	西北西 25,920
	42	西南西 4,320	西北西 30,240	東南東 3,889	東南東 3,889	西北西 26,351
	48	西南西 4,320	西北西 34,560	西北西 3,889	0	西北西 34,560
D 風 5m/s 西北西 潮流0.5ノット 上げ潮初期	6	東南東 4,320	東南東 4,320	西北西 3,889	西北西 3,889	東南東 431
	12	東南東 4,320	東南東 8,640	東南東 3,889	0	東南東 8,640
	18	東南東 4,320	東南東 12,960	西北西 3,889	西北西 3,889	東南東 9,071
	24	東南東 4,320	東南東 17,280	東南東 3,889	0	東南東 17,280
	30	東南東 4,320	東南東 21,600	西北西 3,889	西北西 3,889	東南東 17,711
	36	東南東 4,320	東南東 25,920	東南東 3,889	0	東南東 25,920
	42	東南東 4,320	東南東 30,240	西北西 3,889	西北西 3,889	東南東 26,351
	48	東南東 4,320	東南東 34,560	東南東 3,889	0	東南東 34,560

資料16-2 風・海潮流による排出油の移動距離表（想定2 入道埼付）

パターン	経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離 (m)
		6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	
A 風 5m/s 北西 海流 0.9ノット 北北東	6	南東 4,320	南東 4,320	北北東 10,000	北北東 10,000	北東 9,252
	12	南東 4,320	南東 8,640	北北東 10,000	北北東 20,000	北東 18,504
	18	南東 4,320	南東 12,960	北北東 10,000	北北東 30,000	北東 27,756
	24	南東 4,320	南東 17,280	北北東 10,000	北北東 40,000	北東 37,008
	30	南東 4,320	南東 21,600	北北東 10,000	北北東 50,000	北東 46,260
	36	南東 4,320	南東 25,920	北北東 10,000	北北東 60,000	北東 55,512
	42	南東 4,320	南東 30,240	北北東 10,000	北北東 70,000	北東 64,764
	48	南東 4,320	南東 34,560	北北東 10,000	北北東 80,000	北東 74,016
B 風 5m/s 南東 海流 0.9ノット 北北東	6	北西 4,320	北西 4,320	北北東 10,000	北北東 10,000	北 12,318
	12	北西 4,320	北西 8,640	北北東 10,000	北北東 20,000	北 24,635
	18	北西 4,320	北西 12,960	北北東 10,000	北北東 30,000	北 36,953
	24	北西 4,320	北西 17,280	北北東 10,000	北北東 40,000	北 49,271
	30	北西 4,320	北西 21,600	北北東 10,000	北北東 50,000	北 61,589
	36	北西 4,320	北西 25,920	北北東 10,000	北北東 60,000	北 73,906
	42	北西 4,320	北西 30,240	北北東 10,000	北北東 70,000	北 86,224
	48	北西 4,320	北西 34,560	北北東 10,000	北北東 80,000	北 98,542

資料16-3 風・海潮流による排出油の移動距離表（想定3 久慈港付）

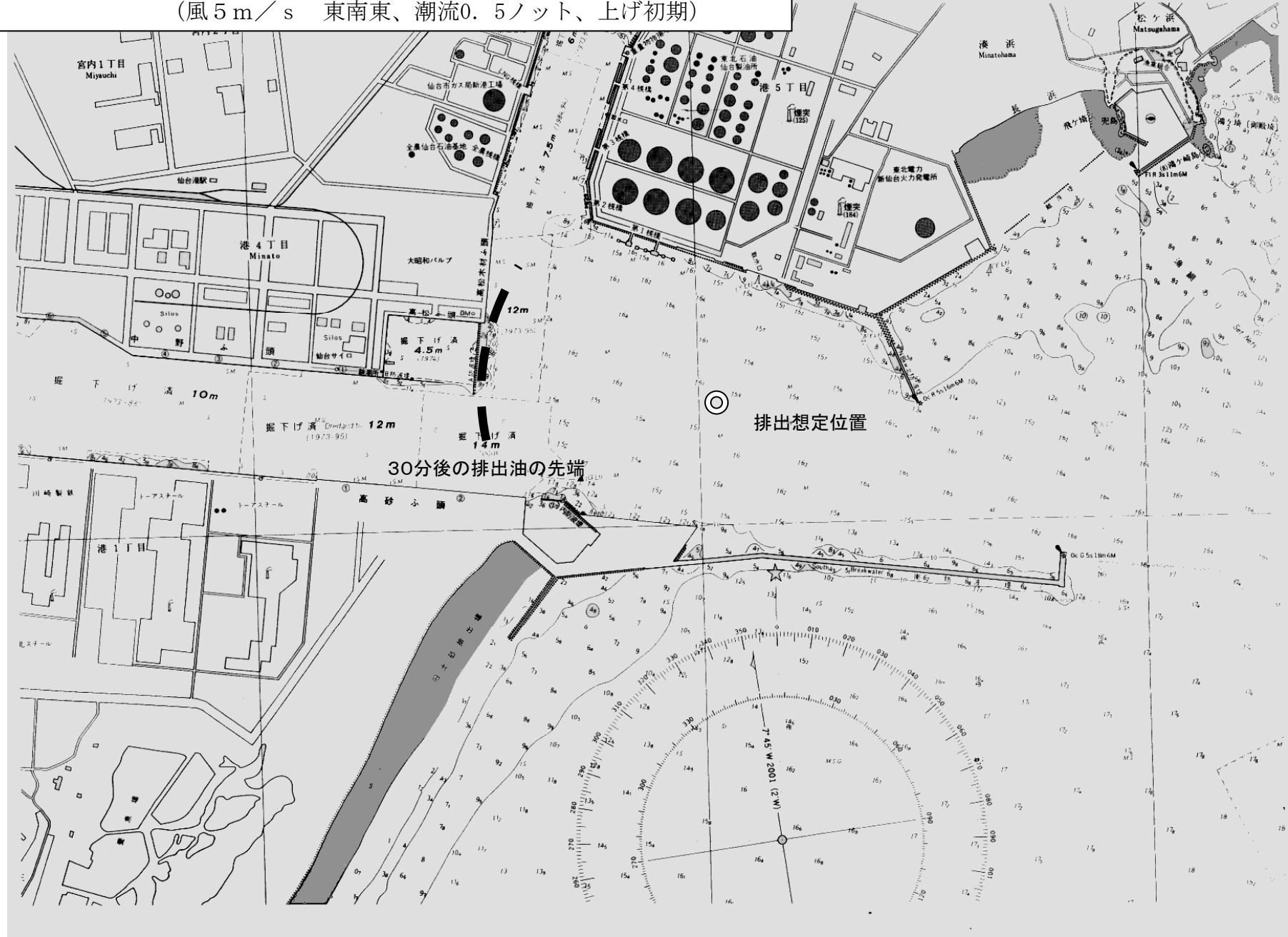
パターン	経過時間	風		海 潮 流		合計移動距離 (m)
		6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	6時間ごとの移動距離 (m)	小 計 (m)	
A 風 5m/s 西南西 海流 1.0ノット 南南東	6	東北東 4,320	東北東 4,320	南南東 11,112	南南東 11,112	南東 8,617
	12	東北東 4,320	東北東 8,640	南南東 11,112	南南東 22,224	南東 17,234
	18	東北東 4,320	東北東 12,960	南南東 11,112	南南東 33,336	南東 25,851
	24	東北東 4,320	東北東 17,280	南南東 11,112	南南東 44,448	南東 34,468
	30	東北東 4,320	東北東 21,600	南南東 11,112	南南東 55,560	南東 43,085
	36	東北東 4,320	東北東 25,920	南南東 11,112	南南東 66,672	南東 51,702
	42	東北東 4,320	東北東 30,240	南南東 11,112	南南東 77,784	南東 60,318
	48	東北東 4,320	東北東 34,560	南南東 11,112	南南東 88,896	南東 68,935
B 風 5m/s 北東 海流 1.0ノット 南南東	6	南西 4,320	南西 4,320	南南東 11,112	南南東 11,112	南 15,193
	12	南西 4,320	南西 8,640	南南東 11,112	南南東 22,224	南 30,387
	18	南西 4,320	南西 12,960	南南東 11,112	南南東 33,336	南 45,580
	24	南西 4,320	南西 17,280	南南東 11,112	南南東 44,448	南 60,773
	30	南西 4,320	南西 21,600	南南東 11,112	南南東 55,560	南 75,967
	36	南西 4,320	南西 25,920	南南東 11,112	南南東 66,672	南 91,160
	42	南西 4,320	南西 30,240	南南東 11,112	南南東 77,784	南 106,354
	48	南西 4,320	南西 34,560	南南東 11,112	南南東 88,896	南 121,547

資料17-1-1 海洋汚染想定図 パターンA

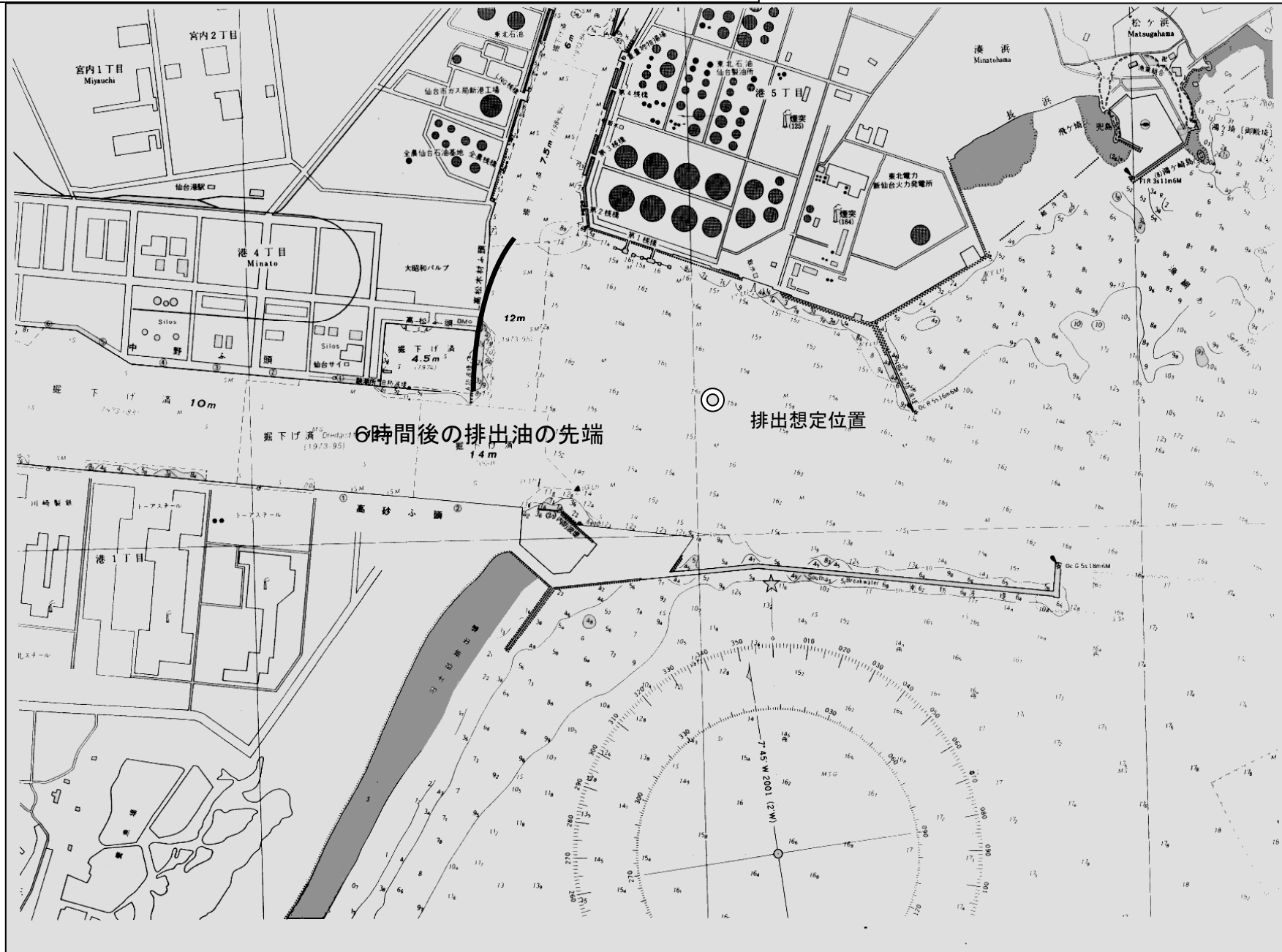
(風 5 m/s 西北西、潮流0.5ノット、下げ初期)



資料17-1-2 海洋汚染想定図 パターンB
 (風5m/s 東南東、潮流0.5ノット、上げ初期)



資料17-1-3 海洋汚染想定図 パターンC
 (風5m/s 東南東、潮流0.5ノット、下げ初期)



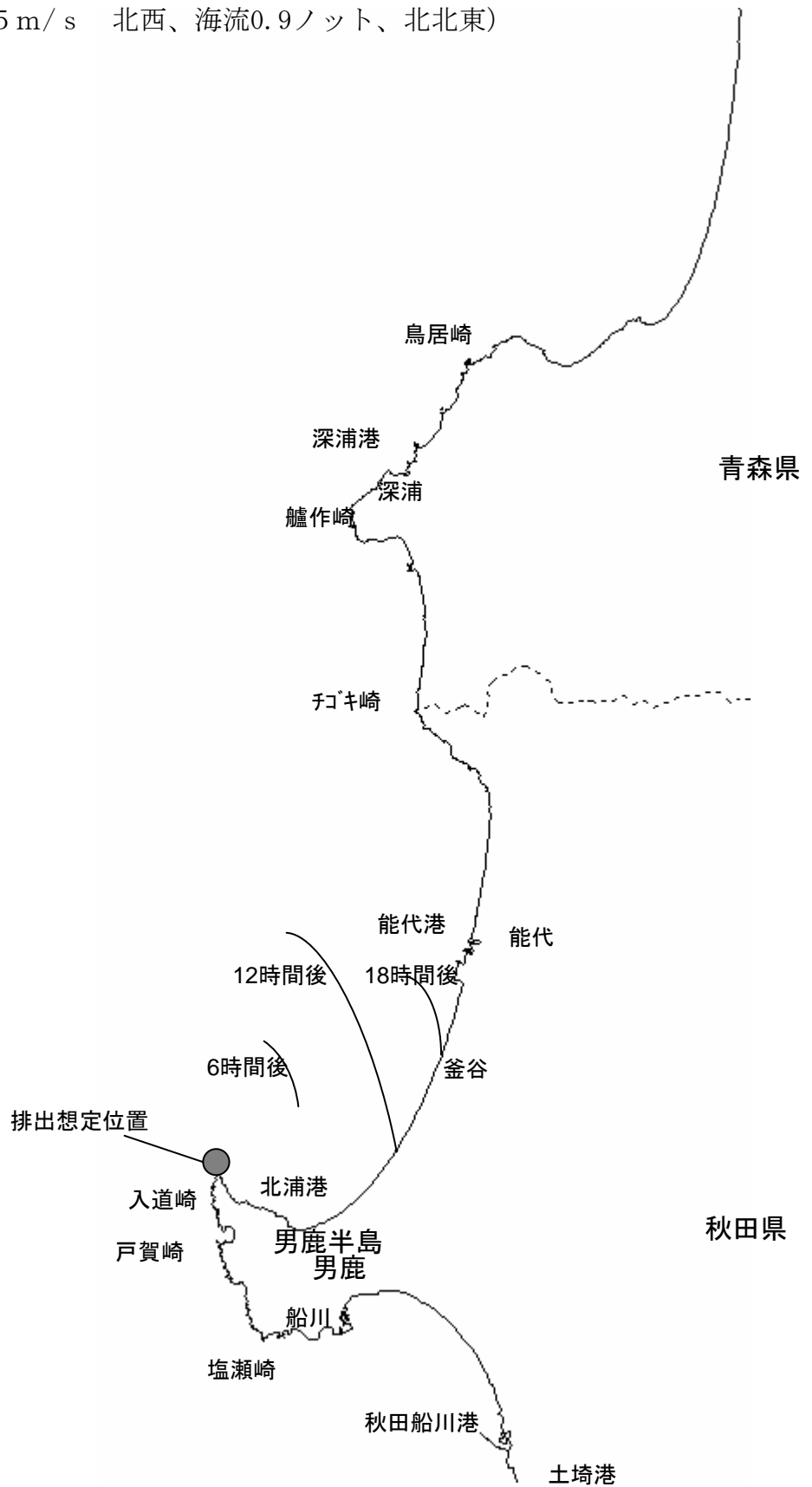
資料17-1-4 海洋汚染想定図 パターンD

(風 5 m/s 西北西、潮流0.5ノット、上げ初期)



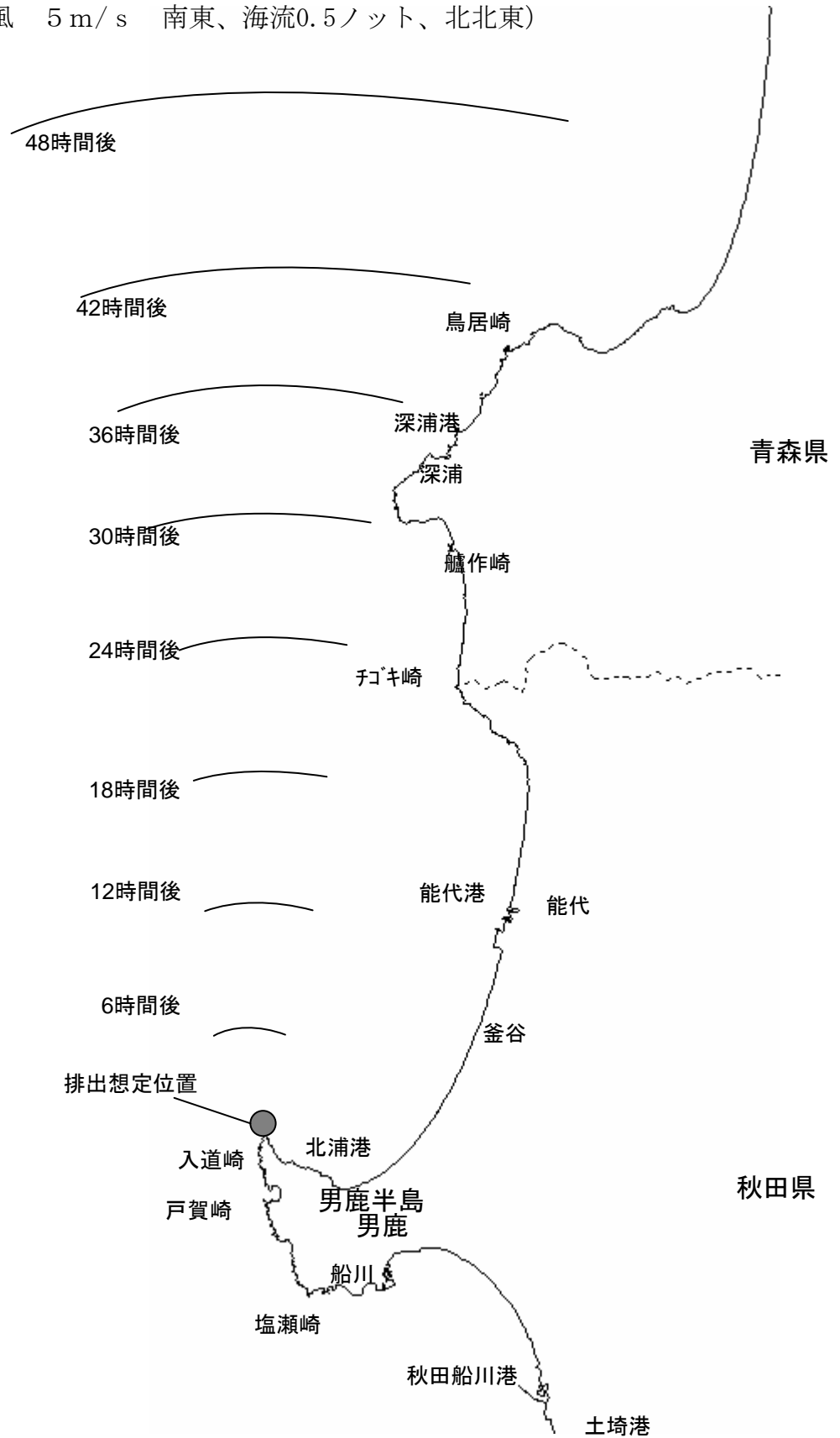
資料17-2-1 海洋汚染想定図 パターンA

(風 5 m/s 北西、海流0.9ノット、北北東)



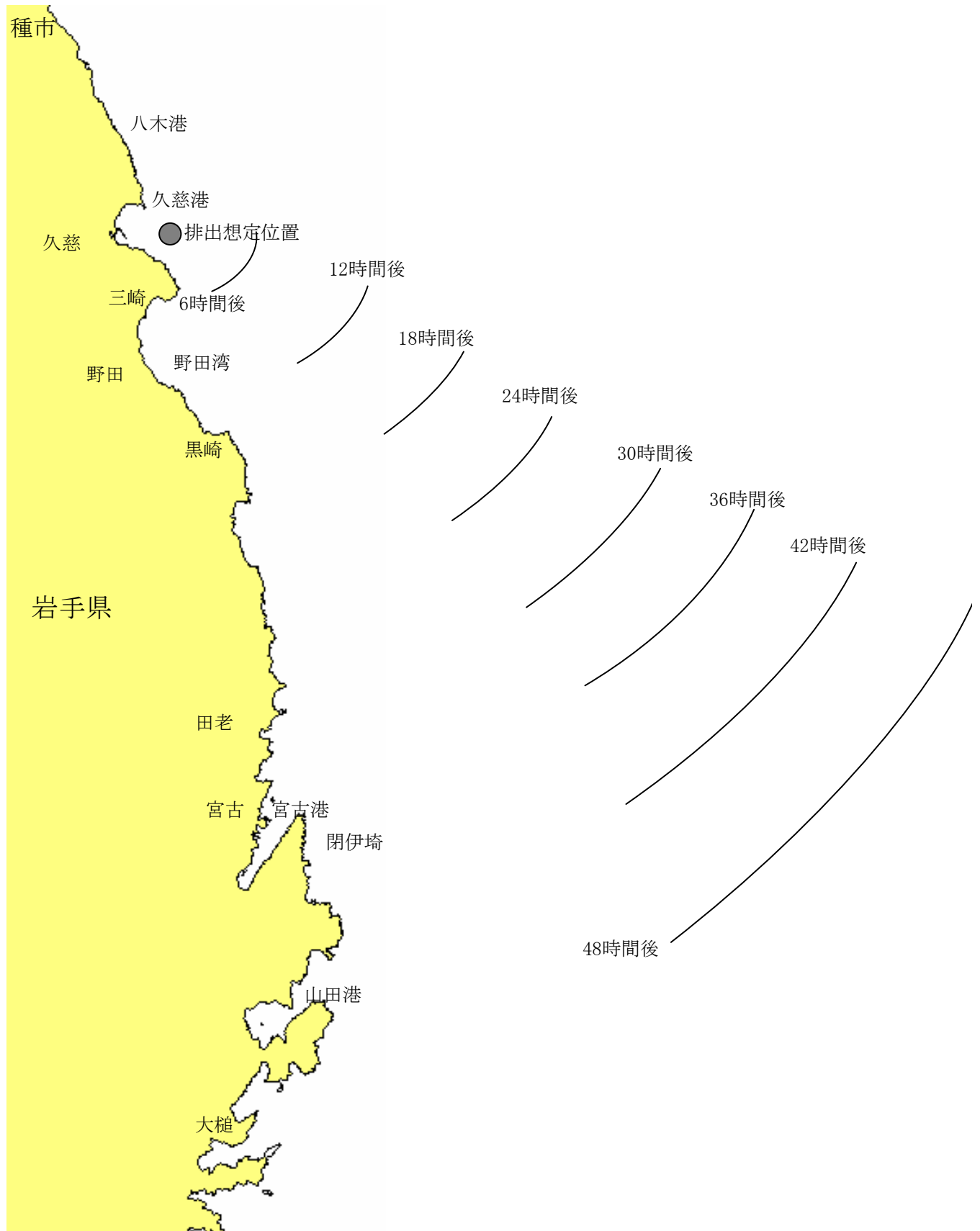
資料17-2-2 海洋汚染想定図 パターンB

(風 5 m/s 南東、海流0.5ノット、北北東)



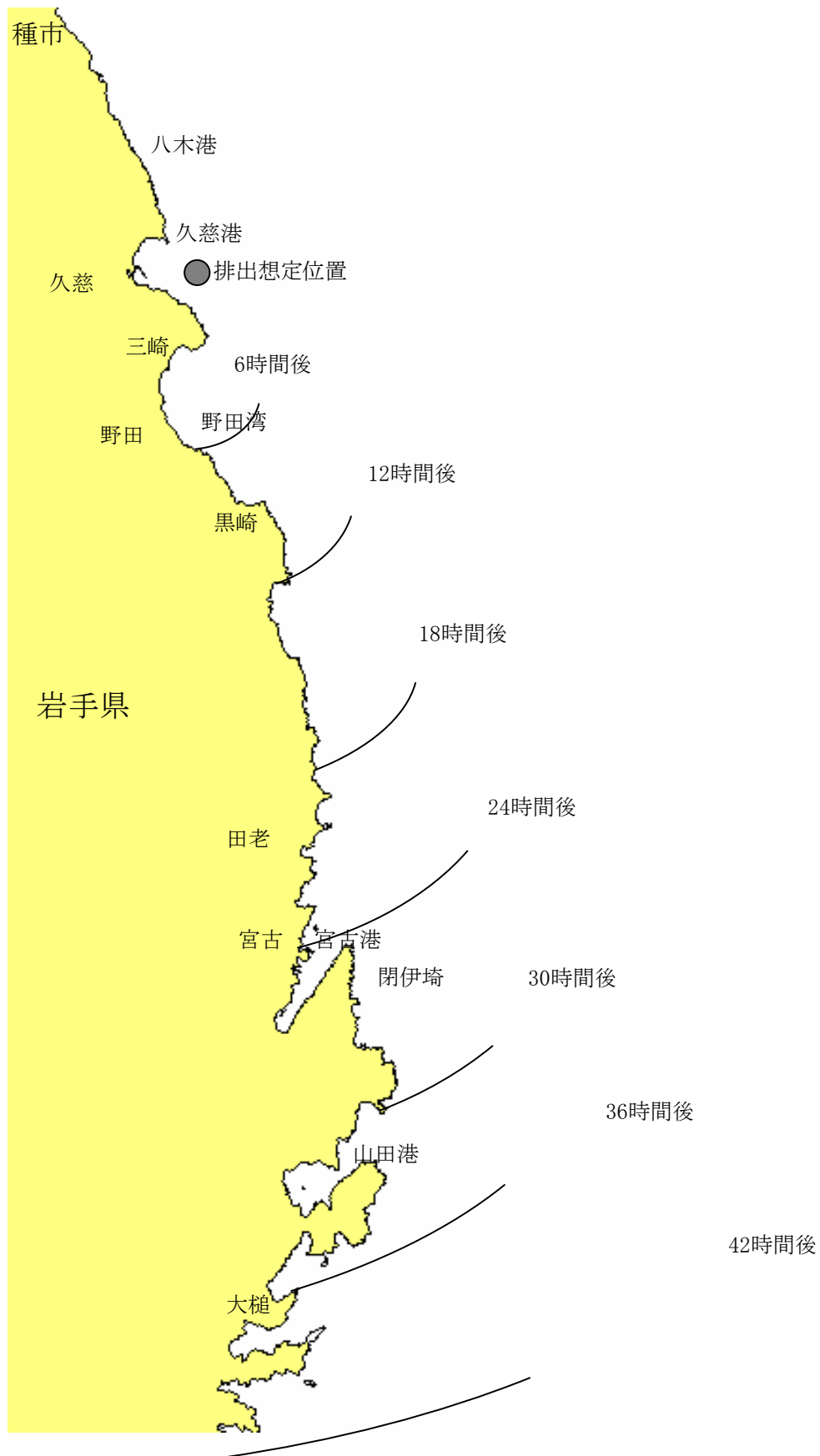
資料17-3-1 海洋汚染想定図 パターンA

(風5 m/s 西北西、潮流1ノット、南南東)



資料17-3-2 海洋汚染想定図 パターンB

(風5 m/s 北東、潮流1ノット、南南東)



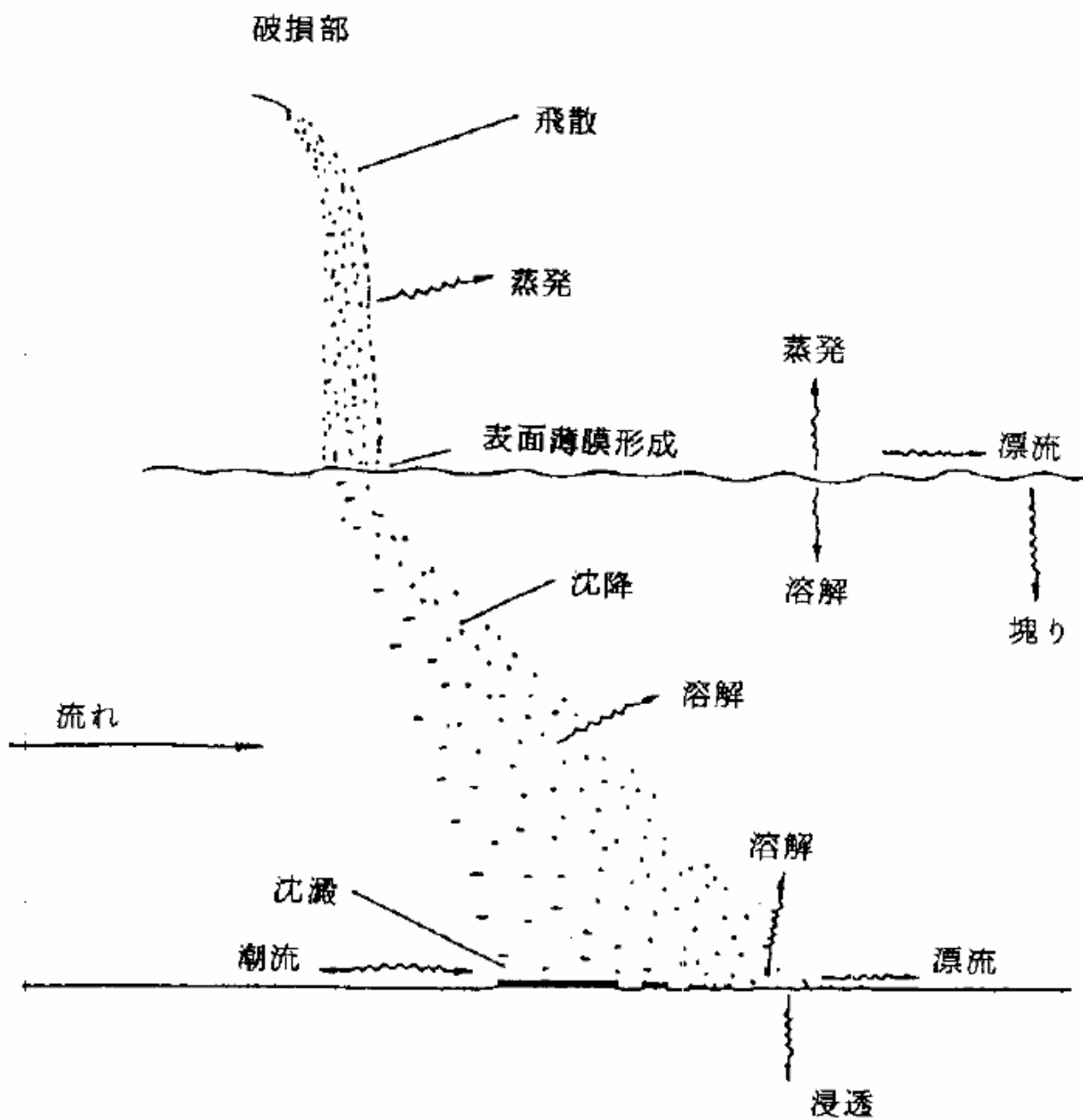
資料18 有害液体物質の挙動による分類

挙動による分類		物質名
蒸発性物質	短時間で大気中に蒸発する物質 (比重が海水より軽く、かつ、蒸気圧が20mmHg以上の物質)	ベンゼン、メタノール(メチルアルコール)、トルエン、シクロヘキサン、アクリロニトリル、メタクリル酸メチル、エタノール(エチルアルコール)、アセトン、酢酸ビニル、酢酸エチル、メチルエチルケトン、プロパノール(プロピルアルコール)、ヘキサン、アクリル酸メチル、ジメチルアミン
海面浮遊性物質	長時間にわたって海上に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水より軽く、かつ、蒸気圧が20mmHg未満のもの)	キシレン、スチレン、プロピルベンゼン、オクタノール(オクチルアルコール)、オクテン、ジイソプロピルベンゼン、アルキルベンゼン、フタル酸ジオクチル、アクリル酸2エチルヘキシル、ノナノール(ノニアルアルコール)、プロピレン四量体、アクリル酸エチル、アルファメチルスルホン酸、ヘプタン、ブチルアルデヒド、メタクリル酸ブチル、エチルベンゼン、ジイソブチレン、ウンデカノール(ウンデシアルアルコール)、パーム油脂脂肪酸(ヤシ油脂脂肪酸)、ジペンテン、塩化アリル、イソホロン
海中漂流性物質	長時間にわたって海中に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水と同じもの)	1,3-シクロペンタジエン二量体
沈降性物質	長時間にわたって海底に滞留する物質 (不溶性物質であって、比重が海水より重いもの)	ジクロロエタン(1,3-ジクロロエタン)、ジフェニルメタンジイソシアネート、エピクロロヒドリン、クロロホルム、トリクロロエチレン、テトラクロロエチレン、1,1,1-トリクロロエタン、オルトクロロニトロベンゼン
溶解性物質	短時間で海水中へ溶解する物質 (蒸発性物質に該当しない可溶性物質)	ブタノール(ブチルアルコール)、酢酸、フェノール、水酸化カリウム溶液、エチレングリコール、シクロヘキサノール、アクリル酸、アニリン、酢酸ブチル、ブチレングリコール、メチルブチルケトン、無水酢酸、アセトンシアニドヒドリン、ジクロロメタン、ソルビトール溶液、クレゾール、トルエンジイソシアネート、アリルアルコール、ヘキサメチルジアミン溶液、ジメチルホルムアミド、メタクリル酸、ジエチレングリコール、ノン、ホルムアルデヒド溶液、エチレングリコールモノブチルエーテルアセテート、キシレノール、プロピレングリコールモノメチルエーテルアセテート、トリエタノールアミン、水酸化ナトリウム、ジエタノールアミン、エチレングリコールジアセテート、ジプロピレングリコール、燐酸、エタノールアミン、硫化水素ナトリウム水溶液、酢酸2エトキシエチル、ヘプタノール(ヘプチルアルコール)、ジアセトンアルコール、アルキルベンゼンスルホン酸

資料 1 9 有害液体物質の分類・品目別取扱量（輸送量上位 1 0 品目）

物質 順位	X類物質		Y類物質		Z類物質	
	取扱品目	取扱量（t）	取扱品目	取扱量（t）	取扱品目	取扱量（t）
1	コールタール	714,438	キシレン	2,805,279	ブタノール〔ブチルアルコール〕	302,484
2	クレオソート(コールタールより得られたものに限る。)	491,191	ベンゼン(濃度が10重量%以上の粗製ベンゼンを含む。)	1,978,547	酢酸	263,329
3	ジイソプロピルベンゼン	46,251	スチレン	1,328,604	エタノール〔エチルアルコール〕	252,413
4	フタル酸ジオクチル	41,619	メタノール〔メチルアルコール〕	760,825	アセトン	216,907
5	ナフタレン	36,106	トルエン	695,212	酢酸エチル	141,813
6	アルキルベンゼン(炭素数が4から8)	29,072	シクロヘキサン	466,084	メチルエチルケトン	106,230
7	プロピレン四量体	26,248	アクリロニトリル	370,367	ブチレングリコール	46,238
8	アルファオレフィン	17,407	メタクリル酸メチル	274,474	アルキルベンゼン(炭素数が9以上)	42,651
9	フタル酸ジアルキル(炭素数が7から13)	16,909	フェノール	243,702	無水酢酸	40,947
10	ヘプタン	15,482	水酸化カリウム溶液	241,855	ポリプロピレングリコール	16,147

資料 2 0 流出後の物質の分散経路



資料 2 1 排出油防除資材等保有状況一覧

(1) 油回収船

平成19年10月1日現在

担当部署	船名	機関名	総トン数	速力 (ノット)	航行区域	回収方式	回収能力 (kL/h)	貯油能力 (kL)	保有資機材						消火設備			備考		
									オイルフェ ンス (m)	油処理剤 (L)	油吸着材 (Kg)	油ゲル化剤 (Kg、L)	放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)					
八戸	第3たかほこ丸	むつ小川原国家石油備蓄基地	483	10	沿海	導入 (傾斜板)	92.8	300			G	1000	O	1027	P	0	6,000×1 3,000×2	6,000×1 3,000×2 18,000L		
八戸	ちかびおやしお	久慈国家石油備蓄基地	194	10	沿海	導入 (傾斜板)	50	131	C	400	G	400	M	200	P	400	5,000×1	5,000×1 3,800L		
宮城	はぎ	新日本石油精製(株)	11	7.7	平水	導入 (傾斜板)	37	8												
秋田	男鹿3号	秋田国家石油備蓄基地	191	9.6	沿海	付着 (ベルト)	65	100			G	700	R	300	P	0.18	2,000×1	2,000×1 1500L		
福島	第2さくら丸	小名浜石油(株)	20	19.5	平水	堰式	40	7			G	100	M	9		33×1				
福島	広野丸	南双サービス(株)	160	13	沿海	導入 (傾斜板)	42	42	B	400	G	2,000					1,500×1 3,000×1	1,500×1 3,000×1 6,000L		

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高精度対応型、S：自己攪拌型
◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(ℓ)

(2) 油回収装置

平成19年10月1日現在

担当 部署	機関名	装置名	製造者	基 数	回収方式	回収 能力 (KL/h)	船舶 積載の 可否	装置を積載する船舶			備考
								船名	装置の 固定方法	回収油貯蔵タンク 容量(kl×基)	
青森	海上保安庁	SKIM PAK 2000	DOUGLAS ENGINEERING 日立協和エンジニアリング(株) (日本ラバール(株))	1	堰式	7	可	巡視船艇		0.75×1	
青森	出光興産(株) 青森油槽所	SLURP	AMBLER ENGINEERING (株)スリック	1	吸引式	12	可				
青森	青森油化工業(株)	ジャイロスキマー	モリヤ	1	吸引式	0.04	可				
青森	大湊海上自衛隊	サンドグラスセパレーター	ワールドケミカル	1	比重分離式	12	可				
八戸	海上保安庁	DELTA SKIMMER	VIKOMA INTERNATIONAL LTD カテリウス(株)	1	吸引式	30	可	巡視船艇		1.5×2 (ファスタンク・ラビット)	
八戸	むつ小川原石油備蓄基地	KOMARA STAR	VIKOMA INTERNATIONAL LTD カテリウス(株)	1	付着-ディスク式	15	可				
八戸	久慈国家石油備蓄基地	DESMI-TERMINATOR	RO-CLEAN DESMI	1	堰式	100	可				
八戸	久慈国家石油備蓄基地	DESMI-TERMITE	RO-CLEAN DESMI	1	堰式	27	可				
八戸	久慈国家石油備蓄基地	SKIM PAK 4000	DOUGLAS ENGINEERING 日立協和エンジニアリング(株) (日本ラバール(株))	1	堰式	7	可				
釜石	海上保安庁	DELTA SKIMMER	VIKOMA INTERNATIONAL LTD カテリウス(株)	1	吸引式	30	可	巡視船艇		1.5×1 (ファスタンク・ラビット)	
宮城	海上保安庁	DELTA SKIMMER	VIKOMA INTERNATIONAL LTD カテリウス(株)	1	吸引式	30	可	巡視船艇		1.5×2 (ファスタンク・ラビット)	
宮城	海上保安庁	LSC	(株)カネサ	1	付着-ブラシ式	25	可	1,000トン型巡視船	舷側ホルト固定	10×2 (ランサーバージ)	
宮城	新日本石油精製(株)	KOMARA 12K	VIKOMA INTERNATIONAL LTD カテリウス(株)	1	付着-ディスク式	12	可				
秋田	海上保安庁	DELTA SKIMMER	VIKOMA INTERNATIONAL LTD カテリウス(株)	1	吸引式	30	可	巡視船艇		1.5×2 (ファスタンク・ラビット)	

担当 部署	機関名	装置名	製造者	基 数	回収方式	回収 能力 (KL/h)	船舶 積載の 可否	装置を積載する船舶			備考
								船名	装置の 固定方法	回収油貯蔵タンク 容量(kl×基)	
秋田	秋田国家石油備蓄基地	YSオイルスキミング	ダイトコーポレーション	2	堰式	18	可				
秋田	秋田国家石油備蓄基地	コマラスター		1		15	可				
秋田	秋田国家石油備蓄基地	フォックステイル		1		20	可				
秋田	東北ポートサービス	KOMARA 20K	VIKOMA INTERNATIONAL LTD カテリウス(株)	1	付着ディスク式	20	可				
酒田	海上保安庁	SKIM PAK 2000	DOUGLAS ENGINEERING 日立協和エンジニアリング(株) (日本ラバール(株))	1	堰式	7	可	巡視船艇		0.75×1	
福島	海上保安庁	SKIM PAK 2000	DOUGLAS ENGINEERING 日立協和エンジニアリング(株) (日本ラバール(株))	1	堰式	7	可	巡視船艇		0.75×1	
福島	原町火力発電(株)	HARBOURMATE MINI SKIMMER	PHAROS MARINE AB LTD	1	堰式	12	可				

(3) 高粘度油回収ネット

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	ネット名称	製造者	網目の大きさ (mm)	ネット個数 (個)	本体個数 (個)	備考
青森	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
八戸	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
八戸	むつ小川原国家石油備蓄基地	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	6	6	
八戸	久慈国家石油備蓄基地	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
釜石	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
宮城	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
宮城	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	70	7	
秋田	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
秋田	海上保安庁	キョーワ式H-7型	キョーワ(株)	2×3	50	5	
秋田	東北電力(株) 秋田火力発電所	FN501型	セニヤ海洋サービス(株)	50×50	2	1	
秋田	秋田国家石油備蓄基地	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	3	1	
秋田	海上災害防止センター	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	2	1	船川基地
福島	海上保安庁	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	
福島	海上災害防止センター	SEASWEEPERM-07型	森下化学工業(株)	2×3	1	1	小名浜基地

(4) オイルフェンス展張船

平成19年10月1日現在

担当 部署	船名	機関名	総トン数又 は大きさ (全長×型幅 型深(m))	自航 能力	速力 (ノッ ト)	航行 区域	保有資機材							展張 速度 (m/分)	巻揚 装置	備考		
							オイルフェンス			油処理剤 (L)	油吸着材 (Kg)		油ゲル化剤 (Kg、L)					
							名称	型	長さ (m)									
八戸	第2たかほこ丸	むつ小川原国家石油備蓄基地	499	自航	12	沿海		準D	1,200	G	500	O	1,006			30	有	
秋田	男鹿2号	秋田国家石油備蓄基地	108	自航	10.9	沿海		B	600	G	1,000	M	250	P	180	120	有	
福島	きたば	南双サードス(株)	19	自航	9.06	沿海		B	500	G	2,000					50	有	

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型
 ◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型
 ◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(ℓ)

(5)オイルフェンス、油処理剤、油吸着材、油ゲル化剤等

平成19年10月1日

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ(m)	型	量(l)	(袋)	型	量(Kg)	形状	量(Kg,L)	
青森	海上保安庁	B	300	G	1,660	16	M	136			
青森	海上保安庁			S	594						
青森	大湊海上自衛隊	A	3,220	G	700		M	3,200	L	2,600	
青森	青森地域広域消防事務組合			G	637		M	58			
青森	青森港管理所	A	1,560	G	1,512		M	852	L	370	
青森	東西オイルターミナル(株)青森油槽所			G	1,008		M	240			
青森	東西オイルターミナル(株)新青森油槽所	B	540	G	1,008		M	240			
青森	ジャパンオイル(株)青森油槽所	B	340	G	1,170		M	150			
青森	大畑町海上石油協同組合	A	300	G	810						
青森	青森油化工業			G	630	10	M	200	P	200	
青森	大畑町清港会	B	480	G	486		F	192			
青森	小計		6,740		10,215	26		5,268		3,170	
八戸	海上保安庁	B	300	S	1,062	20	M	278			
八戸	海上保安庁			G	774						
八戸	八戸市消防本部	B	260	G	2,340						
八戸	東日本タグポート(株)			G	7,126		M	840			
八戸	米海軍八戸油槽所	B	730	G	340		M	115			
八戸	全国漁業協同組合連合会八戸油槽所	A	300	G	774		M	320			
八戸	全国漁業協同組合連合会八戸油槽所	B	540								
八戸	ジャパンオイルネットワーク(株)八戸油槽所	B	860	G	1,566		M	180			
八戸	東西オイルターミナル(株)八戸油槽所	B	1,700	G	2,214		M	420	L	238	
八戸	東西オイルターミナル(株)八戸油槽所								P	32	
八戸	(株)ジャパンエナジー八戸油槽所	B	540	G	1,116		M	119			
八戸	カメイ(株)八戸油槽所	A	300	G	900		M	300			
八戸	カメイ(株)八戸油槽所	B	540								
八戸	出光興産(株)八戸油槽所	B	540	G	1,116		M	474			
八戸	出光興産(株)八戸油槽所						F	26			
八戸	むつ小川原国家石油備蓄基地	D	2,400	G	2,000		M	5,920			
八戸	むつ小川原国家石油備蓄基地	B	160								
八戸	久慈市漁業協同組合	A	300	G	500		M	184			
八戸	川重商事(株)	A	300	G	504		M	200			
八戸	三菱商事(株)青森支店	A	360	G	558		M	182			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)	
八戸	三菱製紙(株)八戸工場	A	300	G	1,080		M	618			
八戸	三菱製紙(株)八戸工場	B	250								
八戸	三菱製紙(株)八戸工場	D	120								
八戸	エス・ネット八戸	A	200	G	180		M	50			
八戸	大平洋金属(株)	B	420	G	1,044		M	408			
八戸	久慈国家石油備蓄基地	C	2,300	G	2,740	48	M	2,551	L	4,616	
八戸	八戸港管理所	A	480	G	918		M	1,308			
八戸	八戸港管理所	B	440								
八戸	三八地方漁港整備事務所	A	320	G	720		M	100			
八戸	MRCユニテック(株)	A	360	G	558		M	182			
八戸	東北ポートサービス八戸営業所	B	490	G	864		M	289	L	150	
八戸	久慈市	A	180	G	800		M	210			
八戸	久慈地区広域行政事務組合消防本部										
八戸	久慈地方振興局土木部	B	1,020	G	1,980		M	780	L	4,740	
八戸	東北電力(株)八戸火力発電所	B	920	G	990		M	405	P	170	
八戸	東北電力(株)八戸火力発電所								P	16	
八戸	住金鉱業(株)八戸鉱業所			G	54		M	34			
八戸	若築建設(株)八戸工事事務所	A	200								
八戸	海上災害防止センターむつ小川原基地	B	700	G	1,854		M	5,671			
八戸	海上災害防止センター久慈基地	B	600	G	1,998		M	2,460			
八戸	海上災害防止センター久慈基地						R	1,360			
八戸	陸上自衛隊八戸基地	A	70				M	330	P	570	
八戸	小計		19,500		38,670	68		26,314		10,532	
釜石	海上保安庁	B	300	G	720	12	M	90			
釜石	海上保安庁						F	30			
釜石	釜石地方振興局	B	1,540	G	360		M	430	L	120	
釜石	大船渡地方振興局	B	2,260	G	900		M	204	L	250	
釜石	山田町	A	860	G	900		M	1,157			
釜石	宮古地区広域行政組合山田消防署			G	207		M	15	L	34	
釜石	山田漁業協同組合連合会			G	540		M	340			
釜石	織笠漁業協同組合						M	85			
釜石	船越湾漁業協同組合	A	200	G	170		M	85			
釜石	大浦漁業協同組合	A	460	G	54		M	306			
釜石	山田町漁業協同組合			G	18		M	85			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)	
釜石	菅原建設(株)岩手営業所			G	90		M	30			
釜石	(株)尾半商店			G	90		M	42			
釜石	丸萬石油			G	18		M	5			
釜石	(株)サカト			G	36						
釜石	岩手県漁業取締事務所	A	1,000				M	605			
釜石	釜石大槌地区行政事務組合消防本部			G	288		M	93			
釜石	新日本製鐵(株)釜石製鐵所	A	300	G	540		M	185			
釜石	岩手県オイルターミナル(株)	B	1,460	G	1,170		M	1,550	L	180	
釜石	(株)アヘギ釜石営業所			G	100		M	80	P	36	
釜石	カメイ(株)釜石支店	A	80	G	540		M	123	L	45	
釜石	カメイ(株)釜石支店	B	220	G	270						
釜石	(株)塩釜商会大船渡支店釜石営業所			G	270						
釜石	北日本石油(株)盛岡支店釜石販売支店			G	100		M	10			
釜石	海洋曳船(株)			G	3,000		M	100			
釜石	東亜建設(株)釜石事務所			G	72		M	132			
釜石	東洋建設(株)釜石事務所						M	20			
釜石	五洋建設(株)釜石総括事務所						M	34			
釜石	(株)及川工務店			G	460		M	170			
釜石	(株)山元	A	900	G	936		M	820			
釜石	(株)佐賀組釜石営業所	A	100	G	36		M	17			
釜石	三陸興産(株)	A	30	G	144		M	25	L	45	
釜石	三陸興産(株)	B	50								
釜石	中央マリン産業(株)釜石営業所			G	18		M	34			
釜石	大槌町漁業協同組合	A	250								
釜石	若築建設(株)釜石営業所			G	36		M	34			
釜石	釜石湾漁業協同組合						M	34			
釜石	唐丹町漁業協同組合			G	40		M	102			
釜石	大船渡市	B	1,120	G	99		M	550	L	60	
釜石	陸前高田市	A	1,200	G	442		M	303	L	360	
釜石	陸前高田市	B	16								
釜石	太平洋セメント(株)大船渡工場	A	480	G	306		M	408	L	299	
釜石	太平洋セメント(株)大船渡工場	B	430								
釜石	カメイ(株)大船渡油槽所	A	240	G	2,862		M	867			
釜石	カメイ(株)大船渡油槽所	B	480								

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスネア	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)	
釜石	(株)塩釜商会大船渡支店	A	50	G	90		M	34			
釜石	全国漁業協同組合連合会大船渡油槽所	A	360	G	612		M	463			
釜石	(株)八木又商店	A	14	G	180		M	50			
釜石	東北汽船港運(株)	A	220	G	120		M	85			
釜石	山和商店(有)			G	180		M	51			
釜石	りんかい日産建設(株)岩手営業所			G	36		M	10			
釜石	気仙郡漁連	A	40	G	72		M	136			
釜石	大船渡港業(株)	A	40								
釜石	(株)明和土木			G	90		M	118			
釜石	(株)佐賀組	A	200	G	180		M	136	L	90	
釜石	吉浜漁業協同組合			G	8		M	76	L	36	
釜石	越喜来漁業協同組合	A	40	G	40		M	20			
釜石	綾里漁業協同組合	A	100	G	20		M	39			
釜石	大船渡市漁業協同組合	A	1,180	G	60		M	45			
釜石	広田湾漁業協同組合	A	20	G	100		M	100			
釜石	小計		11,080		13,823	0		8,127		1,151	
宮古	海上保安庁			G	522	15	M	98			
宮古	海上保安庁			S	252		F	65			
宮古	釜石港湾事務所宮古港事務所			G	72		M	34			
宮古	釜石港湾事務所宮古港事務所						O	26			
宮古	岩手地方振興局水産部	A	200	G	306		M	272			
宮古	岩手地方振興局土木部	A	360	G	1,100		M	270	P	200	
宮古	岩手地方振興局土木部	B	440								
宮古	宮古市役所	A	1,420				M	222			
宮古	宮古消防署	A	60	G	90		M	13			
宮古	宮古漁業協同組合			G	324		M	54			
宮古	重茂漁業協同組合			G	162		M	62			
宮古	コーペミカル(株)宮古工場	A	300	S	900		M	100			
宮古	カメイ(株)宮古支店	A	200	G	540		M	103			
宮古	(株)アヘキ宮古営業所	A	200	G	396		M	70			
宮古	(株)塩釜商会宮古支店	A	200	G	540		M	70			
宮古	(株)本間組宮古営業所			G	90		M	43			
宮古	(株)佐賀組宮古営業所	A	100	G	90		M	34	L	102	
宮古	古久根建設(株)三陸事業所	A	180	G	126		M	51			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)	
宮古	大阪建設(株)	A	120	G	100		M	32			
宮古	高弥建設(株)宮古営業所	A	160	G	80		M	35			
宮古	海洋曳船(株)			G	3,000		M	120			
宮古	小計		3,940		8,690	15		1,774		302	
宮城	海上保安庁	B	300	G	936	15	M	212			
宮城	海上保安庁			D	3,420		F	26			
宮城	海上保安庁			S	990		R	34			
宮城	塩釜地区消防事務組合	A	200	G	900		M	1,400			
宮城	宮城県仙台港湾事務所	A	560	G	828		M	24			
宮城	宮城県塩釜港湾事務所	B	620	G	144		M	510			
宮城	仙台地方振興事務所水産漁港部	A	1,100	G	936		M	1,087			
宮城	宮城県総務部	A	640	G	14,526		M	3,454			
宮城	宮城県総務部	B	1,840				R	2,771			
宮城	カメイ(株)塩釜貞山油槽所	A	180	G	1,080		M	422			
宮城	カメイ(株)塩釜貞山油槽所	B	630								
宮城	エクソンモービル石油(株)塩釜油槽所			G	3,124		M	602			
宮城	エクソンモービル石油(株)塩釜油槽所	B	540								
宮城	出光興産(株)塩釜油槽所	A	300	G	468		M	720			
宮城	出光興産(株)塩釜油槽所	B	540								
宮城	昭和シェル石油(株)塩釜油槽所	A	260	G	1,566		M	333	L	36	
宮城	昭和シェル石油(株)塩釜油槽所	B	540								
宮城	丸紅エネルギー(株)塩釜油槽所	A	180	G	540		M	204			
宮城	丸紅エネルギー(株)塩釜油槽所	B	180								
宮城	東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所	A	140	G	1,818		M	682	L	340	
宮城	東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所	B	620								
宮城	JFE条鋼(株)仙台製造所	B	400	G	666		R	561			
宮城	東北スチール(株)	A	300	G	720		M	340			
宮城	全農エネルギー(株)仙台石油基地	B	660	G	148		M	520	L	74	
宮城	新日本石油精製(株)仙台製油所	B	3,680	G	3,150		M	5,165			
宮城	宮城マリンサービス(株)	A	400	G	6,768		M	1,220			
宮城	宮城マリンサービス(株)	B	440	D	8,010		R	1,980			
宮城	塩釜港船舶給水(株)			G	180		M	30			
宮城	塩釜地区共同防災センター(株)	A	540	G	18		M	17			
宮城	海上災害防止センター仙台基地	A	420	G	8,010		M	3,200			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)	
宮城	海上災害防止センター仙台基地	B	280								
宮城	小計		16,490		58,946	15		25,514		450	
気仙沼	海上保安庁			S	90						
気仙沼	気仙沼本吉地域広域行政事務組合消防本部	A	140				M	300			
気仙沼	宮城県気仙沼地方振興事務所水産漁港部	B	1,280	G	963		M	2,186			
気仙沼	宮城県気仙沼土木事務所	B	200				M	290			
気仙沼	気仙沼市						M	260			
気仙沼	気仙沼市						R	80			
気仙沼	唐桑町	A	280								
気仙沼	気仙沼清港会						M	110			
気仙沼	全国漁業協同組合連合会気仙沼油槽所	A	360	G	738		M	359			
気仙沼	新日本石油(株)気仙沼油槽所	A	360	G	990		M	278			
気仙沼	(株)アベキ気仙沼営業所	A	260	G	90		M	254			
気仙沼	(株)アベキ気仙沼営業所	B	50								
気仙沼	(株)気仙沼商会	A	360	G	1,186		M	135			
気仙沼	カメイ(株)気仙沼支店	A	200	G	450		M	59			
気仙沼	太平洋石油販売(株)気仙沼営業所	A	60	G	100		M	60			
気仙沼	(株)カネダイ	A	60	G	18		M	7			
気仙沼	白福商事(株)						M	7			
気仙沼	気仙沼地区漁業協同組合(階上)	B	40	G	144		M	85			
気仙沼	気仙沼地区漁業協同組合(大島)			G	126						
気仙沼	唐桑町漁業協同組合			G	108		M	26			
気仙沼	宮城県漁業協同組合連合会気仙沼支所	A	100								
気仙沼	小計		20,520		63,949	15		30,010		450	
石巻	海上保安庁			G	540	16	M	85			
石巻	海上保安庁			D	72						
石巻	石巻地区広域行政事務組合消防本部						M	102			
石巻	女川消防署						M	51			
石巻	石巻港湾事務所	B	1,140	G	3,100		M	227			
石巻	石巻地方振興事務所	B	480	G	648		M	782			
石巻	石巻地方振興事務所						F	148			
石巻	東北東ソー化学(株)石巻工場	A	300	G	846		M	106			
石巻	東海カーボン(株)石巻工場	A	460	G	738		M	1,188			
石巻	日本製紙(株)石巻工場	A	460	G	900		M	250			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea (袋)	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)		型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)	
石巻	石巻漁港石油配送協同組合	A	360	G	954		M	167			
石巻	全国漁業協同組合連合会石巻油槽所	B	360	G	504		M	208	P	18	
石巻	(株)岩城屋商店石油配送センター	A	200	G	500		M	25			
石巻	カメイ(株)石巻支店女川営業所	A	640	G	720		M	250			
石巻	(株)アベキ女川・石巻営業所	A	480	G	450		M	215			
石巻	東北電力(株)女川原子力発電所	B	720	G	756		M	330	L	68	
石巻	小計		5,600		10,728	16		4,134		86	
秋田	海上保安庁	B	300	G	2,358	20	M	102			
秋田	海上保安庁			D	1,800		R	34			
秋田	海上保安庁						F	54			
秋田	秋田県秋田港湾事務所	B	880	G	234		M	809			
秋田	秋田県船川港湾事務所	B	600	G	396		M	786			
秋田	秋田県能代港湾事務所	B	600				M	900			
秋田	秋田県由利地域振興局	A	180				O	22			
秋田	秋田県由利地域振興局	B	120								
秋田	秋田市消防本部	B	60	G	280		M	87			
秋田	男鹿地区消防本部						O	20			
秋田	能代山本広域市町村圏組合消防本部			G	105		O	150			
秋田	にかほ市消防本部			G	36		O	63			
秋田	由利本荘市消防本部	A	60	G	1,500		M	190			
秋田	能代運輸(株)			G	93		M	51		19	
秋田	秋田海陸運送(株)			G	600		M	140			
秋田	(株)男鹿テクノ	B	1,620	G	522		M	548			
秋田	(株)清水組			G	360		M	200			
秋田	秋田船川水先区水先人会			G	10						
秋田	秋田県漁業協同組合北部総括支所			G	54		M	17			
秋田	秋田県漁業協同組合北浦総括支所						M	85			
秋田	秋田県漁業協同組合船川総括支所			G	36		M	204			
秋田	秋田県漁業協同組合南部総括支所	B	40	G	108		M	102			
秋田	東北電力(株)秋田火力発電所	B	1,920	G	1,962		M	1,405			
秋田	東北電力(株)能代火力発電所	B	1,100	G	774		M	323			
秋田	日本大昭和板紙東北(株)	B	400	G	756		M	306			
秋田	新日本石油加工(株)秋田油槽所	B	620	G	1,080		M	500			
秋田	秋田国家石油備蓄基地	B	2,700	G	8,092		M	3,200	L	540	

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ(m)	型	量(l)	(袋)	型	量(Kg)	形状	量(Kg,L)	
秋田	秋田国家石油備蓄基地	B	80								衝立式B式
秋田	秋田国家石油備蓄基地	浮沈	976								浮沈式
秋田	秋田国家石油備蓄基地	C	1,800								充気式
秋田	秋田国家石油備蓄基地	C	1,800								固形式
秋田	出光興産(株)秋田油槽所	B	540	G	1,116		M	289			
秋田	(株)昭友秋田共同油槽所	B	1,020	G	2,136		M	206			
秋田	東西オイルターミナル(株)秋田油槽所	B	540	G	1,242		M	285			
秋田	(株)ホームエネルギー東北秋田オイルターミナル	A	160	G	504		M	209			
秋田	マルハ産業(株)秋田営業所			G	72		M	13			
秋田	北日本石油(株)秋田営業所	B	60	G	500						
秋田	大森建設(株)	A	200				M	68			
秋田	秋田石油基地防災(株)	B	1,100								
秋田	小計		19,476		26,726	20		11,368		559	
酒田	山形県漁業協同組合	A	100	G	60		M	600			
酒田	(株)ジャパンエナジー酒田油槽所	B	540	D	1,386		M	126			
酒田	酒田曳船(株)			G	540		M	102			
酒田	鶴岡地区消防本部			G	570		M	50			
酒田	山形県庄内総合支庁水産課			G	54						
酒田	山形県庄内総合支庁港湾事務所	A	200	G	2,275		M	900	P	459	
酒田	山形県庄内総合支庁港湾事務所	B	3,586								
酒田	酒田地区消防組合						M	187			
酒田	酒田地区消防組合						R	117			
酒田	酒田地区消防組合						F	186			
酒田	酒田共同火力発電(株)	B	840	G	3,000		M	800			
酒田	鶴岡市	A	100				M	85			
酒田	花王(株)酒田工場						M	32			
酒田	東北東ソー化学(株)酒田工場	A	300	G	1,278		M	441			
酒田	東北東ソー化学(株)酒田工場						F	51			
酒田	東北東ソー化学(株)酒田工場						O	23			
酒田	東西オイルターミナル(株)酒田油槽所	B	540	G	1,300		M	178			
酒田	株式会社みなと			G	72		M	68			
酒田	酒田地区共同防災組織	B	840								
酒田	全国漁業協同組合連合会酒田油槽所	B	400	G	540		M	460			
酒田	北日本オイル(株)			G	100		M	32			

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

担当部署	機関名	オイルフェンス		油処理剤		オイルスnea	油吸着材		油ゲル化剤		備考
		型	長さ (m)	型	量 (l)	(袋)	型	量 (Kg)	形状	量 (Kg,L)	
酒田	東北興産(株)			G	90		M	17			
酒田	小計		7,446		11,265	0		4,455		459	
福島	海上保安庁	B	300	G	2,106	25	M	102			
福島	海上保安庁			S	252		F	169			
福島	東京電力(株)福島第一原子力発電所	A	400				M	100	P	670	
福島	東京電力(株)福島第二原子力発電所	B	340	G	1,008		M	435			
福島	東京電力(株)中央火力事業所広野火力発電所	B	3,120	G	1,278		M	817	P	17	
福島	常磐共同火力(株)勿来発電所	B	20	G	252		M	95			
福島	常磐共同火力(株)勿来発電所小名浜ステーション	B	660	G	918		M	270			
福島	小名浜石油(株)	B	3,480	G	7,100		M	3,100			
福島	(株)ジャパンエナジー小名浜油槽所	B	360	G	1,098		M	178			
福島	(株)アベキ磐城営業所	A	50	G	180		M	200			
福島	東西オイルターミナル(株)小名浜事業所	B	460	G	958		M	276	P	200	
福島	小名浜精錬(株)小名浜精錬所	B	200				M	720	P	70	
福島	小名浜石油埠頭(株)	B	1,700	G	3,140		M	1,137			
福島	日本化成(株)小名浜工場	B	500	G	500		M	200			
福島	堺化学工業(株)小名浜事業所	A	60	G	360		M	210			
福島	海上災害防止センター小名浜基地	B	800	G	5,760		M	2,300			
福島	福島汽船(株)			G	12,400						
福島	(株)クレハ生産本部いわき事業所	A	320	G	378		M	160			
福島	(株)クレハ生産本部いわき事業所小名浜移送所	A	30	G	450		M	137	P	480	
福島	福島県小名浜港湾建設事務所	B	4,420	G	4,360		M	3,383			
福島	いわき市消防本部			G	2,200		M	289			
福島	福島県漁業協同組合連合会	A	200	G	396		M	224	P	60	
福島	南双サービス(株)	B	920	G	5,000						
福島	福島県相馬港湾建設事務所	B	800	G	2,800		M	200			
福島	(株)小名浜油送	B	760	G	5,400		M	1,175	P	195	
福島	五洋建設(株)小名浜総括工事事務所	B	60	G	270		M	40			
福島	東北電力(株)原町火力発電所	B	1,100	G	756		M	312			
福島	相馬共同火力発電(株)新地発電所	B	1,840	G	810		M	485	P	80	
福島	小計		22,900		60,130	25		16,714		1,772	
合計			133,692		303,142	200		133,677		18,931	

◆オイルフェンス A：A型、B：B型、C：C型、D：D型、F：フェンス型

◆油吸着材 M：マット型、R：ロール型、F：万国旗型、O：その他

◆油処理剤 G：通常型、D：高粘度対応型、S：自己攪拌型

◆油ゲル化剤 P：粉末(Kg)、L：液体(l)

(6) 作業船

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
青森	東西オイルターミナル(株)	東西丸	1.1	10	平水	6				
青森	東西オイルターミナル(株) 青森油槽所	日石丸	1.89	10	平水	6				
青森	シ ^ン ヤ ^ン バ ^ン オイルネットワーク(株) 青森油槽所	シェル青森号	1.43	10	平水	6				
八戸	(株)シ ^ン ヤ ^ン バ ^ン エナジー 八戸油槽所	JOMO丸	1.3	24	平水	10				
八戸	東西オイルターミナル(株) 八戸油槽所	東西丸	2.9	18	平水	6				
八戸	シ ^ン ヤ ^ン バ ^ン オイルネットワーク(株) 八戸油槽所	かぶしま	1.7	11	限定 沿海	6				
八戸	大太平洋金属(株)	大太平洋丸	3.47m	4	平水	3				
八戸	むつ小川原国家石油備蓄基地	第1たかほこ丸	495	12	沿海	8	12000×1	12,000×1 18,000		
八戸	むつ小川原国家石油備蓄基地	たかせ	9.1	10	限定 沿海	2				
八戸	久慈国家石油備蓄基地	たかとり	8.1	13	限定 沿海	6				
釜石	大船渡振興局	さんご丸	9.1	7	平水	3				
釜石	山田湾漁業協同組合	第5やまだ丸	6	32	限定 沿海	6				
釜石	山田湾漁業協同組合	第1やまだ丸	0.8	30	限定 沿海	3				
釜石	織笠漁業協同組合	第5おりかさ丸	4.9	16	限定 沿海	1				
釜石	船越湾漁業協同組合	第2ふなこし丸	4.97	25	限定 沿海	1				
釜石	大浦漁業協同組合	第5おおうら丸	6.6	12	限定 沿海	1				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
釜石	菅原建設(株)岩手営業所	第10菅原丸	19	8	限定沿海	2				
釜石	菅原建設(株)岩手営業所	第11菅原丸	4.9	7	限定沿海	2				
釜石	岩手県漁業取締事務所	岩鷲	65	40.3	第3種丙	7				
釜石	岩手県漁業取締事務所	はやちね	56	37.5	第3種丙	6				
釜石	岩手県オイルターミナル(株)	昇陽丸	9m	13.5	限定沿海	6				
釜石	岩手県オイルターミナル(株)	昇陽丸II	2.2	20	限定沿海	10				
釜石	(株)山元	山剛丸	4.9	6	限定沿海	1				
釜石	(株)山元	山雄丸	4.9	6	限定沿海	1				
釜石	(株)山元	松尾丸	4.8	8	限定沿海	1				
釜石	(株)山元	第一大詰丸	5.46	9	限定沿海	1				
釜石	(株)山元	1号天洋丸	4.9	8	限定沿海	1				
釜石	(株)山元	開洋丸	0.6	5	限定沿海	1				
釜石	(株)山元	第1かまいし丸	19.59	6	限定沿海	2				
釜石	(株)山元	金剛	19	10	限定沿海	2				
釜石	(株)山元	昇竜	19	10	限定沿海	2				
釜石	(株)山元	翔洋	19	10	限定沿海	2				
釜石	(株)山元	吉生丸	7.9	20	限定沿海	1				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
釜石	(株)山元	第3 おおとり丸	113.23	4	限定 沿海	1				
釜石	(株)山元	俊英	486.6							(非自航ランプウエー台船)
釜石	(株)山元	5号台船	96							(非自航オイルフェンス展張台船)
釜石	(株)及川工務店	第15長丸	10.32	7	限定 沿海	1				
釜石	(株)及川工務店	第28長丸	63.98	11	限定 沿海	2				
釜石	(株)及川工務店	第30長丸	3	12	限定 沿海	1				
釜石	(株)及川工務店	第31長丸	4.9	12	限定 沿海	1				
釜石	(株)及川工務店	第37長丸	4.9	12	限定 沿海	1				
釜石	(株)佐賀組釜石営業所	第52佐賀丸	4.64m	13	限定 沿海	5				
釜石	(株)佐賀組釜石営業所	第82佐賀丸	5.09m	13	限定 沿海	5				
釜石	三陸興産(株)	第2協同丸	57.62	8	限定 沿海	3				
釜石	中央マリン産業(株) 釜石営業所	マリン88号	6500	非自航		4				
釜石	大槌町漁業協同組合	第2大槌丸	4.9	12	限定 沿海	3				
釜石	釜石湾漁業協同組合	かまいし	4.9	20	限定 沿海	15				
釜石	太平洋セメント(株) 大船渡工場	のじま	1	10	限定 沿海	5				
釜石	太平洋セメント(株) 大船渡工場	第2のじま	1.3	20	限定 沿海	6				
釜石	カメイ(株) 大船渡油槽所	亀福丸	2	5	限定 沿海	5				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
釜石	(株)八木又商店	21大英丸	19	7	平水	3				
釜石	東北汽船港運(株)	第6港運丸	4.84	8	平水	5				
釜石	山和商店(有)	第3つばめ	4.9	11	平水	2				
釜石	山和商店(有)	第6つばめ	4.9	9	平水	2				
釜石	大船渡港業(株)	第3大港丸	4.2	9	平水	2				
釜石	(株)佐賀組	第85佐賀丸	19	10	限定沿海	2				
釜石	(株)佐賀組	第77佐賀丸	195	12	沿海	3				
釜石	(株)明和土木	第2明和丸	19	10	限定沿海	6				
釜石	(株)明和土木	第5明和丸	9.40m	6	限定沿海	1				
釜石	(株)明和土木	第18明和丸	5	6	限定沿海	1				
釜石	(株)明和土木	第58明和丸	8.60m	6	限定沿海	1				
釜石	(株)菊池組	第3菊栄丸	4.9	6	限定沿海	2				
釜石	(株)菊池組	第5菊栄丸	2.3	5	限定沿海	2				
釜石	吉浜漁業協同組合	第20吉浜丸	3.4	10	小型第1種	5				
釜石	吉浜漁業協同組合	第18吉浜丸	18	10	小型第1種	10				
釜石	吉浜漁業協同組合	第22吉浜丸	19	12	小型第1種	10				
釜石	越喜来漁業協同組合	おきらい	4.2	18	限定沿海	12				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
釜石	広田湾漁業協同組合	第2くみあい丸	7.68	12	限定沿海	2				
釜石	広田湾漁業協同組合小友支所	第2小友丸	6.6	10	小型第1種	3				
釜石	大船渡市漁業協同組合	第3赤崎丸	7.3	12	限定沿海	5				
釜石	大船渡市漁業協同組合	つばさ	6.6	24	限定沿海	2				
釜石	大船渡市漁業協同組合	第1くみあい丸	6.6	12	限定沿海	2				
釜石	大船渡市漁業協同組合	第2わかめ丸	6.6	12	限定沿海	2				
釜石	大船渡市漁業協同組合	第2きたはま丸	0.7	12	平水	1				
釜石	大船渡市漁業協同組合	第5大浜丸	0.8	12	平水	1				
宮古	大船渡市漁業協同組合	第3赤崎丸	7.3	12	限定沿海	5				
宮古	大船渡市漁業協同組合	つばさ	6.6	24	限定沿海	2				
宮古	大船渡市漁業協同組合	第1くみあい丸	6.6	12	限定沿海	2				
宮古	大船渡市漁業協同組合	第2わかめ丸	6.6	12	限定沿海	2				
宮古	大船渡市漁業協同組合	第2きたはま丸	0.7	12	平水	1				
宮古	大船渡市漁業協同組合	第5大浜丸	0.8	12	平水	1				
宮古	高弥建設(株)宮古営業所	第18高弥丸	819.6			8				非自航台船
宮古	高弥建設(株)宮古営業所	のぞみ丸	19	9	限定沿海	7				
宮古	高弥建設(株)宮古営業所	65のぞみ丸	9.7	10	限定沿海	7				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
宮古	大阪建設(株)	第20喜美丸	19	9	限定沿海	7				
宮古	大阪建設(株)	第88喜美丸	110	10	限定沿海	6				
宮古	大阪建設(株)	第5喜美丸	2.55	6	限定沿海	1				
宮古	大阪建設(株)	第8喜美丸	4.28m	10	限定沿海	4				
宮古	大阪建設(株)	第12喜美丸	4.77m	10	限定沿海	3				
宮古	大阪建設(株)	第15喜美丸	0.89	15	限定沿海	7				
宮古	大阪建設(株)	第25喜美丸	0.6	15	限定沿海	7				
宮城	エッソ石油(有)塩釜油槽所	貞山丸	1.3	11	平水	10				
宮城	エッソ石油(有)塩釜油槽所	エッソ丸	1.3	11	平水	5				
宮城	出光興産(株)塩釜油槽所	仙光丸	5ト未満	15	平水	5				
宮城	カメイ物流サービス(株)	第一富士丸	5.1m	10	平水	6				
宮城	カメイ物流サービス(株)	第二富士丸	5.2m	10	平水	6				
宮城	カメイ物流サービス(株)	ふじ丸	1.3	10	平水	6				
宮城	昭和シェル石油(株)塩釜油槽所	昭和シェル丸	1.48	11	平水	5				
宮城	昭和シェル石油(株)塩釜油槽所	貞山5号	0.8	10	平水	4				
宮城	丸紅エネルギー(株)塩釜油槽所	しおがま丸	0.8	7	平水	4				
宮城	東西オイルターミナル(株)塩釜油槽所	コスモ	1.3	7	平水	10				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
宮城	新日本石油精製(株)仙台製油所	第5東石丸	5	8.5	平水	5				
宮城	新日本石油精製(株)仙台製油所	第6東石丸	5	8.5	平水	5				
宮城	新日本石油精製(株)仙台製油所	第7東石丸	5	8.5	平水	7				
宮城	新日本石油精製(株)仙台製油所	第8東石丸	5	8.5	平水	12				
宮城	全農エネルギー(株)仙台石油基地	第五東石丸	7.86m	6.5	平水	2				
宮城	JFE条鋼(株)仙台製造所	JFE条鋼	0.7	10	平水	5				
石巻	東海カーボン(株)石巻工場	ひより号	4.97m	15	平水	4				
気仙沼	全国漁業協同組合連合会気仙沼油槽所	第2仙光丸	0.93	11	平水	4				
気仙沼	新日本石油(株)気仙沼油槽所	日石鼎丸	1.5	8	平水	6				
気仙沼	(株)気仙沼商会	昭和シェル気仙沼丸	5.7m	7	平水	6				
気仙沼	(株)気仙沼商会	第10高幸丸	74	10	平水	3				
気仙沼	(株)アベキ気仙沼営業所	第53喜福丸	91	8	平水	3				
気仙沼	カミ(株)気仙沼支店大浦油槽所	116喜福丸	98	10	平水	3				
気仙沼	太平洋石油販売(株)気仙沼営業所	第101宝油丸	82	8	平水	6				
気仙沼	(株)カネダイ	第1正福丸	72	10	平水	2				
気仙沼	宮城県漁業協同組合連合会気仙沼支所	第16協同丸	99	10	平水	3				
気仙沼	気仙沼本吉地域広域消防本部	あさぎり	19	20	沿海	15	5,000L/m ×2	泡原液 2000L		

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
気仙沼	気仙沼市 気仙沼終末処理場	あさひ	4.89m	8	平水	5				
気仙沼	気仙沼清港会	清港丸	3.2	4.5	平水	3				
気仙沼	気仙沼漁業協同組合(階上)	第七かいりょう	2.3	20	限定沿海	2				
気仙沼	気仙沼漁業協同組合(階上)	階漁丸	0.68	20	限定沿海	2				
気仙沼	気仙沼漁業協同組合(大島)	島風	1.3	30	限定沿海	7				
秋田	秋田県	くぼた	52	35	3種	5				
秋田	秋田県	千秋丸	187	13	3種	12				
秋田	秋田県	第二千秋丸	18	14	小型1種	4				
秋田	東北地方整備局秋田港湾事務所	あきかぜ	25	28	限定沿海	2				
秋田	能代運輸(株)	はまなす	9.7	10	沿海	5				
秋田	能代運輸(株)	まつかぜ	18	10	限定沿海	10				
秋田	能代運輸(株)	19㌦ ^o チュン	5	8	沿海	5				
秋田	伊藤栄建設(株)	第1とも丸	10		限定沿海	8				
秋田	伊藤栄建設(株)	おしま丸	19		限定沿海	14				
秋田	伊藤栄建設(株)	久栄丸	0.9		限定沿海	7				
秋田	大森建設(株)	第5大福丸	99	10	沿海	6				
秋田	中田建設(株)	うしお丸	19	13	限定沿海	2				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
秋田	中田建設(株)	第8定栄丸	4.9	24	限定沿海	2				
秋田	(株)加藤組	第27海光丸	16	10	限定沿海	6				
秋田	(株)沢木組	第3さわき丸	6.38	11	限定沿海	7				
秋田	(株)沢木組	第11さわき丸	19.99	13	限定沿海	8				
秋田	(株)沢木組	第21さわき丸	11	15	限定沿海	15				
秋田	(株)清水組	第88清水丸	19	10	限定沿海	1				
秋田	三和興業(株)	かえで	14.16	9	限定沿海	2				
秋田	三和興業(株)	さくら	18.17	8	限定沿海	2				
秋田	三和興業(株)	けやき	18	10	限定沿海	2				
秋田	村岡建設工業(株)	第10丸兼丸	5.03m	12	限定沿海	5				
秋田	村岡建設工業(株)	第11丸兼丸	10.5m	18	限定沿海	5				
秋田	長田建設(株)	第22長田丸	19	11	限定沿海	2				
秋田	長田建設(株)	第13長田丸	13	7	限定沿海	6				
秋田	長田建設(株)	第15長田丸	9.9m	15	限定沿海	6				
秋田	秋田海陸運送(株)	しおせ	4.8	5	限定沿海	3				
秋田	秋田海陸運送(株)	みやしま	4.8	8	限定沿海	2				
秋田	秋田海陸運送(株)	ゆうなぎ丸	4.8	8	限定沿海	2				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
秋田	(株)男鹿テクノ	第二しぶき	2.97	10	平水	8				
秋田	新日本石油加工(株) 秋田事業所	日本石油	0.69	15	沿海	3				
秋田	秋田国家石油備蓄基地	あおさぎ	13	18	沿海	2				
秋田	(株)ホームエネキター東北 秋田オイルターミナル	いずみ丸	4.17m	15	限定 沿海	2				
秋田	出光興産(株) 秋田油槽所	第1出光丸	1.3	16	沿海	6				
秋田	(株)昭友 秋田共同油槽所	鳥海丸	6.66m	15	限定 沿海	5				
酒田	酒井鈴木工業(株)	やまどり丸	17	10	限定 沿海	4				
酒田	酒井鈴木工業(株)	おいばな丸	4.92	8	限定 沿海	1				
酒田	(株)みなと	第5港丸	4.9	10	限定 沿海	2				
酒田	(株)みなと	第7港丸	3	8	限定 沿海	2				
酒田	山形県 庄内総合支庁港湾事務所	第3港陽	3.6	8	平水	6				
酒田	林建設工業(株)	第18庄内	9.59	8	限定 沿海	7				
酒田	林建設工業(株)	第26庄内	4.9	7	限定 沿海	4				
酒田	酒田海陸運送(株)	第1かいりく	4.5	7	平水	7				
酒田	酒田海陸運送(株)	第2かいりく	2.02	8	平水	7				
酒田	山形県 庄内総合支庁水産課	月峯	36	30.6	乙区域	4	160×1			
酒田	日本通運(株) 酒田支店	ゆたか丸	3	10	限定 沿海	12				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量(L/分×基)	泡放水量(L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量(kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
酒田	(株)田越海洋建設	第8田越丸	4.8	12	限定沿海	7				
酒田	(株)田越海洋建設	第15田越丸	4.9	7	限定沿海	6				
酒田	酒井鈴木工業(株)	やまどり丸	1700	10	限定沿海	4				
酒田	酒井鈴木工業(株)	おいばな丸	4.92	8	限定沿海	1				
酒田	(株)みなと	第5港丸	4.9	10	限定沿海	2				
酒田	(株)みなと	第7港丸	3	8	限定沿海	2				
酒田	山形県 庄内総合支庁港湾事務所	第三港陽	3.6	8	平水	6				
酒田	林建設工業(株)	第18庄内	9.59	8	限定沿海	7				
酒田	林建設工業(株)	第26庄内	4.9	7	限定沿海	4				
酒田	酒田海陸運送(株)	第1かいりく	4.5	7	平水	7				
酒田	酒田海陸運送(株)	第2かいりく	2.02	8	平水	7				
酒田	山形県 庄内総合支庁水産課	月峯	36	30.6	乙区域	4	160×1			
酒田	日本通運(株) 酒田支店	ゆたか丸	3	10	限定沿海	12				
酒田	(株)田越海洋建設	第8田越丸	4.8	12	限定沿海	7				
酒田	(株)田越海洋建設	第15田越丸	4.9	7	限定沿海	6				
福島	東京電力(株) 福島第一原子力発電所	いちづき丸	4.2	18	限定沿海	2				
福島	東京電力(株) 福島第二原子力発電所	栄丸	4.9	7	沿海	2				

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (kg/秒×基) 薬剤保有量(kg)	
福島	小名浜石油(株)	第3さくら丸	19.47	10.57	平水	3	2000×1	2000×1 1000		
福島	福島県 小名浜港湾建設事務所	てるしま	18	14.4	限定 沿海	3				
福島	東北電力(榊原町火力発電所)	おおるり	12	11	限定 沿海	1				
福島	東北電力(榊原町火力発電所)	きびたき	12	11	限定 沿海	1				

(7) タグボート

平成19年10月1日

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
青森	青森港管理所	うとう丸	196	13.3	沿海	4	3,000×1	3,000×1 2,000	20×1 3,000	用船者:日本通運(株)青森支店
青森	青森曳船(株)	岬丸	172	13.8	沿海	4	6,000×1	10×1 800		
八戸	東日本タグボート(株)	八光丸	199	13.5	沿海	5			30×1 2,000	
八戸	東日本タグボート(株)	はやて丸	178	13.6	沿海	6	12,000×1	12,000×1 5,000		
八戸	東日本タグボート(株)	白銀丸	177	13.5	沿海	6	12,000×1	12,000×1 5,000		
八戸	東日本タグボート(株)	奥入瀬丸	178	13.6	平水	5				
八戸	東日本タグボート(株)	東海丸	256	13	沿海	6			30×1 2,000	
釜石	菅原建設(株)岩手営業所	第10菅原丸	19	8	沿海	2				
釜石	菅原建設(株)岩手営業所	第11菅原丸	4.9	7	沿海	2				
釜石	海洋曳船(株)	三洋丸	295.86	12	沿海	4	4,000×1 2,000×1	6000	2000	
釜石	海洋曳船(株)	五葉丸	173	12	沿海	3				
釜石	山和商店(有)	第2和丸	48.03	10.5	平水	4				
釜石	(株)佐賀組	第85佐賀丸	19	10	沿海	2				
釜石	(株)佐賀組	第77佐賀丸	195	12	沿海	3				
宮城	宮城マリンサービス(株)	東北丸2号	247	14.62	沿海	4	6,000×1 6,000×1	6,000×1 6,000×1	30×1 2,000	消火原液保有量 9,000L
宮城	宮城マリンサービス(株)	貞山丸	192	14	沿海	4	6,000×1	6,000×1	30×1 2,000	

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
宮城	宮城マリンサービス(株)	蔵王丸	208	14.4	沿海	4				
宮城	宮城マリンサービス(株)	青葉丸	197	14.3	沿海	4	8,000×1 6,000×1	8,000×1 6,000×1	30×1 2,000	消火原液保有量 13,000L
宮城	宮城マリンサービス(株)	興津丸	186.59	13.3	沿海	4				
石巻	宮城マリンサービス(株)	北上丸	167	14	沿海	4	3,000×1			
石巻	宮城マリンサービス(株)	広瀬丸2号	170	13.87	沿海	4	6,000×1 6,000×1	6,000×1 6,000×1	30×1 2,000	
秋田	秋田曳船(株)	しらかみ	196	14	沿海	6	6,000×1	6,000×1 6,860		
秋田	秋田曳船(株)	よねしろ	196	14	沿海	6	6,000×1	6,000×1 6,860		
秋田	秋田曳船(株)	まつばら	196	14	沿海	6	6,000×1	6,000×1 6,860		
秋田	秋田曳船(株)	海翔丸	243	15	沿海	8	6,000×1	6,000×1 8,300		
秋田	秋田曳船(株)	海王丸	227	14	沿海	8				
秋田	秋田国家石油備蓄基地	男鹿1号	195	12	沿海	6	10,000×1 3,000×1	10,000×1 3,000×1		泡原液保有量10,000L
酒田	酒田曳船(株)	酒田丸	183	14.5	沿海	4				
酒田	酒田曳船(株)	穂高丸	166	14.2	沿海	4				
酒田	酒田曳船(株)	東北丸	153	13.5	沿海	4				
福島	福島汽船(株)	只見丸	197	14.4	沿海	6	8,000×1	8,000×1 7,600	40×1 2,000	
福島	福島汽船(株)	磐梯丸	252	13.6	沿海	8	8,000×1	8,000×1 6,000		
福島	福島汽船(株)	会津丸	254	13.6	沿海	7	8,000×1	8,000×1 6,000		

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力(ノット)	航行区域	乗組員	消火設備			備考
							放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	泡放水量 (L/分×基) 原液保有量(L)	粉末放射量 (Kg/秒×基) 薬剤保有量(Kg)	
福島	福島汽船(株)	富士丸	258	14	沿海	7	8,000×1	8,000×1 6,000		
福島	福島汽船(株)	安達太良丸	195	14.5	沿海	8	7,000×1	7,000×1 6,000		
福島	福島汽船(株)	安積丸	251	14.1	沿海	7	8,000×1	8,000×1 5,400	40×1 2,000	
福島	福島汽船(株)	吾妻丸	255	13.4	沿海	7	8,000×1	8,000×1 6,000		
福島	福島汽船(株)	開成丸	253	14	沿海	7	8,000×1	8,000×1 6,000	40×1 2,000	
福島	福島汽船(株)	双葉丸	166	14.3	沿海	8	7,000×1	7,000×1 6,000	40×1 2,000	

(8) 集油船(集油タンク容量10KL未満のものを除く。)

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	集油タンク容量 (KL)	備考
青森	北日本石油㈱	つばめ丸	18.55m	9.3	平水	3	72.5	油槽船(A重油のみ)
八戸	カメイ㈱八戸支店	第1マリン丸	89	7	平水	2乃至3	224	油槽船(乗組員数は作業状況により変動)
八戸	北日本石油㈱八戸支店	第61つばめ丸	74	8	平水	2乃至3	230	油槽船(乗組員数は作業状況により変動)
八戸	北日本石油株八戸支店	第2ぎょれん丸	74.98	8	平水	2乃至3	160	油槽船(乗組員数は作業状況により変動)
八戸	㈱七洋	第2七洋丸	73	8	平水	2乃至3	250	油槽船(乗組員数は作業状況により変動)
八戸	マリン	第1孝福丸	43.11	8	平水	2乃至3	100	油槽船(乗組員数は作業状況により変動)
八戸	久慈市漁業協同組合	第2久慈丸	19.4	10	平水	5	50	油槽船(乗組員数は作業状況により変動)
釜石	三陸興産㈱	第2協同丸	57.62	8	限定 沿海	3	130	油槽船
釜石	㈱八木又商店	21大英丸	19	8	平水	3	122	油槽船
宮古	㈱アベキ宮古営業所	第55喜福丸	49	7.5	平水	3	150	油槽船(A重油のみ)
宮古	㈱塩釜商会宮古支店	第15多賀丸	40.28	7	平水	2	100	油槽船(A重油のみ)
石巻	宮城県漁業協同組合連合会	第52喜福丸	85.49	8	限定 沿海	2	250	油槽船
石巻	石巻漁港石油配送協同組合	第88つばめ丸	99	10	平水	3	300	油槽船(A重油)
石巻	石巻漁港石油配送協同組合	第12フッコール丸	93	8	平水	4	201.5	油槽船(A重油)
石巻	㈱アベキ	第56喜福丸	65	9.2	平水	3	200	油槽船

担当部署	機関名	船名	総トン数	速力 (ノット)	航行 区域	乗組員	集油タンク容量 (KL)	備考
気仙沼	カメイ(株)気仙沼支店大浦油槽所	116亀福丸	98.77	7	限定 平水	3	120	油槽船
気仙沼	(株)アベキ気仙沼営業所	第53喜福丸	91	8	平水	3	200	油槽船
秋田	秋田国家石油備蓄基地	男鹿3号	191	18	沿海	4	100	
秋田	北日本石油(株)	第18つばめ丸	69.07	6	平水	2	160	油槽船
酒田	山形県漁業協同組合	第5ちとせ丸	75	8.5	沿海	3	130	油槽船(重油のみ)
福島	福島県漁業協同組合連合会	第3漁連丸	83	6	平水	2	160	油槽船

(9) グラブ船、ガット船等

平成19年10月1日現在

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
八戸	八戸	北日本海事興業(株)	第10北日本丸	起重機船	343	非自航	-	
八戸	八戸	北日本海事興業(株)	第15北日本丸	起重機船	686	非自航	-	
八戸	八戸	北日本海事興業(株)	第18北日本丸	起重機船	527	非自航	-	
八戸	八戸	穂積建設(株)	大昌号	起重機船	1589	非自航	-	
八戸	八戸	栄喜建設(株)	栄正号	起重機船	1374	非自航	-	
八戸	八戸	栄喜建設(株)	旭友102	ガット船	477	自航	-	
八戸	八戸	畑中建設工業(株)	第15武洋丸	起重機船	46m	非自航	-	
釜石	釜石	(株)及川工務店	第一号長丸	起重機船	1375	非自航	-	
釜石	釜石	(株)及川工務店	第11長丸	クレーン付台船	382.8	非自航	-	
釜石	釜石	(株)山元	第8幸隆号	クレーン付台船	463	非自航	-	
釜石	釜石	(株)山元	旭隆号	クレーン付台船	616	非自航	-	
釜石	大船渡	(株)佐賀組	63佐賀丸	クレーン付台船	516	非自航	-	
釜石	大船渡	(株)佐賀組	88佐賀丸	クレーン付台船	660	非自航	-	
釜石	大船渡	(株)佐賀組	87佐賀丸	クレーン付台船	905	非自航	-	
釜石	大船渡	(株)菊池組	第21菊栄丸	クレーン付台船	607.68	非自航	-	

担当部署	定係地	機関名	船名	用途	トン数	自航・ 非自航の別	航行区域	備考
釜石	大船渡	小松組	第28小松丸	クレーン付台船	460	非自航	-	
釜石	大船渡	㈱明和土木	第12明和丸	クレーン付台船	603	非自航	-	
秋田	能代	中田建設㈱	港栄丸	起重機船	1100	非自航	-	
秋田	船川	㈱清水組	第21清水	クレーン船	479	自航	-	
秋田	船川	㈱清水組	第28清水	クレーン船	528	自航	-	
秋田	船川	三和興業㈱	八双龍	起重機船	767	非自航	-	
酒田	酒田	酒井鈴木工業㈱	台-1000	台船	35m	非自航	-	1000トン積
酒田	酒田	酒井鈴木工業㈱	台-500	台船	30m	非自航	-	500トン積
酒田	酒田	㈱みなと	日和1号	浚渫船	223	非自航	-	
酒田	酒田	㈱みなと	第2月山号	浚渫船	885	非自航	-	
酒田	酒田	㈱みなと	第1港湾丸	カッター船	294	自航	-	
酒田	酒田	林建設工業㈱	第5鳥海	クレーン付台船	650	非自航	-	

(10) タンクローリー車

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	数量			備考
		容量(KL)	台数	容量計(KL)	
宮城	旭興産(株)	14.0	1	14.0	
釜石	三陸興産(株)	4.0	1	4.0	
酒田	北日本オイル(株)	16.0	1	16.0	
酒田	北日本オイル(株)	14.0	3	42.0	
酒田	北日本オイル(株)	4.0	1	4.0	
福島	(株)クレハ環境	10.0	2	20.0	

(11) 強力吸引車、バキュームカー

平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	数量				備考
		種類	容量(KL)	台数	容量計(KL)	
青森	青森油化工業(株)	バキューム	6.0	2	6.0	
青森	青森油化工業(株)	バキューム	4.0	1	8.0	
八戸	環境技術(株)	バキューム・ローリー	3.0	1	2.7	
八戸	環境技術(株)	バキューム・ローリー	8.6	1	7.9	
八戸	環境技術(株)	バキューム・ローリー	10.0	1	9.3	
八戸	環境技術(株)	バキューム	7.2	1	7.2	
八戸	環境技術(株)	バキューム	3.7	1	3.7	
八戸	環境技術(株)	バキューム・ダンプハー	6.0	1	6.0	
釜石	三陸興産(株)	バキューム	4.0	1	4.0	
宮城	旭興産(株)	バキューム	3.6	3	10.8	
気仙沼	気仙沼清港会	バキューム	1.8	2	3.6	
秋田	(株)男鹿テクノ	バキューム	2.5	1	2.5	
酒田	北日本オイル(株)	バキューム	2.0	1	2.0	
酒田	北日本オイル(株)	バキューム	3.0	2	6.0	
酒田	北日本オイル(株)	バキューム	4.0	1	4.0	

(12) 廃油等処理施設

平成19年10月1日現在

担当部署	事業者名	所在	対象船舶	係留施設		廃油の種類	処理能力 (KL/h)	焼却設備	備考
				栈橋延長(m)	能力				
八戸	環境技術㈱廃油処理場	八戸市大字河原木字見立山5番地				すべての廃油	0.68	有	
気仙沼	気仙沼清港会	宮城県気仙沼市潮見町251	漁船			ビレジ	1.6		
秋田	㈱男鹿テクノ	秋田県男鹿市船川港船川字芦沢162-1	油タンカー	A=99 C=105	5,000DWT	プラスチック、ビレジ	0.83		
秋田	エコシステム秋田㈱	秋田県大館市花岡堤沢42				特になし	50	有	油水分離機器あり
酒田	オイルケミカルサービス㈱	山形県東田川郡余目町大字家根合字中荒田33-2				特になし	3.3	有	油水分離方式
酒田	北日本オイル㈱	山形県酒田市山居町2-14-5				ゴミ等が多いものは不可	1		油水分離方式1日12K
福島	㈱クレハ環境	福島県いわき市錦町四反田30				重油等	3.3	有	ロータリーキル式

(13) その他

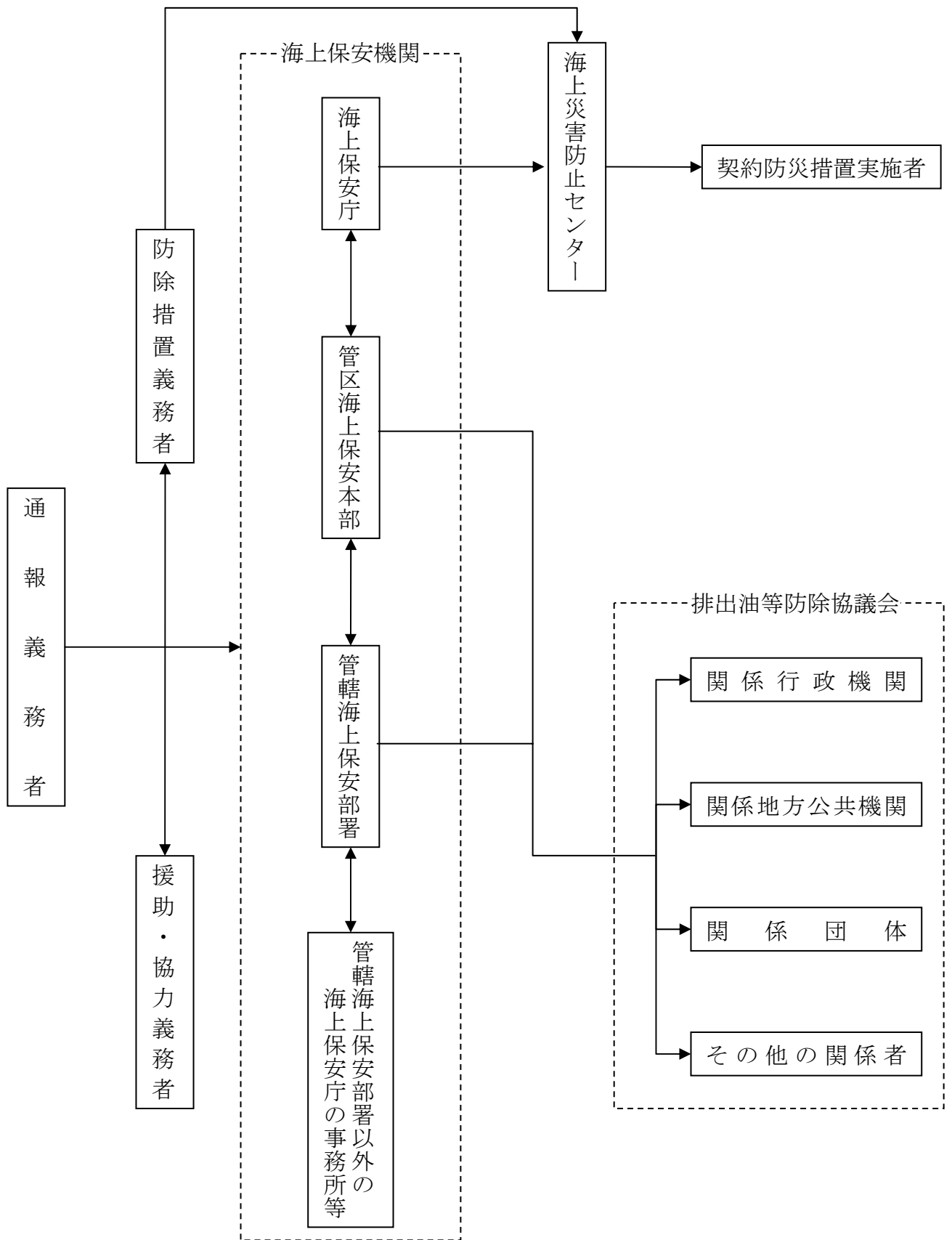
平成19年10月1日現在

担当部署	機関名	器材名	性能等
青森	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤ) ×1
八戸	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤ) ×1
八戸	久慈国家石油備蓄基地	ビークリーナー	PowerVac(Vikoma) ×1 回収能力：約30KL/h
釜石	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤ) ×1
釜石	大船渡市	高圧ポンプ	2台
釜石	太平洋セメント(株) 大船渡工場	水中ポンプ	5台
釜石	吉浜漁業協同組合	水中ポンプ	5台
釜石	綾里漁業協同組合	油分離器	フローテックポンプ (株)ワールドケミカル YD600TS 50Hz) ×1
釜石	山田湾漁業協同組合	柄杓	2本
釜石	(有)最上商店	水中ポンプ	1台
釜石	岩手県漁業取締事務所	錨	20丁(タンフォース型、15kg)
釜石	三陸興産	ドラム缶	10缶
釜石	大船渡市	タモ網	3本
釜石	大船渡市	錨	1丁(タンフォース型)
釜石	大船渡市	柄杓	23本

担当部署	機関名	器材名	性能等
釜石	(株)佐賀組	噴霧器	1台
釜石	(株)佐賀組	タモ網	1本
釜石	釜石市	ドラム缶	5缶
釜石	釜石市	柄杓	10本
釜石	釜石東部漁業協同組合	水中ポンプ	2台
釜石	大船渡市漁業協同組合	噴霧器	2台
釜石	陸前高田市	パコール(浮き堰・1.8kg)	10個
宮古	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネス) ×1
宮城	海上保安庁	油処理剤散布装置	KI-A1型(五十嵐) ×3
宮城	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネス) ×3
気仙沼	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネス) ×1
秋田	海上保安庁	油処理剤散布装置	KI-A1型(五十嵐) ×2
秋田	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネス) ×2
秋田	秋田国家石油備蓄基地	油回収枠	YS式オイルスキミングウエル ×2 (株)タイトコーポレーション)
酒田	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネス) ×1
酒田	庄内総合支庁 水産課	油回収容器	10個

担当部署	機関名	器材名	性能等
酒田	海上保安庁	バケツ	42個
酒田	海上保安庁	柄杓	148本
酒田	海上保安庁	タモ網	30本
酒田	海上保安庁	モップ	48本
酒田	海上保安庁	ビニールシート	50枚
酒田	海上保安庁	ゴム長靴	69足
酒田	海上保安庁	作業用救命胴衣	5着
酒田	庄内総合支庁 港湾事務所	ドラム缶	80缶
酒田	庄内総合支庁 港湾事務所	錨	47丁(オイルフェンス係止用)ダンフォース41、スクック6
酒田	庄内総合支庁 水産課	柄杓	5本
福島	海上保安庁	油処理剤散布装置	K-3型(カネヤス) ×1

資料 2 2 - 1 連絡系統図



資料22-2 関係機関の連絡先

平成19年10月1日現在

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
海上保安機関			
海上保安庁	第二管区海上保安本部	022-363-0111	同 左
海上保安庁	青森海上保安部	017-734-2421	同 左
海上保安庁	八戸海上保安部	0178-33-1221	同 左
海上保安庁	釜石海上保安部	0193-22-3820	同 左
海上保安庁	宮城海上保安部	022-363-0114	同 左
海上保安庁	秋田海上保安部	018-845-1621	同 左
海上保安庁	酒田海上保安部	0234-22-1830	同 左
海上保安庁	福島海上保安部	0246-53-7111	同 左
海上保安庁	宮古海上保安署	0193-62-6560	同 左
海上保安庁	石巻海上保安署	0225-22-8088	同 左
海上保安庁	気仙沼海上保安署	0226-22-7084	同 左
海上保安庁	仙台航空基地	0223-22-2891	同 左
海上保安庁	第二管区情報通信管理センター	022-366-1857	同 左
警察機関			
関係行政機関	東北管区警察局（公安部生活安全課）	022-221-7181	
関係行政機関	青森県警察本部（生活安全部地域課）	017-723-4211	
関係行政機関	岩手県警察本部（生活安全部地域課）	019-653-0110	
関係行政機関	宮城県警察本部（生活安全部地域課）	022-221-7171	
関係行政機関	秋田県警察本部（生活安全部地域課）	018-863-1111	
関係行政機関	山形県警察本部（生活安全部地域課）	023-626-0110	
関係行政機関	福島県警察本部（生活安全部地域課）	024-522-2151	
青森県沿岸流出油災害対策協議会			
関係行政機関	東北地方整備局青森港湾事務所	017-775-1394	090-9684-9173
関係行政機関	東北地方整備局八戸港湾・空港整備事務所	0178-22-9391	0178-41-1636
関係行政機関	青森地方气象台	017-741-7413	017-741-7411
関係地方公共団体	青森県（総務部）	017-734-9087	017-722-1111
関係地方公共団体	青森県（環境生活部）	017-734-9242	017-722-1111
関係地方公共団体	青森県（農林水産部）	017-734-9586	017-722-1111
関係地方公共団体	青森県（県土整備部）	017-734-9676	017-722-1111
関係地方公共団体	東青地方漁港漁場整備事務所	017-741-4451	同 左
関係地方公共団体	下北地方漁港漁場整備事務所	0175-29-2001	090-4880-6239
関係地方公共団体	西北地方漁港漁場整備事務所	0173-72-2345	同 左
関係地方公共団体	三八地方漁港漁場整備事務所	0178-33-7702	0178-43-9563
関係地方公共団体	東青地域県民局 地域整備部 青森港管理所	017-734-4101	同 左
関係地方公共団体	三八地域県民局 地域整備部 八戸港管理所	0178-28-2105	0178-27-3168
関係地方公共団体	上北地域県民局 地域整備部 むつ小川原港管理所	0175-74-2344	0175-74-2563
関係地方公共団体	上北地域県民局 地域整備部（企画整備課）	0176-22-8111	同 左

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	下北地域県民局 地域整備部	0175-22-1231	0175-22-1231
関係地方公共団体	西北地域県民局 地域整備部	0173-35-2107	0173-34-2111
関係地方公共団体	西北地域県民局 地域整備部 鱒ヶ沢道路河川事務所	0173-72-3135	0173-72-3135
関係地方公共団体	青森市（総務課）	017-734-5059	090-1066-9785
関係地方公共団体	むつ市（総務課）	0175-22-1111	同 左
関係地方公共団体	八戸市（防災安全推進室）	0178-43-2111	同 左
関係地方公共団体	三沢市（農政水産課）	0176-53-5111	同 左
関係地方公共団体	大間町（水産課）	0175-37-2111	同 左
関係地方公共団体	横浜町（総務課）	0175-78-2111	同 左
関係地方公共団体	野辺地町（総務課）	0175-64-2111	同 左
関係地方公共団体	平内町（企画調整課）	017-755-2111	同 左
関係地方公共団体	外ヶ浜町（総務課）	0174-31-1111	同 左
関係地方公共団体	今別町（総務課）	0174-35-2001	同 左
関係地方公共団体	蓬田村（産業振興課）	0174-27-2111	同 左
関係地方公共団体	つがる市（農林水産課）	0173-42-2111	同 左
関係地方公共団体	鱒ヶ沢町（総務課）	0173-72-2111	同 左
関係地方公共団体	深浦町（総務課）	0173-74-2111	同 左
関係地方公共団体	おいらせ町（総務課）	0178-56-2111	同 左
関係地方公共団体	階上町（総務課）	0178-88-2111	同 左
関係地方公共団体	風間浦村（地域振興課）	0175-35-2111	同 左
関係地方公共団体	佐井村（総務課）	0175-38-2111	同 左
関係地方公共団体	中泊町（水産観光課）	0173-64-2111	0173-64-3156
関係地方公共団体	五所川原市（総務課）	0173-35-2111	同 左
関係地方公共団体	六ヶ所村（原子力対策課）	0175-72-2111	同 左
関係地方公共団体	東通村（水産課）	0175-27-2111	同 左
関係地方公共団体	青森地域広域消防事務組合消防本部	017-775-0854	017-775-0851
関係地方公共団体	下北地域広域行政事務組合消防本部	0175-22-3819	同 左
関係地方公共団体	北部上北広域事務組合消防本部	0175-64-0650	0175-64-3126
関係地方公共団体	つがる市消防本部	0173-42-7745	0173-42-2101
関係地方公共団体	五所川原地区消防事務組合消防本部	0173-35-2019	同 左
関係地方公共団体	鱒ヶ沢地区消防事務組合消防本部	0173-72-4527	0173-72-2710
関係地方公共団体	八戸地域広域市町村圏事務組合消防本部	0178-44-2131	同 左
関係地方公共団体	三沢市消防本部	0176-54-4111	同 左
関係団体	青森県漁業協同組合連合会	017-722-4218	同 左
関係団体	八戸漁業協同組合連合会	0178-33-3314	0178-34-6253
関係団体	青森県漁船保険組合	017-723-1313	同 左
関係団体	青森県漁船保険組合八戸事務所	0178-33-8813	0178-33-6448
関係団体	青森県港湾空港建設協会青森支部	017-773-5739	090-3367-2267
関係団体	青森県港湾空港建設協会八戸支部	0178-43-2332	0178-44-6764

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係団体	青森港安全推進協議会	017-734-2421	同 左
関係団体	八戸港安全対策協議会	0178-20-2321	0178-33-1221
関係団体	青森地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	017-766-5145	同 左
関係団体	八戸地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	0178-24-4141	同 左
関係団体	むつ小川原港流出油災害対策協議会	0178-33-1221	同 左
関係事業者等	原燃輸送(株)六ヶ所輸送事務所	0175-72-3517	同 左
関係事業者等	むつ小川原石油備蓄(株)六ヶ所事業所	0175-73-3192	同 左
岩手県沿岸流出油災害対策協議会			
関係行政機関	東北地方整備局釜石港湾事務所	0193-22-9119	090-2276-5297
関係行政機関	東北地方整備局釜石港湾事務所久慈港事務所	0194-53-0257	080-1823-0111
関係行政機関	東北地方整備局釜石港湾事務所宮古港工事事務所	0193-62-2911	080-1823-0112
関係行政機関	東北地方整備局釜石港湾事務所大船渡港事務所	0192-21-2181	080-1823-0109
関係地方公共団体	岩手県（総務部総合防災室）	019-629-5155	019-629-5155
関係地方公共団体	岩手県（農林水産部）	019-629-5827	019-651-3111
関係地方公共団体	岩手県（県土整備部）	019-629-5913	019-651-3111
関係地方公共団体	岩手県久慈地方振興局	0194-53-4990	同 左
関係地方公共団体	岩手県宮古地方振興局	0193-64-2221	同 左
関係地方公共団体	岩手県釜石地方振興局	0193-25-2717	同 左
関係地方公共団体	岩手県大船渡地方振興局	0192-27-9919	同 左
関係地方公共団体	宮古市（水産課）	0193-62-2111	0193-63-5070
関係地方公共団体	大船渡市（市民生活環境課）	0192-27-3111	同 左
関係地方公共団体	久慈市（消防防災課）	0194-52-2111	0194-53-0119
関係地方公共団体	陸前高田市（水産課）	0192-54-2111	0192-59-2945
関係地方公共団体	釜石市（消防防災課）	0193-22-2111	同 左
関係地方公共団体	大槌町	0193-42-8714	0193-42-2111
関係地方公共団体	山田町（産業振興課）	0193-82-3111	同 左
関係地方公共団体	岩泉町（林業水産課）	0194-22-2111	同 左
関係地方公共団体	田野畑村（総務企画課）	0194-34-2111	同 左
関係地方公共団体	普代村（住民課）	0194-35-2113	0194-35-2111
関係地方公共団体	野田村（総務課）	0194-78-2111	同 左
関係地方公共団体	洋野町（水産商工課）	0194-65-2111	同 左
関係地方公共団体	久慈地区広域行政事務組合消防本部	0194-53-0119	同 左
関係地方公共団体	宮古地区広域行政組合宮古消防署	0193-62-5533	同 左
関係地方公共団体	宮古地区広域行政組合山田消防署	0193-82-3139	同 左
関係地方公共団体	釜石大槌地区行政事務組合消防本部	0193-22-2525	同 左
関係地方公共団体	大船渡地区消防組合消防本部	0192-27-2119	同 左
関係団体	岩手県漁業協同組合連合会	019-626-8082	019-661-8620
関係団体	宮古湾漁業協同組合連合会	0193-62-1231	同 左
関係団体	山田漁業協同組合連合会	0193-82-4111	0193-82-3418

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係団体	釜石市漁業協同組合連合会	0193-24-3501	0193-23-5569
関係団体	岩手県漁船保険組合	019-622-2928	019-661-1324
関係団体	釜石港安全衛生推進協議会	0193-22-5218	同 左
関係団体	久慈港流出油災害対策協議会	0178-33-1221	同 左
関係団体	宮古港流出油災害対策協議会	0193-62-6560	同 左
関係団体	山田湾船越湾等流出油災害対策協議会	0193-82-3111	同 左
関係団体	釜石港流出油災害対策協議会	0193-22-3820	同 左
関係団体	大船渡港流出油災害対策協議会	0193-22-3820	同 左
関係団体	岩手県漁業取締事務所	0193-25-2707	同 左
関係事業者等	久慈国家石油備蓄基地事務所	0194-52-2215	同 左
宮城県沿岸流出油災害対策協議会			
関係行政機関	東北運輸局（海上安全環境部）	022-791-7516	090-4046-2512
関係行政機関	東北地方整備局塩釜港湾・空港整備事務所	022-362-6213	080-1833-2752
関係地方公共団体	宮城県（総務部消防課）	022-211-2374	022-211-2140
関係地方公共団体	仙台市（仙台市消防局防災安全部）	022-234-1111	同 左
関係地方公共団体	石巻市（環境対策課）	0225-95-1111	同 左
関係地方公共団体	塩釜市（防災安全課）	022-364-1111	同 左
関係地方公共団体	気仙沼市（危機管理課）	0226-22-6600	同 左
関係地方公共団体	名取市（防災安全課）	022-384-2111	同 左
関係地方公共団体	多賀城市（交通防災課）	022-368-1141	同 左
関係地方公共団体	岩沼市（防災課）	0223-22-1111	同 左
関係地方公共団体	東松島市（生活環境課）	0225-87-1111	同 左
関係地方公共団体	亘理町（商工水産観光課）	0223-34-0513	0223-34-1111
関係地方公共団体	山元町（産業振興課）	0223-37-1119	0223-37-1111
関係地方公共団体	松島町（総務課）	022-354-5782	022-354-5701
関係地方公共団体	七ヶ浜町（防災対策室）	022-357-2111	同 左
関係地方公共団体	利府町（生活環境課）	022-767-2174	同 左
関係地方公共団体	女川町（企画課）	0225-54-3131	同 左
関係地方公共団体	南三陸町（危機管理対策室）	0226-46-1376	0226-46-2600
関係地方公共団体	本吉町（総務課）	0226-42-2600	同 左
関係地方公共団体	仙台市消防局（警防課）	022-234-1111	同 左
関係地方公共団体	名取市消防本部	022-382-0242	同 左
関係地方公共団体	岩沼市消防本部	0223-22-5171	同 左
関係地方公共団体	塩釜地区消防事務組合消防本部	022-361-1620	022-361-0119
関係地方公共団体	亘理地区行政事務組合消防本部	0223-34-1155	同 左
関係地方公共団体	石巻地区広域行政事務組合消防本部	0225-95-7111	同 左
関係地方公共団体	気仙沼本吉地域広域行政事務組合消防本部	0226-22-6688	同 左
関係団体	宮城県漁業協同組合連合会	022-264-6830	090-2360-7760
関係団体	気仙沼流出油災害対策協議会（気仙沼海上保安署）	0226-22-7084	同 左

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係団体	石巻港清港会	0225-94-2215	0225-23-3534
関係団体	石巻漁港清港会	0225-96-1021	同 左
関係団体	塩釜港石油基地協議会	022-367-4181	同 左
関係団体	宮城県港湾建設協会	022-221-0932	090-5238-3234
関係団体	全日本漁港建設協会宮城県支部	022-272-1444	022-379-6024
関係団体	宮城地区船舶代理店協議会	022-364-2301	022-258-8168
関係事業者等	東北電力㈱女川原子力発電所	0225-53-3111	同 左
関係事業者等	東北電力㈱新仙台火力発電所	022-366-1331	同 左
関係事業者等	新日本石油精製㈱仙台製油所	022-363-1147	022-363-1111
関係事業者等	全農エネルギー㈱仙台石油基地	022-258-1115	同 左
関係事業者等	宮城マリンサービス㈱	022-364-2301	022-258-8168
秋田県沿岸流出油等災害対策協議会			
関係行政機関	東北地方整備局秋田港湾事務所(保全課)	018-847-2514	保全課職員
関係行政機関	東北運輸局秋田運輸支局	018-863-5812	支局職員
関係行政機関	秋田地方気象台(防災対策課)	018-864-3955	018-823-8291(技術課)
関係地方公共団体	秋田県(知事公室総合防災課)	018-860-4564	同 左
関係地方公共団体	秋田県秋田港湾事務所	018-845-0042	管理班職員
関係地方公共団体	秋田県能代港湾事務所	0185-54-8246	管理班職員
関係地方公共団体	秋田県船川港湾事務所	0185-23-3721	管理班職員
関係地方公共団体	秋田市(防災対策課)	018-888-2021	018-823-4265(消防本部司令課)
関係地方公共団体	男鹿市(環境防災課)	0185-23-2111	環境防災課職員
関係地方公共団体	能代市(総務課防災危機管理室)	0185-89-2115	0185-52-2111
関係地方公共団体	由利本荘市(生活環境課)	0184-24-6254	生活環境課職員
関係地方公共団体	八峰町(総務課)	0185-77-2111	総務部職員
関係地方公共団体	三種町(町民生活課)	0185-85-4833	町民生活課職員
関係地方公共団体	潟上市(生活環境課)	018-877-7802	生活環境課職員
関係地方公共団体	にかほ市(総務課)	0184-43-7507	総務部職員
関係地方公共団体	秋田市消防本部	018-823-4243	018-823-4265(指令課)
関係地方公共団体	男鹿地区消防本部	0185-23-3139	同 左
関係地方公共団体	能代山本広域市町村圏組合消防本部	0185-52-3311	同 左
関係地方公共団体	由利本荘市消防本部	0184-22-4282	0184-22-0011
関係地方公共団体	にかほ市消防本部	0184-38-2834	0184-38-2310
山形県沿岸排出油災害対策協議会			
関係行政機関	東北地方整備局酒田港湾事務所	0234-33-2854	090-3365-7443
関係地方公共団体	山形県庄内総合支庁	0235-66-4791	090-2602-4093
関係地方公共団体	山形県庄内総合支庁建設部港湾事務所	0234-26-5635	0235-64-4166
関係地方公共団体	山形県庄内総合支庁産業經濟部水産課	0234-24-6161	0234-22-1764
関係地方公共団体	酒田市	0234-26-5701	090-4888-3934
関係地方公共団体	鶴岡市	0235-23-7665	0235-25-2111

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	遊佐町	0234-72-3311	0234-72-5895
関係地方公共団体	鶴岡市温海庁舎	0235-43-4611	0235-44-2690
関係地方公共団体	酒田地区消防組合	0234-23-3140	0234-23-3131
関係地方公共団体	鶴岡市消防本部	0235-22-8321	0235-22-8321
関係団体	日本通運株式会社酒田支店	0234-35-1288	090-1062-2101
関係団体	酒田海陸運送株式会社	0234-22-1801	090-3647-9124
関係事業者等	酒田共同火力発電株式会社	0234-34-2321	0234-34-2321
関係事業者等	(株)ジャパンエナジー酒田油槽所	0234-33-2655	0234-33-2655
関係事業者等	東西オイルターミナル(株)酒田油槽所	0234-33-7311	0234-33-7311
関係事業者等	東北東ソー化学株式会社酒田工場	0234-33-8842	090-8781-8307
関係事業者等	花王株式会社酒田工場	0234-34-5516	0234-34-5577
関係事業者等	酒田曳船株式会社	0234-24-2360	090-7798-2401
関係団体	山形県漁業協同組合	0234-24-5611	090-3129-6761
関係事業者等	東北興産株式会社	0234-35-1181	0234-24-7683
関係事業者等	株式会社田越海洋建設	0234-23-3293	090-6853-5952
関係事業者等	株式会社みなと	0234-33-0456	090-3750-3710
関係事業者等	林建設工業株式会社	0234-33-3331	090-8794-3795
関係事業者等	酒井鈴木工業株式会社	0234-35-1030	0234-23-4385
関係事業者等	株式会社丸高	0234-25-2011	090-2601-8496
関係団体	酒田水先区水先人会	0234-35-1963	0234-23-7937
関係事業者等	北日本オイル株式会社	0234-24-0321	0234-24-0321
関係団体	全国漁業協同組合連合会酒田油槽所	0234-23-3387	090-5238-7703
福島県沿岸流出油等災害対策協議会			
関係行政機関	東北地方整備局小名浜港湾事務所	0246-53-7100	同 左
関係地方公共団体	福島県（生活環境部県民安全領域災害対策グループ）	024-521-7194	同 左
関係地方公共団体	福島県いわき地方振興局（県民生活グループ）	0246-24-6203	0245-24-6250
関係地方公共団体	福島県相双地方振興局（県民生活グループ）	0244-26-1143	0244-26-1333
関係地方公共団体	福島県小名浜港湾建設事務所	0246-52-2415	同 左
関係地方公共団体	福島県相馬港湾建設事務所	0244-38-8331	同 左
関係地方公共団体	福島県水産事務所	0246-24-6175	0246-24-6250
関係地方公共団体	福島県水産試験場	0246-54-3151	0246-54-3151
関係地方公共団体	いわき市（消防防災課）	0246-22-7551	0246-22-1111
関係地方公共団体	相馬市（地域防災対策課）	0244-37-2121	0244-37-2195
関係地方公共団体	南相馬市（防災対策室）	0244-24-5232	0244-22-2111
関係地方公共団体	広野町（福祉環境グループ）	0240-27-2115	0240-22-2119（富岡消防署）
関係地方公共団体	楢葉町（環境防災課）	0240-25-2111	0240-22-2119（富岡消防署）
関係地方公共団体	富岡町（生活環境課）	0240-22-2111	0240-22-2119（富岡消防署）
関係地方公共団体	大熊町（生活環境課）	0240-32-2111	0240-22-2119（富岡消防署）

区 分	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
関係地方公共団体	双葉町（住民課）	0240-33-2111	同 左
関係地方公共団体	浪江町（住民生活課）	0240-34-0229	同 左
関係地方公共団体	新地町（総務課）	0244-62-2111	同 左
関係地方公共団体	いわき市消防本部	0246-22-0123	同 左
関係地方公共団体	相馬地方広域消防本部	0244-22-4165	同 左
関係地方公共団体	双葉地方広域市町村圏組合消防本部	0240-35-2119	同 左
関係団体	福島県漁業協同組合連合会	0246-28-9335	同 左
関係団体	いわき地区石油コンビナート等特別防災区域協議会	0246-56-2029	0246-56-2030
関係団体	福島県港湾空港建設協会	0246-23-1521	同 左
関係事業者等	福島汽船㈱	0246-53-5836	同 左
関係事業者等	東京電力㈱福島第一原子力発電所	0240-32-0108	0240-32-4982
関係事業者等	東京電力㈱福島第二原子力発電所	0240-25-4111	同 左
関係事業者等	東京電力㈱中央火力事業所広野火力発電所	0240-27-3111	同 左
関係事業者等	相馬共同火力発電㈱新地発電所	0244-62-4795	同 左
関係事業者等	東京電力㈱原町火力発電所	0244-24-1614	同 左

資料 2 3 防災相互通信用無線局保有状況

平成19年10月1日現在

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (kHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 216	F3E	158.35	1	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 232	F3E	158.35	1	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 234	F3E	158.35	1	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 257～259	F3E	158.35	1	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2032～2033	F3E	158.35	1	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2082～2083	F3E	158.35	1	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2254～2255	F3E	158.35	1	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 227	F3E	158.35	10	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2000	F3E	158.35	10	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2007	F3E	158.35	10	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2301	F3E	158.35	10	第二管区情報通信管理センター
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2247～2248	F3E	158.35	1	第二管区海上保安本部 (海洋情報部)
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2250～2251	F3E	158.35	1	第二管区海上保安本部 (海洋情報部)
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2252	F3E	158.35	10	第二管区海上保安本部 (海洋情報部)
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 215	F3E	158.35	1	宮城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 235～236	F3E	158.35	1	宮城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2121	F3E	158.35	1	宮城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2005	F3E	158.35	10	宮城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2053	F3E	158.35	10	宮城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2253	F3E	158.35	10	宮城海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 237～240	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 260～268	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2107	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2332	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 220	F3E	158.35	10	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 294	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2016	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2261～2266	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2324～2331	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2078	F3E	158.35	10	宮城海上保安部 ざおう
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 269～270	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 まつしま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 293	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 まつしま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2084	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 まつしま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2092	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 まつしま

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2269～2270	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 まつしま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2277～2279	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 まつしま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2382～2387	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 くりこま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2043～2044	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 うみぎり
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2333～2334	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 うみぎり
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 210～211	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 しらはぎ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 241～242	F3E	158.35	1	宮城海上保安部 しらはぎ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 224	F3E	158.35	10	宮城海上保安部 しらはぎ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 213	F3E	158.35	1	石巻海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 245	F3E	158.35	1	石巻海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2001	F3E	158.35	10	石巻海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2273～2274	F3E	158.35	1	石巻海上保安署 しまかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 231	F3E	158.35	1	気仙沼海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2064～2065	F3E	158.35	1	気仙沼海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2037	F3E	158.35	10	気仙沼海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2055	F3E	158.35	10	気仙沼海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 233	F3E	158.35	1	気仙沼海上保安署 ささかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2275～2276	F3E	158.35	1	気仙沼海上保安署 ささかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2040～2041	F3E	158.35	1	青森海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2086	F3E	158.35	1	青森海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2091	F3E	158.35	1	青森海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2038	F3E	158.35	10	青森海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2054	F3E	158.35	10	青森海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2353	F3E	158.35	10	青森海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 246～247	F3E	158.35	1	青森海上保安部 おいらせ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 271	F3E	158.35	1	青森海上保安部 おいらせ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2118～2119	F3E	158.35	1	青森海上保安部 おいらせ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2335～2336	F3E	158.35	1	青森海上保安部 おいらせ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 221	F3E	158.35	10	青森海上保安部 おいらせ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 206～207	F3E	158.35	1	青森海上保安部 ひばかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2113	F3E	158.35	1	青森海上保安部 ひばかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 201～202	F3E	158.35	1	青森海上保安部 さわかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 253～254	F3E	158.35	1	青森海上保安部 さわかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 281	F3E	158.35	10	青森海上保安部 さわかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2030～2031	F3E	158.35	1	八戸海上保安部

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2096	F3E	158.35	1	八戸海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2114	F3E	158.35	1	八戸海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2028	F3E	158.35	10	八戸海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2076	F3E	158.35	10	八戸海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2302	F3E	158.35	10	八戸海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2354	F3E	158.35	10	八戸海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 248	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 しもきた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2094～2095	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 しもきた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2097	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 しもきた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2281	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 しもきた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2337～2338	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 しもきた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 222	F3E	158.35	10	八戸海上保安部 しもきた
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 203～204	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 あぶくま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2071	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 あぶくま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2085	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 あぶくま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2282～2283	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 あぶくま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2339～2340	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 あぶくま
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2148	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 むつかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2284	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 むつかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2297～2298	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 むつかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2072～2075	F3E	158.35	1	八戸海上保安部 むつぎく
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2034	F3E	158.35	1	釜石海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2058～2059	F3E	158.35	1	釜石海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2087	F3E	158.35	1	釜石海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2029	F3E	158.35	10	釜石海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2088	F3E	158.35	10	釜石海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2355	F3E	158.35	10	釜石海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 246～247	F3E	158.35	1	釜石海上保安部 きたかみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 271	F3E	158.35	1	釜石海上保安部 きたかみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2335～2336	F3E	158.35	1	釜石海上保安部 きたかみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2342	F3E	158.35	1	釜石海上保安部 きたかみ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2108	F3E	158.35	1	釜石海上保安部 きじかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2295～2296	F3E	158.35	1	釜石海上保安部 きじかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2062～2063	F3E	158.35	1	宮古海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2098	F3E	158.35	1	宮古海上保安署

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2002	F3E	158.35	10	宮古海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2056	F3E	158.35	10	宮古海上保安署
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2109	F3E	158.35	1	宮古海上保安署 はつかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2293～2294	F3E	158.35	1	宮古海上保安署 はつかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 249	F3E	158.35	1	秋田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 272～274	F3E	158.35	1	秋田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2060～2061	F3E	158.35	1	秋田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2003	F3E	158.35	10	秋田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2089	F3E	158.35	10	秋田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2356	F3E	158.35	10	秋田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2436～2441	F3E	158.35	1	秋田海上保安部 でわ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 295	F3E	158.35	1	秋田海上保安部 しんざん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2318～2323	F3E	158.35	1	秋田海上保安部 しんざん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 228	F3E	158.35	10	秋田海上保安部 しんざん
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 208～209	F3E	158.35	1	秋田海上保安部 すぎかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2115	F3E	158.35	1	秋田海上保安部 すぎかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2345	F3E	158.35	1	秋田海上保安部 すぎかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 250～251	F3E	158.35	1	酒田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 275	F3E	158.35	1	酒田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2024	F3E	158.35	1	酒田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2080	F3E	158.35	1	酒田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2004	F3E	158.35	10	酒田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2077	F3E	158.35	10	酒田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2357	F3E	158.35	10	酒田海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2423～2426	F3E	158.35	1	酒田海上保安部 つるぎ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 255～256	F3E	158.35	1	酒田海上保安部 べにばな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2081	F3E	158.35	1	酒田海上保安部 べにばな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2117	F3E	158.35	1	酒田海上保安部 べにばな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 282	F3E	158.35	10	酒田海上保安部 べにばな
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 212	F3E	158.35	1	福島海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 276	F3E	158.35	1	福島海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2017～2018	F3E	158.35	1	福島海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2047～2048	F3E	158.35	1	福島海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2079	F3E	158.35	10	福島海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2090	F3E	158.35	10	福島海上保安部

機 関 名	無線局の種類	局 名	電波の型式	周波数 (KHz)	出力 (W)	設 置 場 所
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2358	F3E	158.35	10	福島海上保安部
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2415～2422	F3E	158.35	1	福島海上保安部 なとり
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2067～2068	F3E	158.35	1	福島海上保安部 なついで
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2103	F3E	158.35	1	福島海上保安部 なついで
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2116	F3E	158.35	1	福島海上保安部 なついで
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2350～2351	F3E	158.35	1	福島海上保安部 なついで
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 223	F3E	158.35	10	福島海上保安部 なついで
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 214	F3E	158.35	1	福島海上保安部 てるかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2271～2272	F3E	158.35	1	福島海上保安部 てるかぜ
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 225	F3E	158.35	1	仙台航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 277～278	F3E	158.35	1	仙台航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2051	F3E	158.35	1	仙台航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2101～2102	F3E	158.35	1	仙台航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2110～2111	F3E	158.35	1	仙台航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2246	F3E	158.35	1	仙台航空基地
海上保安庁	携帯局	かいほいどう 2112	F3E	158.35	10	仙台航空基地
青森県沿岸流出油災害対策協議会	携帯局	たいさくきょうあおもり 1～9	F3E	158.35	1	青森港安全対策協議会
青森県沿岸流出油災害対策協議会	移動局	むつびちくぼうさい 1～2	F3E	158.35	1	むつ小川原地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
岩手県沿岸流出油災害対策協議会	携帯局	くじしょうぼうしれいしゃ	F3E	158.35	10	久慈地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
岩手県沿岸流出油災害対策協議会	携帯局	くじしょうぼう 1～2	F3E	158.35	10	久慈地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
岩手県沿岸流出油災害対策協議会	携帯局	くじしょうぼう 10	F3E	158.35	10	久慈地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
岩手県沿岸流出油災害対策協議会	携帯局	くじかがく 1～2	F3E	158.35	10	久慈地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
岩手県沿岸流出油災害対策協議会	移動局	くじしょうぼう 52～53	F3E	158.35	1	久慈地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
岩手県沿岸流出油災害対策協議会	移動局	くじしょうぼう 65～69	F3E	158.35	1	久慈地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
岩手県沿岸流出油災害対策協議会	移動局	ちかびぼうさい 1～5	F3E	158.35	1	久慈地区石油コンビナート等特別防災区域災害対策協議会
宮城県沿岸流出油災害対策協議会	移動局	ぼうさいきょうしおがま 1～3	F3E	158.35	1	塩釜地区石油コンビナート等特別防災区域協議会
宮城県沿岸流出油災害対策協議会	移動局	ぼうさいきょうしおがま 11～15	F3E	158.35	1	塩釜地区石油コンビナート等特別防災区域協議会
宮城県沿岸流出油災害対策協議会	移動局	ぼうさいきょうしおがま 17～22	F3E	158.35	1	塩釜地区石油コンビナート等特別防災区域協議会
秋田県沿岸流出油等災害対策協議会	移動局	あきたえんがんぼうさい 1～6	F3E	158.35	1	秋田県沿岸流出油等災害対策協議会
秋田県沿岸流出油等災害対策協議会	移動局	あきたえんがんぼうさい 7～8	F3E	158.35	1	秋田県沿岸流出油等災害対策協議会
山形県沿岸流出油災害対策協議会	携帯局	さかたぼうさい 4～7	F3E	158.35	1	酒田地区特別防災区域協議会
山形県沿岸流出油災害対策協議会	携帯局	さかたぼうさい 9～11	F3E	158.35	1	酒田地区特別防災区域協議会
山形県沿岸流出油災害対策協議会	基地局	さかしょうさかた	F3E	158.35	5	酒田地区消防組合

資料 2 4 海上災害防止センターの契約防災措置実施者一覧

平成 1 9 年 1 0 月 1 日現在

地区	名 称	電 話 番 号	
		平日昼間	平日夜間・休日
青森	日本通運(株)青森支店 海運課	017-734-6126	
八戸	東日本タグボート株式会社	0178-71-1511	
釜石	海洋曳船株式会社	0193-24-3322	0193-24-3323
釜石	磯田商店	0193-24-3060	
大船渡	東北汽船港運株式会社	0192-26-4181	
塩釜	宮城マリンサービス株式会社	022-364-2301	
石巻	仙台湾興業株式会社	0225-93-6311	
秋田	秋田海陸運送株式会社	018-845-0185	
船川	株式会社男鹿テクノ 管理課	0185-23-3111	0185-23-3111
酒田	酒田曳船株式会社	0234-24-2360	
小名浜	福島汽船株式会社	0246-53-5836	

海上災害防止センター	TEL 045-224-4311 FAX 045-224-4312
------------	--------------------------------------

資料 2 5 排出油等の防除に関する協議会等一覧

平成19年10月1日現在

担当部署	協議会等名称	対象地域	設立年月日	会長	会員の概要	備考
青森保安部	青森県沿岸流出油災害対策協議会	青森県沿岸海域	平成8年1月22日	青森部長	国の機関4、地方公共機関45、民間227、計276	
青森保安部	青森港安全推進協議会	青森港	昭和47年6月16日	青森部長	国の機関4、地方公共機関5、民間38、計47	
八戸保安部	八戸港安全対策協議会	八戸港及びその周辺海域	昭和50年4月1日	八戸部長	国の機関4、地方公共機関6、民間61、計71	
八戸保安部	むつ小川原港流出油災害対策協議会	むつ小川原港及びその周辺海域	昭和56年4月16日	八戸部長	国の機関3、地方公共機関7、民間7、計18	
八戸保安部	久慈港流出油災害対策協議会	久慈港及びその周辺海域	平成5年3月6日	八戸部長	国の機関3、地方公共機関6、民間7、計16	
釜石保安部	岩手県沿岸流出油災害対策協議会	岩手県沿岸海域	平成6年12月1日	釜石部長	国の機関7、地方公共機関29、民間111、計147	
釜石保安部	釜石港流出油災害対策協議会	釜石港及びその周辺海域	昭和50年6月7日	釜石部長	国の機関2、地方公共機関5、民間27、計44	
釜石保安部	大船渡港流出油災害対策協議会	大船渡港及びその周辺海域	昭和50年10月16日	釜石部長	国の機関2、地方公共機関5、民間22、計29	
釜石保安部	山田湾船越湾流出油災害対策協議会	山田湾・船越湾及びその周辺海域	昭和58年6月28日	山田町長	国の機関1、地方公共機関4、民間17、計22	
宮古保安署	宮古港流出油災害対策協議会	宮古港及びその周辺海域	昭和50年11月26日	宮古署長	国の機関3、地方公共機関5、民間20、計28	
宮城保安部	宮城県沿岸流出油災害対策協議会	宮城県沿岸海域	平成6年11月16日	宮城部長	国の機関3、地方公共機関24、民間13、計40	
気仙沼保安署	気仙沼流出油対策協議会	気仙沼港及びその周辺海域	昭和50年9月2日	気仙沼署長	国の機関7、地方公共機関31、民間258、計323	
秋田保安部	秋田県沿岸流出油等災害対策協議会	秋田県沿岸海域	平成6年7月13日	秋田部長	国の機関4、地方公共機関17、民間44、計65	
酒田保安部	山形県沿岸流出油災害対策協議会	山形県沿岸海域	平成6年4月19日	酒田部長	国の機関4、地方公共機関10、民間50、計64	
福島保安部	福島県沿岸流出油等災害対策協議会	福島県沿岸海域	平成6年2月17日	福島部長	国の機関2、地方公共機関20、民間9、計31	
福島保安部	小名浜港海上安全対策協議会	小名浜港及びその周辺海域	昭和49年6月27日	会員より選出	国の機関4、地方公共機関6、民間44、計54	

参考 1 海上保安庁の主な排出油等防除資材保有状況

平成20年3月末現在

資 機 材 名	数量	単位	荷 姿	個 数	総重量	保 管 地	備 考
高粘度油回収装置(ブラシ式)	10	式	コンテナ	一式各2	7.5t+2.5t	稚内、紋別、塩釜、横浜、高知、福岡、三国、伏木、鹿児島、那覇	
高粘度油回収装置(真空ポンプ)	1	式	コンテナ	2	10t+8.5t	網走	
油回収装置(GT-185)	2	台	コンテナ	2	2.8t	横浜、福岡	
外洋型オイルフェンス (ユニブーム1000R)	300	m	専用カバー	1	12.0t	函館、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (補助船使用時)
集油用オイルフェンス (Vスweep)	135 (45×3)	m	コンテナ	1	4.2t	網走、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (単独使用時)
アウトリガー	3	個	コンテナ	1	1.0t	網走、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (単独使用時)
ローラーユニット	3	個	コンテナ	1	0.5t	網走、福岡、新潟	トランスレック等集油用 (単独使用時)
高粘度油回収ネット	119	式				各管区に5～19	単船使用タイプ
高粘度油専用捕獲材 (オイルスネアー)	330	袋	袋			各管区約30	

参考2 海上保安庁以外の主な排出油等防除資材保有状況

平成20年3月末現在

保管施設所在地	保管資機材	収納・運搬 (数量/1コンテナ)	高 × 幅 × 長(m)	コンテナ 数量	1コンテナ 重量 (t)
日本サルベージ株式会社 門司支店 (海上災害防止センター 所有分を委託管理) 北九州市門司区田ノ浦 15-73	油回収装置 トランスレック250	専用コンテナ(1式/2)	2.8 × 2.44 × 6.06 2.59 × 2.44 × 6.06	1 1	13.0 5.0
	大型オイルフェンス 自己膨張式 NO-800-R	専用コンテナ(250m/1)	2.8 × 2.44 × 6.06	1	10.9
	大型オイルバッグ200	専用コンテナ(1式/1)	1.7 × 1.7 × 2.3	2	2.5
石油連盟 第一号東京湾基地 極東石油工業㈱ 千葉精油所内 市原市千種海岸1	油回収装置 トランスレック250	専用コンテナ(1式/2)	4.1 × 2.5 × 7.4 2.59 × 2.44 × 6.06	1 1	15.0 5.0
	DESMIコンピネーション・スキマ コマラ12K	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(4式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1 2.59 × 2.44 × 2.99	3 1	3.2 3.1
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	3.1
	大型オイルフェンス 自己膨張式NO-800-R RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1) 専用コンテナ(250m/1)	3.1 × 2.76 × 7.4 2.5 × 2.35 × 3.7	1 2	15.0 5.7
	ディープシーーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	50	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1) (10ftコンテナ)		1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	大型オイルバッグ 200 t 50t	専用コンテナ(1式/1) (10ftコンテナ)		2 1	— —
	ビーチクリーナー ミバックスシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0
	ミバックスシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65
	ビーチカーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0
	移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	
石油連盟 第2号瀬戸内基地 ㈱ジャパンエナジー 水島精油所内 倉敷市潮通2-1	油回収装置 TARANTURA GT-185-8	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(1式/1)	2.4 × 2.44 × 6.06 2.3 × 2.2 × 2.8	1 2	5.5 2.8
	DESMIコンピネーション・スキマ コマラ12K	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(4式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1 2.59 × 2.44 × 2.99	3 1	3.2 3.1
	コマラ40	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.4
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	2.7
	大型オイルフェンス RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	RO-BOOM2200	専用コンテナ(250m/1)	2.35 × 2.2 × 4.0	1	6.4
	ディープシーーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	25	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1) (10ftコンテナ)		1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	大型オイルバッグ 200 t 50t	専用コンテナ(1式/1) (10ftコンテナ)		2 1	— —
	ビーチクリーナー ミバックスシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0
	ミバックスシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65
ビーチカーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	
石油連盟 第3号伊勢湾基地 コスモ石油㈱ 霞地区保有地内 四日市市霞1-22	油回収装置 GT-185-8	専用コンテナ(1式/1)	2.3 × 2.2 × 2.8	2	2.8
	DESMIコンピネーション・スキマ コマラ12K	専用コンテナ(1式/1) 専用コンテナ(4式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1 2.59 × 2.44 × 2.99	3 1	3.2 3.1
	コマラ40	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.4
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	2.7
	DIP402	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.59 × 4.27	1	3.5
	大型オイルフェンス RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	ディープシーーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	13	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1) (10ftコンテナ)		1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	ビーチクリーナー ミバックスシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0
	ミバックスシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65
	ビーチカーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5	
大型オイルバッグ 50 t	専用コンテナ(1式/1) (10ftコンテナ)		1	—	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	

保管施設所在地	保管資機材	収納・運搬 (数量/1コンテナ)	高 × 幅 × 長(m)	コンテナ 数量	1コンテナ 重量 (t)
石油連盟 第4号日本海基地 昭和シェル石油㈱ 新潟精油所内 新潟市平和町21	油回収装置 トランズレック250	専用コンテナ(1式/2)	4.1 × 2.5 × 7.4 2.59 × 2.44 × 6.06	1 1	15.0 5.0
	DESMIコンビネーション・スキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1	3	3.2
	コマラ12K	専用コンテナ(4式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.1
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	2.7
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	3.1
	大型オイルフェンス 自己膨張式NO-800-R	専用コンテナ(250m/1)	3.1 × 2.76 × 7.4	1	15.0
	RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	ディープシープーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	2	6.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	12	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1)	(10ftコンテナ)	1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	大型オイルバッグ 200t 50t	専用コンテナ(1式/1)	(10ftコンテナ)	2 1	— —
ビーチクリーナー ミニバグシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0	
ミニバグシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65	
ビーチクリーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	
石油連盟 第5号北海道基地 日石三菱精製㈱ 室蘭精油所内 室蘭市陣屋町1-172	油回収装置 トランズレック250	専用コンテナ(1式/3)	4.1 × 2.5 × 7.4 2.59 × 2.44 × 6.06	1 2	14.2 12.9
	DESMIコンビネーション・スキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1	3	3.2
	コマラ12K	専用コンテナ(4式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.1
	コマラスター	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	2.7
	LAMOR LWS50	専用コンテナ(1式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	2	3.1
	大型オイルフェンス 自己膨張式NO-800-R	専用コンテナ(250m/1)	3.1 × 2.76 × 7.4	1	15.0
	RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	ディープシープーム	専用コンテナ(250m/1)	2.6 × 3.5 × 2.4	1	6.0
	Hdスプリントプーム	専用コンテナ(250m/1)	2.75 × 2.44 × 4.27	1	7.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	12	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1)	(10ftコンテナ)	1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
100t	専用コンテナ(1式/1)	2.0 × 2.0 × 2.0	2	0.8	
大型オイルバッグ 50t	専用コンテナ(1式/1)	(10ftコンテナ)	1	—	
ビーチクリーナー ミニバグシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0	
ミニバグシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65	
ビーチクリーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	
石油連盟 第6号沖縄基地 沖縄石油精製㈱ 精油所内 中頭郡与那城町平安座2	油回収装置 GT-185-6	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	2.8
	DESMIコンビネーション・スキマー	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.35 × 3.1	3	3.2
	コマラ12K	専用コンテナ(4式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.1
	コマラ40	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.4
	DIP402	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.59 × 4.27	1	3.5
	大型オイルフェンス RO-BOOM1800	専用コンテナ(250m/1)	2.5 × 2.35 × 3.7	2	5.7
	Hdスプリントプーム	専用コンテナ(250m/1)	2.75 × 2.44 × 4.27	2	7.0
	固形式 Solid1150	専用コンテナ(160m/1)	2.3 × 2.3 × 9.5	13	3.5
	固形式 プームバッグ	専用コンテナ(200m/1)	(10ftコンテナ)	1	0.95
	集油型オイルフェンス	専用コンテナ(60m/1)	2.44 × 2.44 × 2.99	1	3.5
	アウトリガー	専用コンテナ(1式/1)	2.44 × 2.44 × 5.8	1	1.5
	砂浜用オイルフェンス	専用コンテナ(320m/1)	2.59 × 2.4 × 2.99	1	2.7
	回収油バージ 25t	専用コンテナ(1式/1)	0.9 × 1.1 × 1.4	1	0.5
	大型オイルバッグ 50t	専用コンテナ(1式/1)	(10ftコンテナ)	1	—
	ビーチクリーナー ミニバグシステム	専用コンテナ(2式/1)	2.59 × 2.44 × 2.99	1	3.0
ミニバグシステム	専用コンテナ(1式/1)	1.4 × 1.4 × 2.1	2	0.65	
ビーチクリーナー	専用コンテナ(2式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	1	4.0	
移送ポンプシステム	専用コンテナ(1式/1)	2.5 × 2.5 × 3.0	1	3.5	
油水分離機	専用コンテナ(1式/1)	2.6 × 2.4 × 3.0	2	3.9	

参考 3 大型油回収船一覧

平成20年3月末現在

船名	配備港	総トン数	速力(ノット)	能力(kl/h)
清龍丸	名古屋港	3,526	10.5	1,000
海翔丸	門司港門司区	4,663	13	1,000(渦流式)
				400(投込み式)
白山	新潟港	4,184	12	1,000(渦流式)
				250(投込み式)